



Japan Weightlifting Association

# ウェイトリフティング



69kg級橋田選手（金沢学院大学）がインカレでスナッチ93kgの日本新記録樹立の写真  
(12月1日・磯子スポーツセンター)

2009 NO.102

(社) 日本ウェイトリフティング協会会報

「BCAAが入っているか」より、  
「BCAAがどれだけ入っているか」が大事です。



BCAAが、注目されています。筋肉のエネルギー源になり、その材料としても欠かせない必須アミノ酸、「BCAA」。

あなたの「動く」や「動いた後」を変えてくれるこの栄養素も、今では手軽に摂れるようになりました。

けれども、BCAAが入っている飲料ならどれも同じ、ではありません。

『アミノバリュー』は2000mgを基本に、からだが日々必要とするBCAAを十分な量含んだラインナップ。

ちょっとからだを動かす人から、トップアスリートまで。運動を続けられる喜びをフルサポートします。

## BCAA 2000mg / 4000mg 新アミノバリュー

◎製品の詳しい情報は、大塚製薬ホームページ <http://www.otsuka.co.jp/a-v/>まで。◎製品のお問い合わせは、大塚製薬お客様相談室 03-3293-6111まで。

新登場!



アミノバリューは、日本ウェイトリフティング協会のオフィシャルドリンクです。

# 2008アジアユース大会で 高校新で2名が優勝！！

男子56kg級 糸数 陽一選手 豊見城高校2年 J133kg、T234kg

女子48kg級 八木かなえ選手 須磨友が丘高校1年 J88kg



男子56kg級優勝の糸数選手

女子48kg級優勝の八木選手

〃 3位の水落選手

2008年アジアユース選手権大会（17歳以下）が12月3日～5日までの間、韓国全州市に於いて開催された。日本からは男子4名、女子6名が参加し、男子は56kg級糸数陽一選手ジャーク133kg、トータル234kgの高校新記録で優勝した。

女子では48kg級八木かなえ選手がジャーク88kgの高校新記録で優勝。その他でもほとんどが入賞する快挙をみせた。

ユース大会終了後の6日～8日からは、アジアジュニア選手権大会が開催され、男女共に優勝こそ出来なかったが、女子は3位入賞者がぞくぞくと表彰台に昇っている。

尚、2007年は、嶋本選手（金沢学院大学）が、2006年には太田選手（九州国際大学）が、それぞれ優勝し、現在日本エースとして育ち活躍している。

まさにこの大会が、海外試合の初陣として力を発揮する大会にふさわしい規模の大会ではないだろうか。

アジアを制し、次に世界へと繋げ「2012年（3年後）ロンドン五輪」、「目指すは2016年（7年後）東京オリンピック？」でのメダルだ！！

現在のユース・ジュニア選手は7年後の東京五輪？開催では、まさに中心世代である。

これをふまえて、選手・指導者は1年ごとの目標を定め、あせらずにじっくりと腰を据て強化をしていかなければならない。

今協会が進め作成中の「年齢別・階級別記録表」を、選手・指導者が実力の目安として認識し、強化合宿や遠征派遣等の基準として活用できる。

# 《編集者よりの一考察》

## 1. 世界記録と日本記録の比較（2008年）

「男子」

階級	世界	日本	到達度
56kg級	305	260	85.2%
62kg級	326	300	92.0%
69kg級	357	325	91.0%
77kg級	377	328	87.0%
85kg級	394	350	88.8%
94kg級	412	350	85.0%
105kg級	436	390	89.4%
+105kg級	472	400	84.7%

「女子」

階級	世界	日本	到達度
48kg級	217	191	88.0%
53kg級	226	194	85.8%
58kg級	251	200	79.7%
63kg級	257	206	80.2%
69kg級	286	211	73.8%
75kg級	286	230	80.4%
+75kg級	326	250	76.7%

## 2. 2002年～2008年の世界選手権大会・オリンピック競技大会の順位別記録の平均値及び世界記録に対する割合(%)

(記録が著しく上位と差がある場合は、対象から除きました。25位については対象が少ないことから最高記録を記載いたしました。)

「男子」

階級	第1位	第3位	第8位	第15位	第25位
56kg級	286.6(94.0)	279.4(91.6)	263.1(86.3)	246.0(80.7)	230.0
62kg級	318.1(97.6)	299.4(91.8)	284.2(87.5)	274.5(84.2)	270.0
69kg級	345.3(96.7)	330.6(92.6)	314.5(88.1)	300.8(84.3)	295.0
77kg級	364.8(96.8)	358.8(95.2)	340.4(90.3)	327.3(86.8)	320.0
85kg級	386.6(98.1)	376.6(95.6)	364.5(92.5)	349.8(88.8)	337.5
94kg級	400.1(97.1)	395.6(96.0)	380.9(92.5)	360.8(87.6)	350.0
105kg級	422.9(97.0)	413.8(94.9)	398.6(91.4)	373.6(85.7)	340.0
+105kg級	459.2(97.3)	442.6(93.8)	413.1(87.5)	370.7(78.5)	350.0

「女子」

階級	第1位	第3位	第8位	第15位	第25位
48kg級	210.5(97.0)	191.7(88.3)	175.6(80.9)	162.0(74.7)	153.0
53kg級	222.9(98.6)	210.3(93.1)	188.7(83.5)	177.7(78.7)	170.0
58kg級	236.1(94.1)	223.7(89.1)	204.3(81.4)	190.1(75.7)	180.0
63kg級	247.5(96.3)	232.6(90.5)	218.5(85.0)	204.7(79.6)	192.5
69kg級	272.1(95.1)	249.6(87.3)	226.3(79.1)	208.2(72.8)	185.0
75kg級	274.1(95.8)	258.9(90.5)	231.8(81.0)	214.8(75.1)	195.0
+75kg級	307.4(94.3)	281.0(86.2)	256.6(78.7)	233.8(71.7)	218.0

## 3. 2012年ロンドンオリンピック競技大会に向けての目標値

2009年 世界記録に対して、男子89%・女子87%を目標とする。

2010年 世界記録に対して、男子90%・女子88%を目標とする。

2011年 世界記録に対して、男子91%・女子89%を目標とする。

2012年 世界記録に対して、男子92%・女子90%を目標とする。

※ 男子は、軽量級ではメダルが、重量級でも8位入賞が可能な数値。  
女子は、全階級でメダルが可能な数値。

## 4. 一貫指導をすすめる中での年代別目標値

「男子」

階級	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	19歳 大1	20歳 大2	21歳 大3	22歳 大4	23歳 社1	24歳 社2	オリンピック 8位入賞	オリンピック 3位入賞
56kg級	185	205	220	230	240	250	260	265	270	270	290
62kg級	200	225	240	250	260	270	280	285	290	290	310
69kg級	220	245	265	275	285	295	305	315	320	320	340
77kg級	225	255	280	290	300	310	320	330	340	340	360
85kg級	230	265	295	305	315	325	335	350	360	360	385
94kg級	235	270	300	310	325	340	355	370	380	385	400
105kg級	240	275	305	315	335	350	365	380	390	400	425
+105kg級	245	280	310	325	340	360	380	400	420	420	460

「女子」

階級	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	オリンピック	オリンピック
48kg級	150	160	165	170	175	180	185	190	195	180	195
53kg級	160	170	175	180	185	190	195	200	205	195	210
58kg級	170	180	185	190	195	200	205	210	215	205	220
63kg級	175	185	190	195	200	205	210	215	220	210	235
69kg級	180	190	195	200	205	210	215	220	225	220	255
75kg級	185	195	205	215	225	230	235	240	245	240	270
+75kg級	190	200	210	220	230	240	250	260	270	260	290

— 世界ジュニア・アジアジュニア —

— 世界大学・世界選手権 —

— 世界選手権・アジア競技大会 —

— オリンピック競技大会 —

# 目 次

「巻頭言」	常務理事	三宅 義行	-----	4
全国中学生大会を終えて		新居田耕三	-----	5
第 16 回日・韓・中ジュニア交流会千葉県大会		長谷川 強	-----	7
日・韓・中ジュニア交流会を振り返って		金城 政博	-----	8
日韓合同合宿に参加して		金城 政博	-----	9
第 63 回国民体育大会を終えて		富安 哲生	-----	11
・大分国体で学んだこと		金城 誠丸	-----	12
・私の夢		金城 聖丸	-----	14
第 53 回全日本学生 WL 新人選手権大会		橋本 建郎	-----	16
全日本マスターズ大会を終えて		大沼 慶太	-----	20
あと何年苦楽と共にマスターズ		桂川 孝三	-----	21
第 16 回日韓中ウエイトリフティング大会		並木 良憲	-----	22
2008 アジアインタークラブ選手権大会		竹俣 壽郎	-----	28
第 45 回全日本社会人大会を終えて		小嶋 栄二	-----	31
7 年連続内閣総理大臣杯獲得		西澤 勝美	-----	33
平成 20 年度大学対抗戦を顧みて		菊地 俊美	-----	35
・インカレ女子団体優勝報告		小畠 直之	-----	41
・男子インカレを終えて		山田 哲也	-----	42
スポーツ指導者全国研修会報告		小栗 和成	-----	44
第 10 回アジアユース大会報告		横山 信仁	-----	45
第 21 回男子アジアジュニア大会報告		稻垣 英二	-----	48
第 13 回アジア女子ジュニア大会報告		加藤 仁	-----	51
2008 年（後期）公認記録一覧			-----	73

表紙写真：橋田 麻由（金沢学院大学）

インカレ大会でスナッチ 93kg の日本新記録樹立（誠 20 年 12 月 1 日・横子スポーツセンター）

<巻頭言>

## 2009年 更なる飛躍の年に



常務理事 三宅 義行

平成21年の年頭にあたり、新春のお慶びを申し上げます。

昨年はオリンピック開催という大きな節目を迎、スポーツ史に新たな歴史を刻んだ要の年となりました。水泳・柔道・レスリング等では日本の活躍が目立ち、多くの人々に感動と喜びを与えました。ウエイトリフティングにおいては、1988年のソウルオリンピックから2008年の北京オリンピックまで、約4半世紀にわたってメダルの獲得がならず、入賞が精一杯という状況に置かれております。この現状をしっかりと踏まえ、ロンドンオリンピックへの初年度として、本年こそ新たな布石を打っていきたいと切に願っております。

指導者の観点として、まず選手に対して徹底したパワーと技術の向上に努めることが重要です。この技術自体も、理にかなった正しい技術であることが前提であり、その為にも指導者の養成・育成をし、指導者が共通の理念を持って指導にあたることが不可欠です。まさに「一貫指導システムの更なる徹底」が大きな課題であり、ナショナルトレーニングセンターを十分に活用し、世界に通ずる素質を兼ね備えたジュニア期の、期待選手には中央での育成・強化を施し世界に送り込むことがこれからも必要だと思われます。

また、ウエイトリフティング競技者の普及、底辺拡充、国民の期待する競技になるためにも将来のタレント発掘も重要と言えます。これらの希望を実現する土台として、各都道府県の積極的な協力体制がなければ前には進めません。

指導者一人一人が熱意と情熱を持って選手指導やウエイトリフティングの広報に務め、全体の競技力を上げることが肝要です。ロンドンオリンピックではメダル獲得を目指し、まだある4年ではなく、もう4年を切ったという危機感をもって当たりたい。

選手にとって少しでも良い環境を整え、ウエイトリフティングの普及と発展がなされるよう、本年も皆様と共に全力を傾けたいと存じます。

## 平成 20 年度 全国中学生大会を終えて

京都ウエイトリフティング協会

会長 新居田 耕三

第 22 回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会並びに第 7 回全国女子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会が平成 20 年 8 月 23 、 24 日にジーエスユアサコーポレーション体育館（京都市）において開催された。

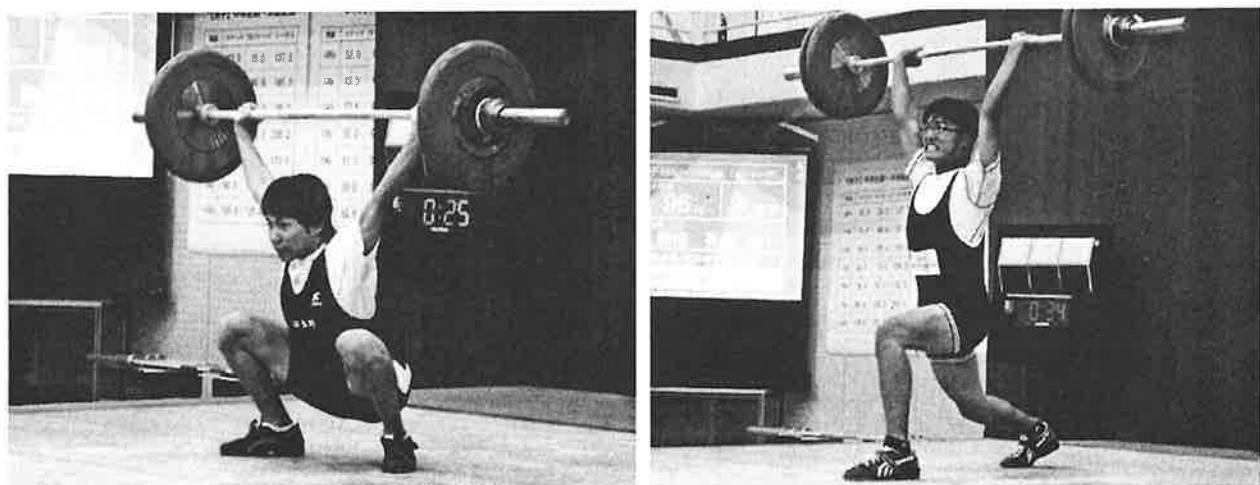
(社)日本ウエイトリフティング協会から菊地俊美常務理事、鈴木裕之理事、佐野隆理事のご来場を得て、更に近畿を中心とした大勢の審判、役員の先生方のご協力で運営することができました。

開会式では、男子 50 名、女子 6 名の合計 56 名と保護者、役員、関係者、参加のもと行われ、地元の大宮中学校 48Kg 級本田大智選手の選手宣誓で大変盛り上がりのある場となった。



2 日目の競技会では、北海道から沖縄まで、全国から選手が参加し、一人の棄権者もなく大変盛り上がった大会となった。判定も厳しい中で全体に手堅い試合運びをしている選手が目立った。

今大会で、男子 58Kg 級で白草翔太選手（大阪府羽曳野市立河原城中学校）がスナッチ 81kg 、 69Kg 級前田晃宏選手（奈良県東大寺学園中学校）が C&ジャーク 96kg と 2 つの中学新記録が樹立された。どちらもスピードのある素晴らしい試技であった。



男子 58Kg 級 白草翔太選手

男子 69Kg 級 前田晃宏選手

最優秀選手には、男子は、中学新記録を樹立した、58Kg 級の白草翔太選手（大阪府羽曳野市立河原城中学校）が、女子では、48Kg 級の多部田芽生選手（群馬県太田市立毛里田中学校）が選出された。



女子 48Kg 級 多部田芽生選手

今回は、8月に行われた北京オリンピック大会の終了後のことでもあり、中学生から競技を始める事の大切さが実感された。今回は17都道府県からの参加があり、特に栃木県は男子14名、京都府は男子7名女子2名、兵庫県は男子5名、女子1名、山梨県は男子5名、大阪府は男子4名と多数の参加選手をようした。

2日間にわたる夏の大会であったが、会場のジーエスユアサコーポレーション、又ご協力頂いた皆様のお力添えにより盛会のうちに無事終了することができました。

(社)日本ウエイトリフティング協会をはじめ、役員、審判の先生方関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

## 第 16 回日・韓・中ジュニア交流大会千葉県大会ウエイトリフティング競技

松戸国際高等学校 長谷川 強

8月23日（土）から8月29日（金）まで、日本体育協会の主催で第16回日韓中ジュニア交流大会千葉県大会が開催され、11競技で熱戦が繰り広げられました。その中で、ウエイトリフティング競技は8月26日、27日に行われました。

3年ぶり日本で開催ということもあり、各国選手が気持ちよく競技してもらえるように千葉県協会一丸となって大会を迎えました。今回は高等学校を利用しての大会ということもあり不安だらけでした。なぜなら、国内大会での流れに慣れていたので（テクニカルコントローラーにから次の重量を聞いて進行し、コールする）、今大会では、試技が終わると自動的に重量は増加され（あるいは同重量）コール。その後、試技票へ監督が時間内に重量を記入しマーシャル（テクニカルコントローラーが担当した）という日本の大会ではいない係が調整し、進行席へ連絡を入れ再びコールという、それも英語のコールもある流れに、「リハーサル時に戸惑いがあり、予定を変更して翌日にもう一回リハーサルをやったりしたからです。

しかしながら、大会が始まつてからは順調に進み、トランシーバーの調子が思わしくなくアップ場と会場の通信を携帯で通信するということもありました。選手達の頑張りに不安も解消されました。日本・中国・韓国の高校のトップレベルの選手達の試技は力強く華麗で将来のウエイトリフティング界を担っていくことを予感させる物でした。結果は男子8階級女子7階級の15階級中、国別優勝者数は日本2、中国8、韓国5、千葉0でやはりオリンピックでも活躍した中国・韓国が強かったという印象を持ちました。中でも94kg級中国のChen Hu選手はスナッチ 151kg C&J185kg トータル 336kgを挙げ圧巻でした。失敗はしたのですが195kgをクリーンしており、これがジュニアかと驚嘆しました。

選手間の交流や、また今回高等学校での大会と言うこともあり、補助役員として参加した生徒との交流も行われていたようであり、日中韓のこれからを担う若者達が純粋に交流を深めることができたのは喜ばしいことです。

こんな機会でもなければ関わることのなかった国際大会は、何もかも新鮮で、千葉県内の選手をはじめ、県協会の役員・補助役員にとっても貴重な体験となったと思います。

最後にご指導ご協力いただきました関係団体の皆様に感謝申し上げます。

## 第16回日・韓・中ジュニア交流競技会を振り返って

男子監督 金 城 政 博



恒例となった本交流会も早いもので16回を数え、今年は8月24～28日の日程で、千葉県松戸市の松戸国際高校での開催となりました。全日程を振り返りながら、私なりの感想を述べさせていただきたいと思います。

開会式は、日本語、英語、韓国語、中国語のアナウンスのもと、厳かな雰囲気での開催でした。参加選手のほとんどが国際大会に初めて参加するということもあり、国際大会独特の雰囲気を堪能していました。アトラクションの、千代田高校鼓組による太鼓の演奏は、圧巻でした。

2日間の練習の後、競技会は、26日（男子56～77kg級、女子48～63kg級）、27日（女子69～+75kg級、男子85～+105kg級）の日程で行われました。男子チームは、3月の全国高校選抜大会での各階級の8名の優勝者で結成されました。総体が終わっての大きな大会にも関わらず、各選手は精一杯の競技を展開してくれたと思います。唯一、62kg級の金城誠丸選手が、スナッチの第2試技に於いて、腰を負傷し、棄権したことは非常に残念でした。しかし、普段の体調管理も含め、本人のみならず他の選手も競技会に臨むコンディショニング作りを考える良い機会になったと思います。今後の各選手の成長に期待したいと思います。

韓国・中国の選手は、例年に比べ若干力の劣る選手の出場だった感じがしました。1日目での最高挙上重量が、77kg級の韓国選手（RYU Jum Ho）の300kg、2日目が94kg級の中国選手（Chen Hu）の336kgでした。日本選手の健闘もあり、85kg級の三浦が優勝、56kg級の糸数、69kg級の金城、+105kg級の長谷川が2位、105kgの高橋が3位に入賞したことは非常に良かったと思います。

競技会後の、フレンドシップの夕べは、各国の出し物で大変盛り上がりいました。競技を超えた交流が出来て、大変良い時間だったと感じます。

今回3度目の参加に恵まれ、私自身も毎回貴重な体験を積ませてもらっています。関係各所に感謝申し上げ、これからも、選手強化・育成の糧にしていきたいと思います。

## 日韓競技力向上スポーツ交流事業・日韓合同合宿に参加して

男子コーチ 金城 政博（豊見城高校）

2008年日・韓競技力向上スポーツ交流事業は、日本オリンピック委員会と韓国オリンピック委員会の主催事業で、両国のジュニア選手の国際的競技力の向上を重点目標に、今回韓国のコヤン市において8月30日から9月4日まで5泊6日で開催されました。

男子選手8名、女子選手8名に指導者4名を含め総勢20名は、成田空港から一路韓国仁川空港に降り立ちました。オリンピック金メダリストの、チョン・ビョン・ガン氏に出迎えられ、5泊6日の合宿がスタートしました。

練習は、コヤン市ウェイトリフティング場にて行われました。対面した11面ほどのシンプルな練習場で、チョン氏作成のメニューで進められました。韓国選手に負けじと、日本選手も懸命に慣れない練習メニューをこなしていました。指導者は、韓国コーチに韓国スタイルの重心の取り方や動作の解析の習得に懸命でしたが、通訳を通して専門用語の壁は厚く、どれほど理解できたか心配な限りです。しかし、選手は慣れない英語と手振り身振りで、互いにフォーム動作やトレーニング方法の確認をしながら練習に取り組む姿勢は、頼もしささえ感じました。スクワットの立ち上がりやデッドリフトの引き出しでは、今回の参加選手に膝を倒す選手が多いとの指摘を受けました。膝の傷害予防の観点からも、補強種目の動作には注意が必要とのアドバイスでした。

3日目の午後は、ソウル市内にある韓国体育大学のトレーニング場に移動しての練習でした。大学の校門には、北京オリンピックでメダルを獲得したいいろいろな競技の学生の写真が垂れ幕として誇らしげに何人も掲げられており、韓国トップクラスの大学であることがすぐに理解できました。ウェイトリフティングの練習場では、以前、金沢学院大学でもコーチをされていたヨン・ドンチュル氏が指導されており、多少の日本語が通じる環境に胸をなで下ろしました。細々な質問にも丁寧に答えていただき、非常に有意義な時間でした。練習場内に飾られてある数々のメダルに、日本選手のモチベーションも上がったことでしょう。

最終日の午後の練習は、コヤン市練習場のすぐ隣にある広場でボールゲームで汗を流しました。男女分かれての日韓対決に、真剣な眼差しもあり、珍プレー好プレーありで、道行く一般人も足を止め応援するほど大盛況でした。親睦はより深まり、選手の将来にも繋がる貴重な時間だったと思います。

今回の合宿で、韓国スタイルの一端を知ることが出来ました。物心両面で日本側を持ってなしてくれた韓国協会に感謝申し上げると共に、貴重な体験のチャンスを与えてください

さった関係各所に感謝申し上げます。

また、今回の両国の参加選手が、将来のオリンピックの舞台で競え合えたら、指導者としてこの上ない喜びになるでしょう。韓国・日本の選手諸君の飛躍を心から願っています。



日韓両選手団（ヨン市練習場前広場にて）

# 第63回国民体育大会を終えて

大分県ウエイトリフティング協会

事務局長 富安 哲生



さる10月3日から6日にかけて大分県国東市にて開催されました「第63回チャレンジ大分国体」につきましては、皆様方の厚いご協力をいただき、盛会のうちに終了することができました。

会場の選定にあたりましては、開催地の国東市の全面的な協力を得て「アストくにさき」で成年会場と少年会場が同一の建物という利便性を実現することができました。

大分県協会は、組織の総力をあげて10年前から国体準備にとりかかり、少しずつすすめてきました。苦労したのは、大会の補助員をいかに確保して配置するかでした。また、前年度のリハーサル大会の反省を生かして運営面での細かい修正箇所の洗い出し、解決して、国体本番を迎えるました。

第63回チャレンジ大分国体の成績等は、次のとおりです。

参加選手数	47都道府県	成年 163名	少年 141名	選手総計 304名
総合成績	1位 沖縄県	成年 25点	少年 47点	総合得点 82点
	2位 石川県	成年 33点	少年 38点	総合得点 81点
	3位 山梨県	成年 41点	少年 29点	総合得点 80点
成年 ジュニア大会タイ記録	53kg級	トータル	210kg	赤嶺 直樹 大分県 九州国際大学
少年 大会タイ記録	56kg級	トータル	225kg	糸数 陽一 沖縄県 豊見城高校
少年 大会新記録	69kg級	C&ジャーク	146kg	金城 聖丸 沖縄県 豊見城高校

大会の特色として、開催日3日間にわたって、2階席、3階席すべてを使って、国東市内のすべての小中高計23校の児童生徒計1800人に団体観戦をしてもらい、子どもたちに競技のアピールを行いました。

開催地が地方都市のため宿舎等が離れているなどの不便もあったと思いますが、全国の選手団の皆様には、温かいご協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

次期開催地、新潟県三条市での第64回国体の成功をお祈りします。

## 「大分国体で学んだこと」



沖縄県立豊見城高校3年  
62kg級 金城誠丸

私は、ウェイトリフティングにおいて「精神力」がこれほど大切なものは思ひませんでした。中学から競技をやっていた私は全国選抜や九州大会でも一本目で優勝を決め、あの試技は自分の記録との戦いでした。しかし、全国総体前に腰を痛めてしまい、思うように練習が出来ない状況でしたが、何とか県総体で優勝し団体優勝にも貢献することができ一つの目標を達成しました。八月の下旬。日韓中の交流大会の日本代表に選ばれた私は、オリンピックや世界大会で優勝している中国や韓国の選手と一緒に戦える喜びと初めての国際大会出場の緊張でいっぱいでした。

大会本番、腰の調子も良く順調にアップも終え、一本目の試技。しかし、悪い癖が出てしまい失敗。気を落ち着かせて二本目の試技。勢いよくバーベルを地面から少し上げた瞬間、下半身に電気が走り、腰に激痛を感じました。突然の出来事でプラットホームの真ん中で呆然と立ちつくしてしまいました。結果は途中棄権。楽しみにしていた大会が最悪の結果となってしまった事よりも、国体までに治るかを一番に考えた事を覚えています。

沖縄に帰っても、思うように練習ができずバーベルすら握れない状況でした。部員が思う存分練習をしている姿を見ながら筋トレをする毎日。いつのまにか精神的にネガティブになっていました。国体四連覇がかかる沖縄チームの一員としてのプレッシャー。大会までに本調子に戻そうと焦る毎日。そんな日々を過ごしていた時、あることに気がつきました。国体少年チームのコーチである父と監督の渡慶次先生は少しも焦っている様子ではないのです。私はフォーム練習も出来ない状況なのに「今までの積み重ねがあるから大丈夫」とか「優勝すればいいんだから」と余裕の表情でした。県ウェイトリフティング協会の川畠ドクターも「大会当日になっても痛みがあるのなら痛み止めもある、心配しないでいい」とおっしゃって特に気にもとめる様子もありませんでした。よく周りを見てみると、なんと腰の事ばかり考えて焦っていたのは私だけだったのです。しかし、その事に気づいてからは吹っ切れて、焦る事無く出来る限りの事をして大会までの

期間を過ごす事が出来ました。

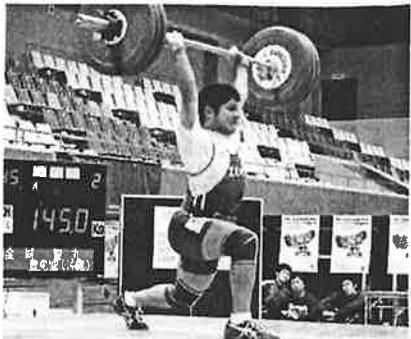
大会当日。成年53kg級の上原不二男選手がケガのため棄権。私は1点も落とすことの出来ない状況に置かれ、沖縄チームは国体独特の緊張感に包まれました。試合前、いつものように控え室でストレッチをしながらリラックスしていると、成年の上原選手が「これあげるよ」と一言いって試合で履くはずだった新品のスパッツを私にくれました。その時はただ「こんなすごい選手からスパッツをもらえてラッキーだ」としか思わなかったのですが、今思えば「試合に出られなかつた俺の分も頑張ってこい」と言っていただいていたのだと思います。

そしていよいよアップを始める時間になり、気合いを入れて会場に向かいました。試合の一週間前からバーベル練習をし、スタートする重量すら触っていない状況でしたが、なぜか絶対に優勝できる自信がありました。選抜や総体で戦った全国のライバル達は、いつもも増して強そうに見え、よけいに倒したり、いつの間にかわくわくしている自分がいました。練習してないはずの体がかつての動きに戻り、練習で全然挙げられなかつた重量が嘘のように挙りました。

「こうなればもう自分のペースだ」と心のなかで思いましたが「最低でも優勝する」というのが国体での目標だったので、相手の重量の1kg上を挙げるのが条件でした。そして試合。スナッチ一本目の試技を軽く成功。相手がそれを上回る重量をどんどん挙げる。2本目の試技も成功し3本目の試技。「これを落とせば得点も落とす事になる」と気合いを入れて何とか成功し、まずはスナッチ優勝。後は得意のジャークを三本成功して危なげなく優勝。パーフェクトの得点を獲って沖縄チームに貢献することができました。表彰台に立った時、優勝した嬉しさよりもこの一番高い場所に立たせてくれた父、渡慶次先生、川畠先生、協会の先生方への感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、毎日体重に気を遣った料理を出してくれた母、くじけそうになった時にたくさん励ましてもらった部員、あたたかい目で見守ってくれた家族、「絶対に国体までに治すから」と言って治療してくれた整骨院の先生、沖縄で応援してくれる人たちのお陰なんだと改めて感じました。その時、今後も応援、支援してくれる人たちを大切にして、自分の可能性へ挑戦していきたいと心に誓いました。

国体に出場して実感したこと、それは「人間は精神力さえあればどんな逆境でも乗り越えられるものだ」という事。練習だけ一生懸命やっても、心にちょっとでも消極的な考えがあれば本来の力が出せないという事。今までやってきた事を信じて、絶対に出来ると思い続ける事です。大学に進学しても、また、今後のウェイトリフティング人生においても、大分国体で学んだ事を活かし、励んでいきたいです。

## 「私の夢」



沖縄県立豊見城高校 3年

69kg級 金 城 聖 丸

私の高校入学からの夢は、「全国総体で団体優勝」することでした。いつも同級生の仲間達と全国大会の話をし、夢を語ってきました。練習の休みの日には他校に足を運び、頭を下げる練習方法を習いに行き、常に努力を続けてきました。

その努力の成果は高校1年の時に出場した、全国高校選抜大会で結果が出ました。62kg級に出場し、優勝することが出来たのです。2年生になり、二階級制覇を狙うために階級を一つ上げ、69kg級で全国高校総体・国民体育大会に出場し続けましたが力およばず、結果はいつも二位三位でした。初めての国際大会の日本・韓国・中国交流大会にも出場しましたが失格してしまい、「なぜ勝てないのか?」と高校2年生の時はほとんどがスランプ状態で、約1年間記録が伸びず毎日が楽しくありませんでした。私は常々「勝たなくてはいけない」「記録を伸ばさないと・・・」と焦ってばかりでした。階級を上げて優勝争いをしても、ライバル達は、みんな優秀なウェイトリフターを父に持つウェイトリフティングのジュニア達だったので。

そんな時、父が語ってくれました。「お前はただの人。ウェイトリフティング選手の息子達に負けても、失うものは何もない」と。私は、この言葉を聞き、気持ちが楽になりました。私は才能があるわけでもないし、センスがあるわけでもありません。ましてや、父はウェイトリフティングの競技者だったわけでもありません。でも負けず嫌いの性格で、常に努力でカバーしてきました。3年生になり、0からのスタートでした。4月より転勤してきた父と主将の立場で豊見城高校ウェイトリフティングチームを引っ張り、夢は「全国大会で男女アベック優勝」に切り替えました。まずは、沖縄で開催された全国高校女子大会。ライバルの埼玉栄高校をどう押さえるかの作戦ばかりをみんなで練りました。二人の全国チャンピオンを階級変更し、大会に臨みました。しかし、結果は準優勝。女子一人ひとりの悔しそうな顔や、涙でぐちゃぐちゃになった顔を見ると胸が痛く、セコンドの立場ながら「勝たせてあげたかった」と何度も思いました。「女子の分まで、何としても勝たないと」と、部員全員に言い聞かせ、夏の埼玉総体に挑みました。

県予選が終わってみれば4名の出場が決定しましたが、誰が見てもたった4名で団体優勝は出来るはずはありません。会場では、他県の選手・監督に、「今年は山梨が優勝しそうだ」と言われ続けていましたが、私達選手4名と父である監督や沖縄選手団は、「勝てる」を疑わず信じていました。なぜなら、豊見城の団体優勝はチーム沖縄の願いでもあり、チーム沖縄の戦いでもあるからです。

試合は56kg級の糸数陽一が、スナッチの日本高校記録保持者の選手と対等に戦い、スナッチ2位、ジャーク1位、体重差のトータル1位。続く62kg級では、弟の金城誠丸が予想通りの三種目優勝。残るは私を含め2名。団体優勝は自分で決め、85kg級に出場する2年生の仲里は、来年につなげる為に思い切り試技をさせてあげたいとの想いがありました。

69kg級に出場した私も、スナッチ・ジャーク共に2本目に大会新記録で優勝を決めることができました。3本目は日本高校新記録に挑戦しましたが、失敗に終わりとても悔しい気持ちでした。軽量級主体の豊見城は試合期間の前半で点数を出し尽くし、ライバルの山梨県吉田高校はそのほとんどが重量級揃いですので勝負は後半戦に持ち越されました。こちらの点数を1点でも上まわれば吉田高校の優勝がきまるので、何も出来ないで吉田高校の獲得点数をただただ見守るしかありませんでした。しかし、チーム沖縄の選手・監督がしっかりと援護射撃をしてくれて、得点を重ねようとするライバル校の追撃を阻み、ついには豊見城高校の団体優勝が決まりました。

高校入学時からの夢が達成され、とても充実し感動した埼玉総体でした。でもこの優勝は豊見城高校だけのものではなく、「チーム沖縄」の優勝だと私は思っています。当日会場には足を運べなかつた父母会、学校の先生方、そして毎日一緒に練習で汗を流した部員、悔しい思いを味わった女子部員。みんなで勝ち取った優勝でした。今後は感謝の気持ちを忘れずに大切にし、後輩達にはぜひ2連覇を狙って欲しいと思います。私は高校を卒業したら平成国際大学に進学します。そこで今度はインカレで団体優勝を目指すとともに、平成国際大学監督の加藤先生と約束した「オリンピック出場」の夢を常に抱きながら、努力を忘れず日々精進していきたいと思います。

## 第53回全日本学生WL新人選手権大会

全日本学生WL連盟

副会長 橋本 建郎

平成20年10月11日、12日の両日、横浜市の磯子スポーツセンターに於いて、全国から109名（男子102名、女子7名）の選手が参加し、盛大に開催されました。

大分国体が終わった同じ週の開催で、国体からの連戦組も数名いましたが、元気なプレイを見せてくれました。

大会は男子77kg級で白草竜太選手（関西大学1年）がスナッチとトータルにおいて、大会新記録を樹立。また、女子では58kg級の具志堅美沙希選手（金沢学院大学1年）と75kg級の榎木博美選手（金沢学院大学1年）がそれぞれ、スナッチ、ジャーク、トータルの全てにおいて大会新記録を樹立しました。今大会の最優秀選手には、白草選手と具志堅選手が選ばれました。

今大会は、昨年を上回る選手数で、西日本学連からも多数参加し、優勝争い以外にも2位3位争いも熾烈な階級もあって大いに盛り上がりました。全日本学連にとっても、昨年以上の参加が有った事は、連盟の発展はもちろん、日本ウェイトリフティング界全体の活性化に繋がると確信致します。参加選手のみなさんは、今後も切磋琢磨して競技力の向上に励むと共に、最高学府の選手としての教養と、しっかりとしたルール・マナーを身に付け、各大学の中心選手として大きく育って欲しいと願っています。

最後になりましたが、今大会の審判、役員を務めて頂きました、関東各協会の理事の先生方をはじめ、競技の運営に当たって頂いた東日本学連のみなさまに厚く御礼申し上げ、結びと致します。ありがとうございました。



## 第53回全日本学生新人選手権大会優勝の感想

77kg級白草(関西大学)スナッチ130・トータル283 大会新記録で優勝!!

56kg級優勝 村松 敦大 金沢学院大1年 柴田高校出  
身長167cm 自己ベスト S97 J120 DL140 Sq152 Mp65

<優勝の感想>

あまり良い体調でなかったので、とても嬉しいです。  
(自己評価85点)

<記録面での感想>

スナッチは3本とれたが、ジャークは最後の試技で挙げれなかつたのが残念。

<今後の抱負>

スクワット、デッドなどへの補強を鍛えていき、もっと上を目指していきたい。



S93kg, J111kg, T204kg

62kg級優勝 武市 航 明治大学1年 大阪産業大学付属高出  
身長169cm 自己ベスト S108 J128 DL140 Sq150 Mp65

<優勝の感想>

優勝するために頑張ってきたので、優勝できて嬉しい。

自己評価60点

<記録面での感想>

スナッチの大会新記録の失敗はショックでした。1週間で2日間しか練習していないわりには調子良く驚きました。

<今後の抱負>

62kg級のスナッチャジュニア新記録をとる。これをとらないと高校の恩師に会わす顔がありません。

69kg級優勝 加藤 晴希 明治大学1年 柴田高校出

身長171cm 自己ベスト S115 J140 DL180 Sq165 Mp65

<優勝の感想>

全国大会で優勝は初めてなのでとても嬉しい。

<記録面での感想>

試合新なので満足しています。

<今後の抱負>

インカレ優勝。



S113kg, J137kg, T250kg

77kg級優勝 白草 竜太 関西大学1年 大阪産業大学付属高出

身長169cm 自己ベスト S135 J162 DL205 Sq200 Mp90

<優勝の感想>

試合が続き全く調整はできていなかったが、勝つ事ができて良かった。  
自己評価50点

<記録面での感想>

全体的に重く感じ、思った通りの試合運びが出来なかった。

<今後の抱負>

トータル310kgを目指し、補強を中心に強化していきたい。



S130kgCR, J153kg, T283kgCR



S110kg、J146kg、T256kg

**85kg級優勝 小川 裕慈** 名古屋産業大2年 大淀高校出  
身長 170cm 自己ベスト S111 J146 DL190 Sq205 Mp70

<優勝の感想>

初優勝なので嬉しいです。6本成功で自己新もとれて100点です。

<記録面での感想>

ジャークで新記録が出たので良かったです。

<今後の抱負>

もっと強くなってインカレでも頑張ります。



S120kg、J159kg、T279kg

**94kg級優勝 加藤 温恭** 日本体育大学1年 勿来工業高校出  
身長 176cm 自己ベスト S123 J159 DL200 Sq200 Mp81

<優勝の感想>

とても嬉しい。1、2年生しか出場出来ない試合で優勝できた事がとても嬉しい。

<記録面での感想>

スナッチは3本目に失敗したことが残念。ジャークは逆転する為にベストの2kg上を成功したので大満足です。

<今後の抱負>

ジャークに対してスナッチが弱いのでスナッチを強化したい。また、インカレ1部で優勝したいです。



S115kg、J150kg、T265kg

**105kg級優勝 大畠 昌士** 金沢学院大1年 津幡高校出  
身長 168cm 自己ベスト S120 J155 DL210 Sq210 Mp80

<優勝の感想>

優勝出来て本当に良かった。自己評価70点。

<記録面での感想>

記録はベストをとれなかったので、まだまだだと思います。

<今後の抱負>

今後はもっと記録を伸ばしたいと思います。



S132kg、J165kg、T297kg

**+105kg級優勝 鈴木 匠平** 日本体育大学1年 利根実業高校出  
身長 cm 自己ベスト S133 J165 DL200 Sq232 Mp97

<優勝の感想>

優勝出来たのもセコンド、応援していただいた先輩、仲間のおかげです。それを踏まえた上で優勝できて嬉しく思います。

自己評価85点。

<記録面での感想>

自分のベストを出しただけなので、次は自己新記録に挑戦したいです。

<今後の抱負>

まだ重量級として力不足なので基礎体力を付けて、記録を伸ばしていきたい。

## 58kg級具志堅(金沢)、75kg級榎木(金沢)、大会新記録で優勝



53kg級優勝 眞喜志 沙織 平成国際大1年 豊見城高校出  
身長149cm 自己ベスト S70 J87 DL105 Sq123 Mp47

<優勝の感想>

スナッチの一本目を失敗してしまい目標の記録に届かず悔しいです。  
でも優勝出来たのが嬉しいです。自己評価40点。

<記録面での感想>

Sベストの5kg下しかとれず情けない。Jも自己新に挑戦したがそれ  
なかった。

<今後の抱負>

脚力と上体を強化して、次の試合では160kg以上とりたい。

S65kg、J87kg、T152kg



S82kgCR、J93kgCR、T175kgCR



S62kg、J78kg、T140kg

58kg級優勝 具志堅 美沙希 金沢学院大1年 南部工業高校出  
身長148cm 自己ベスト S82 J97 DL115 Sq140 Mp54

<優勝の感想>

優勝できて嬉しい。スナッチ3本成功、C&Jの3回目を失敗し悔しい。  
自己採点は70点。

<記録面での感想>

スナッチで本当に久しぶりの自己新記録を更新出来て本当に嬉しい。

<今後の抱負>

今後ももっとパワーを付けて、C&Jの強化を中心に練習し、トータル  
で180kgを超えてみたい。

63kg級優勝 本城 早紀子 関西大学1年 鳥羽高校出  
身長157cm 自己ベスト S64 J80 DL105 Sq125 Mp42

<優勝の感想>

3本目の自己新記録がとれなかつたので悔しい。自己採点は40点

<記録面での感想>

スタートが低めだったにもかかわらず、うまく波に乗ることが出来ず  
ベストを下回ってしまった。

<今後の抱負>

インカレでは今より5kgずつ記録を伸ばしたい。JのMPやPJを強  
化して記録UPを狙いたい。

69kg級優勝 秋山 泰緒 平成国際大1年 倉敷商業高校出  
身長158cm 自己ベスト S73 J93 DL125 Sq137 Mp48

<優勝の感想>

優勝し嬉しいですが、内容が満足していません。自己評価は55点

<記録面での感想>

Sは自己新をとることができ大満足です。Jは自分の思っていた記録が  
とれなかつたので0点です。

<今後の抱負>

上体を強くし、特にJの記録アップを目指したい。

75kg級優勝 榎木 博美 金沢学院大1年 珠洲実業高校出  
身長158cm 自己ベスト S75 J93 DL110 Sq140 Mp47

<優勝の感想>

とても嬉しい。目標のJ100kgを挙げれたので97点。

<記録面での感想>

ジャーク4kg試合で伸びたので良かった。

<今後の抱負>

Sをもっと挙げれるようにしたい。

S73kgCR、J100kgCR、T173kg CR

## ～マスターズ大会を終えて～

岩手県ウエイトリフティング協会

事務局長 大沼 慶太

全国から 150 余名の選手をお迎えし、第 26 回全日本マスターズ選手権大会が、奥州市江刺区（期間 10 月 24 日～26 日）において開催されました。本県開催は初めての経験であり、過去の大会の様子や運営の詳細について把握できない部分もあり、何かと不安を抱えた中での大会準備となりました。しかしながら、本県のマスターズ出場経験のある協会員を中心に、限られた時間の中で本県の独自色を前面に出した大会運営を行うことができたのではないかと自負しております。特に地元の铸物を取り入れたオリジナルのメダルの製作、地元婦人会による地元食材を使った温かい料理の販売提供や大会ピアールのためのポスターの作成等、参加選手の記憶に残る大会にと願いを込め準備を進めてきました。メダルは、铸物のだけに重厚感があり、メダルの価値を一層高めたものになりましたし、また、ポスターを市内の小中学校、公共施設に掲示を依頼し、多くの住民に大会とウエイトリフティング競技の周知を図りました。ポスターは大会期間中、会場内にも多数掲示しましたが、参加選手が記念にと持ち帰っていかれるほど素晴らしいポスターの出来がありました。婦人会が出店するテント内では、選手たちとの会話と笑顔が絶えることがありませんでした。一方で参加人数の関係で競技日程の大幅な変更、輸送や宿泊等でご迷惑をおかけした点も多々ありましたが選手、役員の方々からは、素晴らしい大会であったとの心温まる評価をいただくことができ、様々ありましたがすべてが報われた瞬間がありました。

私自身、実際にマスターズの大会を見るのが初めてであり、競技の様子や、絶頂期の選手たちの競技とどのような違いがあるのか興味津々でした。扱う重量は、全盛期よりも軽いとは言え、試技に向かう気迫や真摯な姿勢は、まさに競技スポーツそのものであり、競技に年齢は全く関係ないこと、スポーツの素晴らしさをあらためて認識させられました。無論、会場内の観客が受けた感動は想像に難くなく、補助員として運営に協力いただいた高校生選手たちも今後の競技へプラスになる何かを感じ取ったことと確信しております。

当県では、2011 年に北東北インターハイ、2016 年には、国体を控え、競技の底辺拡大、役員の養成、選手強化等の喫緊の課題を抱えております。全国規模の大会の開催には、ある程度の経験、ノウハウを蓄積する必要があります、それを実行するスタッフが必要となります。今回の大会がこれから控える大会の布石となり、万全の体制で大会を迎えるように当協会一丸となって諸課題に取り組んでいかなければないと認識した大会でもありました。

終わりになりますが、大会期間中、マスターズ委員会のお計らいにより岩手・宮城内陸地震被害に対して義捐金を募っていただきました。ご支援いただきました皆様方に心より感謝申し上げますとともに今後もさらなるマスターズ大会の発展をお祈り申し上げます。

# あと何年苦楽と共にマスターズ

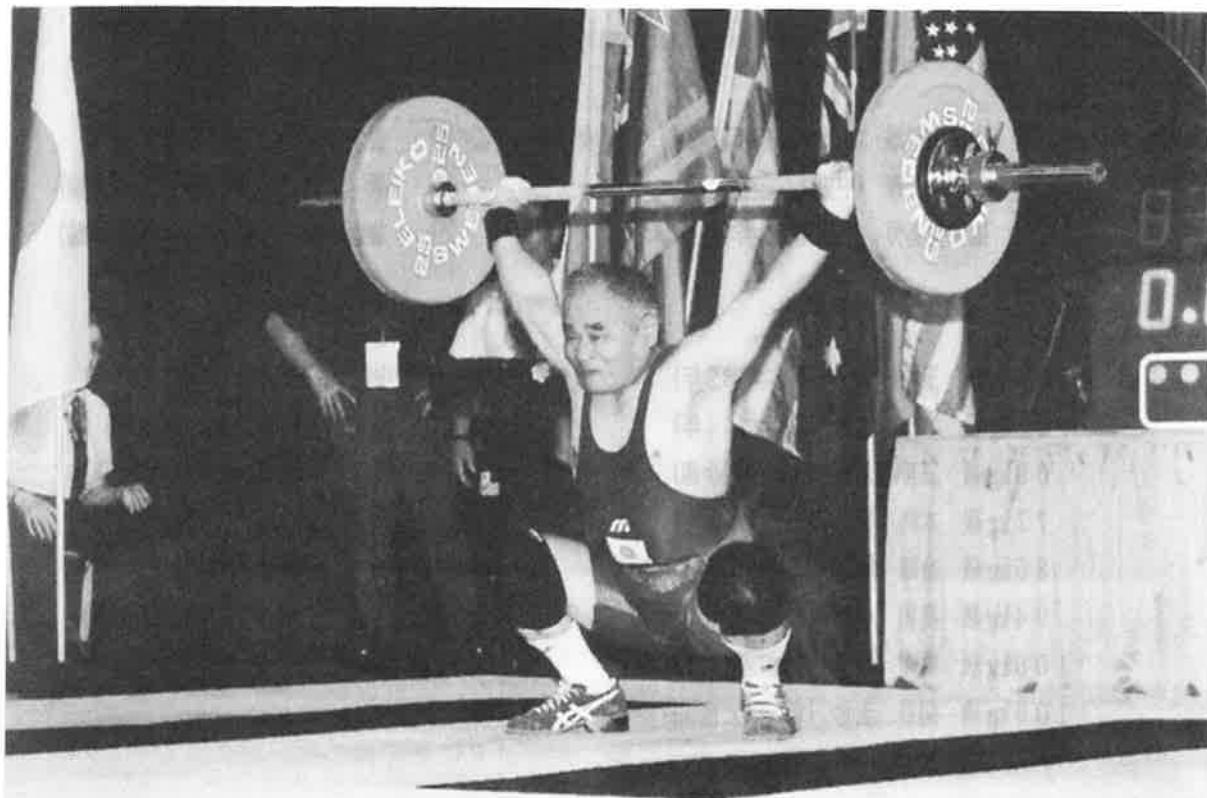
世界マスターズ殿堂入り

69-A1 桂川孝三

勤務していた「ウエサカ」を退職してから1年、現在70才になりマスターズ大会に参加してから10年の月日が過ぎました。その間にケガ等で練習を已む無く中止することもありましたが、幸いにしてシーズンオフでの出来事でマスターズ大会には毎年連続して参加しております。年を重ねるごとに体力の衰えと共に記録も低下しておりますが最小限に食い止めるために多少のケガでも練習を休まず出来る種目を重点的に行っております。

これからも年1回の海外旅行（世界大会）を楽しみにあと何年頑張れるか、ケガや病気負けないような健康な身体作りをし、記録に挑戦しながら人生を楽しんでいきたいと思っております。現在はスナッチの強化とC＆ジャークの強化を2時間前後のメニューで週3回交互に練習を行っておりますが、年々練習仲間が増えてくるので頑張りがえがあり心強い日々を送っております。

今回も全日本マスターズ大会に参加しましたが、特に感じたことは参加者が増えたこととマスターズ新記録が数多く生まれたことです。これらを考えるとマスターズへの関心が高まり愛好者が増えていることを実感しました。このような盛況を続ける現状を考えると、早々に現在の日本マスターズ委員会からマスターズ連盟へと格上げをして組織の充実を図るべきと思います。そして、増え続ける愛好者と共に高齢者の健康管理や後輩アスリート達へのアドバイス等で協力することが「ウエイトリフティング競技」の発展にもつながり大いに貢献出来るものと確信しております。



# 2008 International Friendship Tournament

## 第16回 日韓中ウェイトリフティング大会

### 大会報告

並木 良憲



日本選手団

男子 監督 小宮山哲雄 (山梨県吉田高校教諭)

コーチ 並木 良憲 (中央大学監督)

福田登美男 (九州国際大学監督)

女子 監督 長谷場久美 (JOC専任コーチ)

コーチ 原 学 (富山県滑川高校教諭)

加藤 勇 (宮城県黒川高校教諭)

#### 選手

男子 56kg級 玉城 成一 (日本大学2年)

62kg級 才田 吉弘 (日本大学4年)

69kg級 五百蔵正和 (大阪信用金庫)

77kg級 本間 智也 (中央大学4年)

85kg級 金原 勇 (九州国際大学4年)

94kg級 高橋 一馬 (九州国際大学4年)

105kg級 福嶺 佑耶 (九州国際大学3年)

+105kg級 関谷 圭介 (新潟県立盲学校教諭)

女子 48kg級 中部 有理 (金沢学院大学3年)

53kg級 鎌屋 綾子 (立命館大学2年)

58kg級 稲谷 春菜 (平成国際大学2年)

63kg級 団子絵理菜 (平成国際大学3年)

69kg級 谷 綾野 (金沢学院大学4年)

75kg級 榎木 博美 (金沢学院大学1年)

+75kg級 制野 真理 (金沢学院大学3年)

2008 インターナショナルフレンドシップトーナメントが、11月1日・2日に新潟県中魚沼郡津南町のニューグリーンピア津南で開催された。津南町は、新潟と長野の県境に位置し、紅葉で山の木々は色づいて豊かな自然を堪能できる素晴らしいところです。試合会場のニューグリーンピア津南は、体育館と宿泊施設が通路で行き来でき、移動時間を考えなくて済むので非常に試合がやり易い環境がありました。

大会が始まり、初日の男子(56~77kg 級)スナッチでは、17試技連続成功・33試技中3試技の失敗と非常に高い成功率で大会が引き締まり、出場11名中5名が6本成功させた。

その後も日本チームは、高い成功率で各々の目標重量を触り、今後に繋げられる結果を残した。記録的には低調であったが、男子 56kg 級玉城選手 C&J130kg、男子 69kg 級五百蔵選手(体重 65.05)のトータル 279kg、女子 69kg 級谷選手スナッチ 92kg(日本新)は特筆すべき健闘であった。

中国選手団は若い選手が多く、1990 年代の選手が 5 名出場していたが、高い技術を修得し高重量を挙上していた。競技開始年齢が 13 歳だというが、練習の質と量が日本とは懸け離れていることを痛感させられた。

今大会の開催にご尽力いただきました新潟県ウェイトリフティング協会並びに関係各位の皆様に御礼申し上げ、出場選手達は、今回の貴重な経験を生かしてステップアップしていくよう期待する。

## 男子

56kg 級 玉城 成一 (日本大学)	Snatch98kg C&J130kg T228kg
S1 93kg○ S2 96kg○ S3 98kg○	J1 123kg○ J2 127kg○ J3 130kg○
【試合の感想】	
自分の今回の試合は、6 本成功をしましたが自分が思っていたスタート重量ではなく低い重量で挑戦しました。これからは自分のベストに近い重量からスタートしたいと思います。	

## 62kg 級 才田 吉弘 (日本大学)

Snatch115kg C&J137kg T252kg

S1 107kg○ S2 112kg○ S3 115kg○ J1 137kg○ J2 142kg× J3 142kg×

### 【試合の感想】

今回の試合の目標は、6 本成功することでした。試合前の練習では、肩を痛めていた事もあり、調子があまり良くありませんでしたので、6 本取って次の試合に繋げていきたいと思っていました。S は、3 本取れたので、J をもっと良くして早く 160 やりたいと強く思いました。

### 【今後の抱負と課題】

J のバランスとディップの動きを更に研究して、自分のものにしていきたいです。また、もっと体重を増やして、韓国か中国の選手のような体つきに少しでも近づき、強くなりたいです。

69kg級 五百蔵正和 (大阪信用金庫)	Snatch125kg C&J154kg T279kg
S1 120kg○ S2 125kg× S3 125kg○	J1 150kg○ J2 154kg○ J3 158kg×

【試合の感想】

今回の試合で本来 62kg 級の中国の選手がトータル 300kg を確実にやっているのを見て、自分は記録を狙いに行く上で 1 本 1 本を正確にやっていないことに気付かされました。

【今後の抱負と課題】

今後は、来年の全日本で 62kg 級でもトータル 280kg を超えていけるよう練習の中で正確な試技をしていきたいと思います。

77kg級 本間 智也 (中央大学)	Snatch127kg C&J160kg T287kg
S1 120kg○ S2 125kg○ S3 127kg○	J1 150kg○ J2 155kg○ J3 160kg○

【試合の感想】

今回初めて国際大会に出場しましたが、正直中国と韓国の強さには圧倒されました。しかし、これから競技を続けていく上でこういった試合に出る機会は多くなると思うので、もっと強くなって外国の選手と張り合わなければならぬないと感じました。また、同階級のオリンピック選手と試合ができ、良い刺激になりました。

【今後の抱負と課題】

試合を終え、まず思ったことは中国・韓国との練習量の違いです。中国と韓国の選手のフォームや挙げ方を見ただけで、力だけでなく相当な練習を積み重ねていることが感じ取れました。今、自分に足りないことは練習量だと思うので、現在のレベルの違いを感じながら練習を積み重ね、世界のレベルに近づきたいと思います。

85kg級 金原 勇 (九州国際大学)	Snatch135kg C&J165kg T300kg
S1 130kg○ S2 135kg× S3 135kg○	J1 160kg○ J2 165kg○ J3 171kg×

【試合の感想】

初めて国際大会に参加することができました。心地良い緊張感の中で試合をすることが出来たと思います。C&J の 3 本目で自己新に挑戦させていただき有難う御座いました。これらの経験を生かして次の試合に繋げていきたいと思います。

【今後の抱負と課題】

改めて中国や韓国の選手と日本の選手の圧倒的な筋力の差を感じました。その反面、技術的な面で何か劣っているとは感じませんでした。これからは自分の筋力不足を認識して、筋力トレーニングを中心とした練習を重ねていきたいと考えています。

94kg級 高橋 一馬 (九州国際大学)	Snatch130kg C&J150kg T280kg
S1 130kg○ S2 135kg× S3 135kg×	J1 150kg○ J2 160kg× J3 160kg×
【試合の感想】	
日韓中フレンドシップに日本代表として参加し、当然緊張はしましたが、強豪国である中国・韓国の選手と同じ舞台で競技できたことは、とても勉強になったと思います。今大会での成績は良くなかつたですが、この日韓中フレンドシップを通じて、中国選手の安定したフォームを見て学んだことや、練習で自信を付けなければ大会では良い記録は出ないという経験などを次の大会で生かしたいと思います。	
【今後の抱負と課題】	
日韓中フレンドシップを終え、私が感じたことは、中国の選手は見た目においても記録においても、筋肉、筋力が優れていると感じました。今後の練習では、S・J・Sqなどの練習の他にも、腹筋や背筋、懸垂など基礎的な筋力トレーニングにも力を入れていきたいと思います。そして、中国人・韓国人選手のフォームの正確さ、勝負強さなども見習っていきたいです。	

105kg級 福嶺 佑耶 (九州国際大学)	Snatch135kg C&J181kg T316kg
S1 135kg× S2 135kg○ S3 140kg×	J1 170kg○ J2 181kg○ J3 190kg×
【試合の感想】	
今回の試合は、調子が悪くてあまり思い切った重量でスタートできなかったのですが、いくら調子が悪くても、135・170というスタートだったら6本成功しないといけないと思いました。	
【今後の抱負と課題】	
外国人に負けないくらいの体作りと試合での成功率を上げることです。あと、怪我をしない練習することだと思います。	

+105kg級 関谷 圭一 (新潟盲学校教諭)	Snatch145kg C&J180kg T325kg
S1 145kg× S2 145kg○ S3 150kg×	J1 180kg○ J2 185kg× J3 壊権
【試合の感想】	
今回の試合は、アップの段階から落ち着いて挑めたと思います。しかし、いざ試合が始まると、S1本・J1本という散々な内容でした。Jに関しては、1本目の試技で腰を痛めてしまい途中棄権となり、悔しさが残りました。せっかく頂いたチャンスで結果を残せず、改めて自分の未熟さを痛感した試合でした。	
【今後の抱負と課題】	
今後は、日頃の練習はもちろん、試合のアップ中にも自分が今どのようなフォームで挙げているのかを把握しながら行うことをもう一度頭に叩き込み、それを大切にすることが大事であると思いました。1本1本を丁寧に正確に挙げられるよう、自分自身を把握することが大切であると思いました。更には、技術力・体力の向上も急務であると感じました。	

女子

48kg級 中部 有理 (金沢学院大学)	Snatch66kg C&J86kg T152kg
S1 63kg○ S2 66kg○ S3 68kg×	J1 83kg○ J2 86kg○ J3 88kg×

【試合の感想】

今回の試合は、S・J の 3 本目を両方とも失敗してしまい、自分の精神的な詰めの甘さが出てしまいました。これからは、練習でもできるだけ重い重量に挑戦して、重量に慣れるようにしたいです。そして、気持ちも試合を意識して練習に取り組んで、次の試合では納得のいく結果を残したいです。中国・韓国の選手は重心がぶれずにロスの少ない挙げ方をしていると思いました。自分も見習ってロスの少ない挙げ方ができるように努力していきたいです。今回は日本が開催国でとても試合がやりやすかったです。これは大会に係わっている人達のお陰だと思います。ありがとうございました。

53kg級 鎌屋 綾子 (立命館大学)	Snatch72kg C&J88kg T160kg
S1 68kg○ S2 70kg○ S3 72kg×	J1 83kg○ J2 86kg× J3 88kg○

【試合の感想】

初めて日本代表として国際大会に出場することができたのですが、特に緊張せず、試合に臨むことができました。今回久しぶりの減量で、当日の朝までなかなか体重が落ちなくて少々焦っていたのですが、先生方の適切な指導により減量を成功することができました。

試合面では、アップは減量が響いてか少し重いと感じる部分がありました、プラット上ではあまり感じず挙げることができて良かったです。今回選ばれて良い結果を残すことができたのは、先生方や先輩方をサポートしていただいたお陰だと思っています。とても良い経験をすることができました。ありがとうございました。

58kg級 稲谷 春菜 (平成国際大学)	Snatch78kg C&J92kg T170kg
S1 75kg○ S2 78kg× S3 78kg○	J1 88kg○ J2 90kg○ J3 92kg○

【試合の感想】

昨年もこの大会に出場させてもらいましたが、今年は開催国が日本ということもあり、昨年より大会前の不安も少なく、落ち着いた気持ちで試合に向かえることができました。新潟県ということで寒さが気になりましたが、会場は思っていたほど寒くなく、体の動きも良かったと思います。試合はすごく緊張しましたが、すごく楽しんで試技が出来たと思います。また、中国・韓国の力強い試技を見ることができ、すごくいい経験になりました。大学に戻り、今回の反省を生かした練習・生活をしようと思います。本当に良い経験ができました。ありがとうございました。

63kg級 団子絵理菜 (平成国際大学)	Snatch76kg C&J97kg T173kg
S1 74kg○ S2 76kg○ S3 79kg×	J1 94kg○ J2 97kg○ J3 100kg×

【試合の感想】

今回は初めての国際試合だったのですが、自分のペースでいつも通りに試技することができました。試合の一ヶ月前からずっと調子が悪く、焦りと不安でいっぱいだったのですが、プラットホームの上では、会場の雰囲気を楽しむことができ、いい経験ができました。結果は4本成功で、S・J共に3本目の失敗は、悔いが残る失敗でしたが、この悔しさを今後の練習へのよい刺激としてとらえ、練習を頑張っていこうと思います。

69kg級 谷 綾野 (金沢学院大学)	Snatch92kg C&J114kg T206kg
S1 85kg○ S2 89kg○ S3 92kg○日本新	J1 110kg○ J2 114kg○ J3 119kg×

【試合の感想】

今回のフレンドシップは、日本で開催されるということで、地元の新潟の方々にはとてもよい環境を整えて頂いたり、たくさんの応援の声を頂いたりしました。そのお陰で私を含め多くの選手が成功率も良くとてもいい試合をすることができました。中国や韓国の選手は、5kg、10kg 次の試技でアップしても成功するなど技術だけでなく、精神面でもとても強いと感じました。私も同じように戦える強さを身につけたいと思いました。

75kg級 榎木 博美 (金沢学院大学)	Snatch76kg C&J101kg T177kg
S1 70kg○ S2 73kg○ S3 76kg○	J1 93kg○ J2 98kg○ J3 101kg○

【試合の感想】

今回初めての国際試合ということで大変緊張しましたが、6本成功することができ、Jでは自己新記録を出すことができました。中国や韓国のフォームを見ていると体幹部が安定していてSの受けがきれいでした。C&Jでは、重心がしっかりしていたので、Dipのタイミングや差し上げたときの受けのポイントがあついていてすごいと思いました。自分も見習って頑張りたいと思いました。

+75kg級 制野 真理 (金沢学院大学)	Snatch92kg C&J115kg T207kg
S1 88kg○ S2 92kg× S3 92kg○	J1 110kg○ J2 115kg○ J3 120kg×

【試合の感想】

今回は久しぶりの出場だったので、良い記録を出したかったのですが、1週間前に体調を崩してしまい、思っていたスタートや練習をしてくる事ができなくて大変自分でも情けなかったなと思いました。韓国や中国の選手のフォームを久しぶりに間近で見る事ができ、スピードや無駄の無い動きを自分も勉強して身に付けていけたらなと思いました。今回取った重量を次の試合でスタートに出来るよう頑張りたいと思います。

# 2008 アジアインタークラブ選手権大会

2008.11.3-6

2008 고양

大韓民国：高陽市（コヤン）

## 아시아클럽역도선수권대회

監督 岡田 純一 早稲田大学  
コーチ 竹俣 壽郎 JOC専任コーチングディレクター

### 選 手

48kg級

前田

咲野子

早稲田大

学

53kg級

松山

洋香

早松

商大

高学

校

58kg級

大山

恵理

早稻

田大

大学

63kg級

大奥

友紀

早早

稻田

大学

69kg級

山谷

仁美

早稻

稻田

大学

+75kg級

大西

はるか

早

稻

田大

学

会場外観



会場内



2008  
Goyang  
Asian Weightlifting  
Inter-club Championships

\*背景写真は大会パンフレットから(韓国:ジャンミラン選手)

# 女子レスリング国際大会

表彰を受ける岡田監督

岡田 純一 早稲田大学准教授

## 大会総評

(社)日本WL協会 選手強化委員会 委員

本大会は選手強化委員会において、推薦されたチームが出場した。早稲田大学女子部を中心とした6名のチーム編成となった。各国男女2チームまでのエントリーが可能であり、地元韓国は国内から選手を選抜し、イラン（男子）は所属企業単位に2チームエントリーしていた。競技会の歴史はまだ浅く、出場人数が少ない階級もあるけれども、男子+105kg級では世界ジュニア新記録が樹立されるなどハイレベルな選手が出場している。今後徐々にレベルの高い競技会へと発展していくだろう。日本は団体戦で中国を抑え、地元韓国に次ぐ2位を獲得した。



広いアップ場



Sを成功させた松山選手



## 選手たちの試合後 . . .



48kg級 前田 咲野子  
S 67kg J 79kg T 143kg 第1位

試合内容は良くなかったものの、課題は見えた。気持ちを切り替えて、練習に励むことが重要。



53kg級 松山 洋香  
S 58kg J 68kg T 126kg 第4位

緊張しないで挙げられたことは大きい。そして、トップ選手の試技は非常に良い刺激となった。



58kg級 大山 恵理  
S 63kg J 78kg T 141kg 第4位

強い精神力が必要であると感じた試合だった。“やればできる”という自信を身につけたい。



63級 kg 奥山 友紀  
S 63kg J 81kg T 144kg 第7位

初の国際大会は学ぶところが多く、良い経験となった。そして、自分に足りない部分が多く見つかった。



69級 kg 苓谷 仁美  
S 70kg J 91kg T 161kg 第4位

初の国際大会は多くの不安や緊張があったが、うまく気持ち・体調を調整でき、6本成功できた。



+75級 kg 大西 はるか  
S 74kg J 101kg T 175kg 第4位

不安や緊張はなかったが、戸惑いはあった。他国の選手を見て学ぶことが多くあり、これからに生かしたい。

内閣総理大臣杯第45回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会  
トキめき新潟国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会  
<第64回国民体育大会ウエイトリフティング競技会リハーサル大会>を終えて

新潟県協会事務局 小嶋栄二

今シーズンの初雪が降るという悪天候の中、新潟県三条市に全国から選手・監督・大会関係者の皆様をお迎えし、「内閣総理大臣杯第45回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会」並びに「トキめき新潟国体記念杯女子ウエイトリフティング競技会」が、平成20年11月22日（土）から24日（月）にかけて三条市の新潟県県央地域地場産業振興センターを会場として、全日本社会人に154名、記念杯女子に62名の選手が参加して、3日間の競技が繰り広げられました。

内閣総理大臣杯は「自衛体育学校」が獲得し、部門別では地域スポーツクラブチームは「かいじクラブ」、官公庁チームは「自衛体育学校」、そして企業チームは「トヨタ自動車㈱A」が優勝しました。

最優秀選手は、56kg級トータル243kgで優勝した越智一平選手（自衛体育学校）が文部科学大臣賞を受賞しました。また、同選手は56kg級でスナッチ110kg、トータルで243kgの大会新記録を樹立し競技会に華を添えていただきました。

今大会は今までにないスタイルでの会場配置をさせていただきました。この会場は床がコンクリートのため強度で全く心配する必要がなく、一つの大きなホールにアップ場を中央に配して第1会場と第2会場を対称的に作り、競技の運営や応援のしやすさなどを考慮に入れたスタイルとしました。一番心配されたのは音の問題でした。コールや表彰式、またアップ場や応援の音などが競技運営にどれだけ影響するかが気がかりでした。音響担当の方からご苦労いただき細かな調整をし、放送やBGMは選手の試技にはあまり影響はないとの評価はいただきました。しかし、本国体ではさらに良い状態で競技ができるよう工夫を重ねたいと思います。

昭和39年、東京オリンピックの関係で6月に当時黒崎町で行われた、新潟国体以来44年ぶりとなる全国大会でしたので不慣れな大会運営にもかかわらず、精一杯試技をされた選手の皆様、大会運営にご指導・ご協力いただいた日本ウエイトリフティング協会や北信越各県、及び隣接した県からの役員の皆様に新潟県ウエイトリフティング協会役員一同心より感謝申し上げます。

さて、2009年9月27日（日）より開催されます、トキめき新潟国体におきまして今大会の経験を生かし選手が試技に専念できる環境つくりと大会運営をお約束するとともに、三条市においてになる選手・監督の皆様を心から歓迎したいと思っております。

トキめき新潟国体で、お会いできる日を楽しみにしております。



+105kg級の表彰の模様



内閣総理大臣杯を獲得した「自衛隊体育学校チーム」

## 7年連続内閣総理大臣杯獲得（33回目）

### 第45回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会

内閣総理大臣杯：自衛隊体育学校

文部科学大臣賞（最優秀選手賞）：自衛隊体育学校 56kg級 越智一平

第45回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会が、平成20年11月21日（金）から24日（月）の間、新潟県三条市「県央地域地場産業振興センター」で開催された。

全国から41チーム154名がエントリーされ、熱戦が繰り広げられた。

自衛隊体育学校（埼玉）、かいじクラブ（山梨）、警視庁（東京）が団体で内閣総理大臣杯を争うチームで、自衛隊体育学校も古手の選手が現役を引退しているため非常に厳しい戦いが予想され、失格者を出すと内閣総理大臣杯獲得が絶望的になる中での熱戦が繰り広げられた。

試合は、初日56kg級越智選手がトータル243kgでスナッチ・トータルにおいて大会新記録で優勝、56kg級宇良選手がトータル196kgで8位、62kg級堀川選手がトータル266kgで優勝、2日目は69kg級上地選手がトータル275kgで2位、77kg級綾部選手トータル290kgで2位、85kg級吉岡選手がトータル325kgで優勝、85kg級知念選手がトータル275kgで5位、94kg級園山選手がトータル268kgで3位、最終日を待たずに総合得点116点を獲得して7年連続（33回目）内閣総理大臣杯獲得が決まった。

文部科学大臣賞（最優秀選手賞）は、56kg級で大会記録を更新した越智選手が獲得した。

特に越智選手、堀川選手、知念選手が試合自己記録を更新するとともに、85kg級吉岡選手はスナッチで、3試技目に156kgの日本記録に挑戦したが後方に回し失敗した。来年の全日本選手権大会では是非とも日本記録を更新してもらいたい。

来年の、開催地の千葉県でも8年連続内閣総理大臣杯獲得できるよう精進していくたいと思います。



県央地域地場産業振興センターにて新潟国体マスコットと記念写真

# 自衛隊体育学校団体メンバー



56kg級 越智一平選手



56kg級 宇良 篤選手



62kg級 堀川康信選手



69kg級 上地克彦選手



77kg級 綾部昌慶選手



85kg級 吉岡祐司選手



85kg級 知念辰吾選手



94kg級 園山 昇選手

## 平成20年度大学対抗戦を顧みて

全日本学生連盟  
副会長 菊地俊美



インカレ団体優勝の九州国際大学（2年ぶり2回目）

本年度の文部科学大臣杯第54回全日本大学対抗戦と第9回全日本大学対抗女子選手権大会は、11月30日と12月1日の両日に亘り例年通り磯子スポーツセンターを会場として行われた。初日は女子全階級と男子3階級が行われ、最終日は男子5階級に熱戦が展開された。

### 女子の部

女子は今回から出場選手枠が1名増えて総勢5名の対抗戦となった。団体は各階級に有力選手をそろえた金沢学院大学が、出場した全選手がトータルで優勝するという他校を圧する力を見せつけ、昨年に続き堂々の2連勝を飾った。選手層の厚さからくる個々の力量の高さや堅実な試合運びによる失敗試技の少なさが顕著で、大会前の予想どおり選手個々の持ち味を十分に發揮しての完勝であった。2位に終わった平成国際大学は、金沢学院とエントリーが重ならない工夫が見られたが、直接対決した53kg級・69kg級・75kg級において金沢学院に後塵をはいし、接戦に持ち込めるほどの得点は獲得できなかった。エントリーした中で5名枠を使い切った大学は8校中4校で、得点も上位3校に集中していた。女子のレベルを向上させ対抗戦を活性化させるためにも高校からの進学者を増やし、選手層を厚くすることが各校に課せられた課題である。

選手個人では69kg級に出場した橋田麻由(金沢学院4年)がスナッチで93kg、トータルでも211kgの日本新を樹立する活躍を見せた。体重は63kg級に近かったにもかかわらずスピードと安定感のあるリフティングで全試技を成功させ、今後社会人になってもさらに上の境地を目指せる精神的そして身体的な躍動感を見て取れた。全階級の中で最小学年で優勝したのが58kg級の稻谷春菜(平成国際2年)であった。スナッチ・ジャークとも全試

技を成功させ 2 位の谷口亜純(立命館 3 年)に 14kg 差をつけての勝利であった。女子選手が社会人になってからも活動を続ける場が少ないので現在の社会環境下では、大学選手の活躍が今後における強化の主軸となるので、若手選手の今後の飛躍をお一層期待したい。

### 男子の部

過去 53 回の大会で優勝旗が東京を離れたのは第 52 回大会(平成 18 年度)が初めてであった。これほどまでに関東が圧倒的な強さを誇っていた背景には、競技の歴史が東京の大学を中心に創られたことと選手の所属がこれらの大学に集中したことによる。この東京に偏重した歴史に風穴を開けたのが九州国際大学であった。九国大の強さは、九州出身者を中心とした選手層の厚さと豊富な練習量に裏打ちされた確かな記録の向上にあるといえよう。昨年は惜しくも中央大学に敗れて 2 位に終わったが、今大会は重量級に好選手を配し全員で手堅く得点を確保する戦術で優勝旗の奪還に臨んだ大会であった。

大会初日は 3 階級が行われ 56kg 級は新鋭の安永和詩(法大 2 年)がジャークの 3 回目で 129kg を成功させ接戦を制して初優勝を飾った。62kg 級は実力に勝る才田吉弘(日大 4 年)がスナッチ、ジャークとも安定した試技を見せ順当に 2 連勝を飾った 69kg 級はエントリーの妙で今大会の穴となつたが、武井誠一郎(早大 1 年)と高木悠介(早大 4 年)の早稲田コンビが接戦を展開し会場を沸かせた。優勝の行方は最後のジャークまでもつれ込んだが、合理的なフォームからスピード感あふれるリフティングで全試を技成功させた武井に軍配が上がった。記録はやや低調ではあったが新人の活躍は学生陣に良い刺激を与える相乗効果を生んだ。初日を終えた段階で団体争いは法政大学がトップを走り早稲田大学や日本大学が後を追う展開となつたが、残りのエントリー数からすれば早大と九国大の一騎打ちの感が強くなってきた。

2 日目は 77kg 級から開始され本命の本間智也(中大 4 年)が苦しみながらも最後のジャークで久保山豊(九国大 4 年)を逆転し 2 連勝を果たした。85kg 級は菅野和利(早大 4 年)と土谷浩二(早大 3 年)の早大勢が上位を独占し、団体でも大量の得点を獲得した。逆に 2 名出場させた九国大は優勝を狙っていた金原がジャークで失格するという波乱が起き、得点争いも両校の残り選手数の差で微妙な展開となってきた。94kg 級は河原祐輔(金沢学院)が 2 年生ながら落ち着いたプレーを見せ、堅実な試合運びで里直樹(九国大 4 年)を振り切り初優勝を飾った。団体の行方は早大と九国大が拮抗しており次の 105kg 級でほぼ決する展開となつた。九国大は 3 年の福嶺佑耶が早大は最後の選手となった 2 年の木城悠介が出場した。福嶺は実力どおり他の選手を圧倒し悠々 2 連勝を果たし、合計で 24 点の最大得点を獲得し団体優勝に向けて優位な立場を固めた。一方木城は 5 点以上獲得すれば同点若しくは単独優勝の可能性を残せたが、ジャーク 3 回目の失敗が響き 2 点止まりで終わり 105 超級に出場する九国大の結果待ちとなつた。最後の 105 超級は絶対的本命の太田和臣(九国大 4 年)が登場し、スナッチ・ジャークの 1 回目をあっさり成功させ自身の 2 連勝と共に団体の 2 年ぶり 2 度目の優勝を決めた。

団体争いは、昨年 2 部であった早稲田の大健闘もあり最後まで行方が分からない白熱した戦いとなつた。個人優勝者は 2 名ながら早稲田の猛追をかわした九州国際の勝因は、選手層の厚さからくる選手個々のレベルに不均衡が少なく、出場したどの階級でも一定以上の得点が取れる強みが結集したものといえよう。ただし、各階級の記録は決して高いレベルとはいえないかった。トータルで 300kg を超えた階級が 94kg 級からでは寂しい感じがする。団体の大学日本一を決める大会ではあるが、基本は選手個々の実力を高めることにあるので、将来の日本を付託すべく選手諸君のさらなる精進を期待し次回の大会を待ちたい。

# 女子インカレ団体は金沢学院大学が2連覇！

## 中部、竹下、稻谷、図子は初優勝！！



S 68 - J 88 - T 156

48kg級優勝 中部 有理 金沢学院大3年 身長147cm 須磨友が丘高出  
練習ベスト S69、J88、Sq115、FSq95、DL95、Mp45

<優勝の感想>  
すごく嬉しいです。

<記録面での感想>  
スナッチもジャークも満足しています。

<これからの抱負は？>  
試合でスナッチ70kg、ジャーク90kgをすること。



S 73 - J 89 - T 162

53kg級優勝 竹下 菜緒 金沢学院大3年 身長145cm 加悦谷高校出  
練習ベスト S79、J96、Sq130、FSq106、DL120、Mp50

<優勝の感想>  
嬉しいですが納得はいきません。

<記録面での感想>  
満足していません。

<これからの抱負は？>  
体重を増やして、記録向上を目指したいです。



S 80 - J 98 - T 178

58kg級優勝 稲谷 春菜 平成国際大2年 身長157cm 倉敷商業高出  
練習ベスト S82、J98、Sq130、FSq110、DL110、Mp55

<優勝の感想>  
チームに貢献できて嬉しいです。

<記録面での感想>  
今年は怪我が多く、満足のいく試合ができていなかったので、この大会  
で6本成功で新記録を出すことができ嬉しかったです。

<これからの抱負は？>  
今回は優勝できましたが全日本レベルからしたらJは100kg以上を  
とらないと勝負にならないので、100kg以上を目指して頑張りたい。



S 77 - J 95 - T 172

63kg級優勝 図子絵里菜 平成国際大3年 身長153cm 倉敷商業高出  
練習ベスト S80、J100、Sq145、FSq130、DL120、Mp44

<優勝の感想>  
今回の優勝が高校を通じて初めてだったので嬉しかったです。  
でも記録が低かったので少し残念です。

<記録面での感想>  
とりあえず団体得点9点をとれてよかったです、S2本、J1本とい  
う結果で練習でやっている記録がとれずみんなに申し訳なく思います。

<これからの抱負は？>  
来年1年、精一杯練習し記録を伸ばしてベストを出し、国際試合に出場  
したいです。

# 69kg級橋田(金沢学院大)が、スナッチ・トータル日本新で4連覇！！ 金沢学院大学が7階級中5階級制す。



69kg級優勝 橋田 麻由 金沢学院大4年 身長150cm 加悦谷高出  
練習ベスト S93、J119、Sq165、FSq135、DL135、Mp54

<優勝の感想>

素直に嬉しい。ありがとうございました。

<記録面での感想>

怪我をしていて、充分に補強などができるなかつたが6本成功のスナッチ・トータルと日本新記録を樹立することができ良かった。

<これから抱負は？>

補強など身体の強化をして種目の記録を伸ばすことと、怪我をしない身体づくりをすることです。

S 93 NR - J 118 US - T 211 NR



75kg級優勝 谷 綾野 金沢学院大4年 身長156cm 滑川高校出  
練習ベスト S95、J118、Sq160、FSq135、DL135、Mp54

<優勝の感想>

とても嬉しいです。これも支えてくれた部員や先生たちのおかげだと思います。

<記録面での感想>

肩の怪我で充分な練習が出来ていなかつたが、今自分ができる最大の重量を挙げれたと思います。

<これから抱負は？>

まず怪我を治し、より高重量を扱えるようになること。

S 90 - J 110 - T 200



+75kg級優勝 制野 真理 金沢学院大3年 身長168cm 柴田農林高出  
練習ベスト S96、J120、Sq163、FSq132、DL165、Mp72

<優勝の感想>

素直に嬉しい。来年は出れるか分かりませんが、出場したならば今回よりもっと良い記録で優勝したいです。

<記録面での感想>

練習ではスナッチ100kgをとっているのに、うまく試技に繋がる事が出来ず悔しかった。ジャークはみんなの声援のお陰で120kgをとる事ができ良かったと思います。

<これから抱負は？>

とりあえずS100kg、J130kgを目指して頑張りたいと思います。

S 95 - J 120 - T 215

# 九州国際大学が2年振りにインカレを制す！

62kg級才田(日大)・77kg級本間(中大)が2連覇！



S 99-J 129-T 228



S 116-J 142-T 258



S 120-J 144-T 264



S 125-J 156-T 281

56kg級優勝 安永 和詩 法政大学2年 身長163cm 山梨高校出身  
練習ベスト S105、J135、Sq170、FSq152、DL170、Mp65

<優勝の感想>

高校から通じて優勝したのが初めてだったので嬉しい。

<記録面での感想>

怪我をしていたので練習ができず記録は満足していない。

<これから抱負は?>

世界に通用する選手になりたい。

62kg級優勝 才田 吉弘 日本大3年 身長160cm 小林高校出身  
練習ベスト S120、J150、Sq202、FSq167、DL190、Mp75

<優勝の感想>

大学最後の試合で優勝できたことを大変嬉しく思います。たくさんの応援が自分の力になりました。日大関係者の方々には感謝で一杯です。

<記録面での感想>

今回の大会は勝つことだけ考えていたので記録はこだわらなかった。

<これから抱負は?>

志を高くもって自分の目標を達成します。

69kg級優勝 武井誠一郎 早稲田大1年 身長168cm 日川高校出身  
練習ベスト S122、J147、Sq175、FSq160、DL170、Mp70

<優勝の感想>

優勝を目指してやってきたので素直に嬉しい。

<記録面での感想>

今回の試合は記録ではなく、本数を重視していたので6本取りという結果に満足しています。

<これから抱負は?>

慢心せずさらに上を目指して行きます。

77kg級優勝 本間 智也 中央大学4年 身長176cm 鶴岡工高校出身  
練習ベスト S136、J170、Sq200、FSq200、DL180、Mp75

<優勝の感想>

とりあえず優勝できて良かったです。

<記録面での感想>

ベストにほど遠い記録なので悔しい。

<これから抱負は?>

日本を代表する選手になる。

## 早稲田大が中量級で追い上げ見せるも、九国大の福嶺、太田らの重量級が3点差を付け2年振り2回目の団体優勝を飾る！



S 1 2 6 - J 1 6 8 - T 2 9 4

85kg級優勝 菅野 和利 早稲田大4年 身長165cm 柴田農林高出  
練習ベスト S133、J172、Sq230、FSq200、DL220、Mp100

<優勝の感想>

インカレ優勝を目指して練習していたので、優勝することができてとても嬉しいです。

<記録面での感想>

ベスト記録まで届かなかつたのは残念ですが、大学最後の試合でC&Jの自己新記録に挑戦できたので満足です。

<これからの抱負は?>

全日本社会人に優勝したいです。



S 1 3 9 - J 1 7 2 - T 3 1 1

94kg級優勝 河原 祐輔 金沢学院大2年 身長179cm 珠洲実業高出  
練習ベスト S145、J171、Sq230、FSq190、DL220、Mp95

<優勝の感想>

ジャークで負けたのが正直悔しいです。団体がかかっている大会でチームに少しでも貢献できたと思うので、もっと伸ばしたいと思います。

<記録面での感想>

スナッチが、ベストよりも下回り満足していません。

ジャークもまだまだだと思うのでもっと伸ばしたい。

<これからの抱負は?>

世界選手権に出場できるような選手に成長していきたい。



S 1 4 1 - J 1 8 3 - T 3 2 4

105kg級優勝 福嶺 佑耶 九州国際大3年 身長163cm 中部工高出  
練習ベスト S152、J192、Sq280、FSq230、DL240、Mp135

<優勝の感想>

5本成功し、チームのために貢献できとても嬉しい。

ジャークの最後の試技で失敗したのは、とても悔しかったです。

<記録面での感想>

いつも同じような記録なので、ベストに近い記録をとれるように努力したいです。

<これからの抱負は?>

どんどん記録を伸ばしていろんな試合に出場したいです。



S 1 6 0 CS - J 2 0 5 CR - T 3 6 5 CR

+105kg級優勝 太田 和臣 九州国際大4年 身長183cm 八幡中央高出  
練習ベスト S177、J215、Sq295、FSq225、DL250、Mp115

<優勝の感想>

学生最後の大会で個人、団体ともに優勝できこの上ない喜びです。

<記録面での感想>

スナッチは1本しか成功できず悔しい。ジャークは3本成功し最後に大会記録205kgを挙げることができホットしています。

<これからの抱負は?>

トータル400kgを目指して頑張ります。

# インカレ女子団体優勝報告

金沢学院大学監督 小畠 直之

インカレ女子団体優勝することができて本当に感謝に堪えません。この優勝は、金沢学院大学関係者、部員はもちろん、保護者、高校の指導者の先生方、金沢という地域で応援していただいた皆様のお陰だと感謝せずにいられません。

この栄光は、日頃チームを支え合ってきた菊田三代治氏、長谷場久美コーチ、アスリートクラブメンバーとして、練習時間の全ての行動を共にしてくれた新谷義人、斎藤里香、城内史子各選手の熱い協力体制があって出来た結果であります。

2008年正月に、インカレで優勝することを目標として、練習方法や練習以外のケア、栄養補給、休養の取り方を工夫しながら取り組む事を決めました。

その取り組みについて、数点あげてみたいと思います。

## ①質より量

- ・オリンピック2種目、基礎筋力の向上、絶対的筋力の向上

## ②病院・ATとの連携

- ・障害予防と傷害によるケアの継続を図るために整形外科、内科のスポーツドクターの依頼とアスレティックトレーナーの契約による継続的な治療

## ③十分な栄養補給

- ・朝食と夕食を学園食堂で摂る。
- ・練習中のサプリメント・飲料水の十分な補給

## ④チーム金沢学院としての結束力と支援体制

- ・大学、地域、マスコミあげての応援体制の構築と支援

## ⑤北京オリンピック効果

- ・新谷義人、斎藤里香両氏のオリンピック出場の存在が大きなウエイトをしました。

## <2009年に向けての課題>

- ①環境づくりへの挑戦
- ②世界への継続的な挑戦
- ③指導方法の確立とその実践
- ④男子部員の奮起を期待し、  
男女団体優勝に挑戦。



## 第54回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会を終えて

九州国際大学主将 山田 哲也

平成20年度11月30日～12月1日にかけて、大学の頂点を決める全日本大学対抗選手権大会が横浜市で行われ、九州国際大学は第52回全日本大学対抗選手権大会に続き、2度目の団体優勝を華々しく飾ることができた。

今大会は、昨年の準優勝に悔やんだ先輩たちへのリベンジでもあったことから、「絶対優勝」の四文字が選手たちによい刺激となっていた。そのため、大会メンバーはもちろんのこと、部全体で大会までの日を必死で盛り上げ今大会に臨んだ。また昨年から開設した九州国際大学女子部のみんなも、大いに活躍し一緒に戦ってくれた。

さて試合の展開だが、大会展望にも書かれていた通り試合前から圧倒的に九州国際大学が優勢な状態にいた。確かに、九州国際大学の大会メンバーはこれまで国内外で活躍した選手たちばかりで他の大学が立ち入る隙がなかったのである。

しかし、今大会では早稲田大学の選手たちが驚くほどの活躍ぶり、当然の如く私たち九州国際大学は焦りだし、その結果想定外の出来事が起こったのである。なんと85kg級の優勝確実と言われていた選手がジャークで失格。必然的にトータルには加算されない。今この文面をご覧になられている皆さんでも理解出来る様に、九州国際大学は危機的状況に陥ったのである。しかも初日に団体得点を九州国際大学の4倍以上獲得していたこともあり、早稲田大学が一気に優勢になった。その勢いで早稲田大学は85kg級を1、2位と独占し、優勝に向け勢いに乗った。

しかし、九州国際大学の絆は強かった。監督、コーチ、選手、そして応援をしていたチームメイトたちは、そんな危機的状況に追い込まれながらも誰一人として優勝を諦めていなかつたのである。逆境に強い九州国際大学は94kg級から容赦の無い怒涛の快進撃を試み、1kgでも重いバーベルを擧げるべく自己新記録が出る選手、圧倒的力で優勝する選手、この大舞台で大会新記録が出る選手など、残りの選手たちが全ての力を出し切り、今までの不安を払拭してくれたのである。

結果終わってみれば、早稲田大学を団体得点3点差で制することができ、全国制覇の称号を手に入れ九州国際大学みんなで貴重な喜びを分かち合いながら

今大会を無事終えることができた。

そんな全日本大学対抗選手権大会を終えて、物事を冷静に考えてみたら感謝すべきたくさんの人々が存在することが私なりに分かった。まず今大会で危機的状況を創り出してくれた早稲田大学。そして危機的状況に陥りながらも九州国際大学の絆を確かめられるきっかけとなった監督、コーチ、チームメイト、特に85kg級の選手。そして私がウエイトリフティングを知り、今まで何不自由の無い環境を提供してくれた全ての皆さん・・・言い尽くせぬほどの感謝の気持ちで溢れている。そして最後に、この様な素晴らしい体験をさせてくれるべく私を育ててくれた両親にも感謝している。

終わりに、九州国際大学はこれからも成長を遂げ、日々邁進していく。  
そんな最強軍団九州国際大学に今後とも是非注目していただきたい。



# 平成20年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会報告

小栗 和成

平成20年12月6日（土）～12月7日（日）の2日間、国立科学スポーツ科学センターにて7回目となる公認スポーツ指導者講師全国研修会を実施しました。

この研修会の目的は

- ① 世界基準という視野で指導者・競技者の育成を目指す。
- ② 統一された指導方法を学び、一貫指導を実施する。
- ③ 競技者育成プログラム「指導者・競技者合同宿泊研修会」のプログラムの内容および指導方法の統一のため。
- ④ 競技の普及・強化に繋がる事業推進。

以上4つの目的で実施しています。

特に③の競技者育成プログラムであるジュニアユース・ジュニアエリート合宿のトレーニングプログラムの確認とトレーニング方法の統一をとるためににはとても大切な研修会になっています。

具体的な内容として

- ① 篠宮専務理事による、指導者の自己理解の仕方の実習とその説明。
- ② 小宮山男子監督、長谷場女子監督による平成20年度の国際大会の選手の活躍の紹介や強化方法とその結果などの報告。
- ③ 竹俣壽郎 NTC 専任ディレクターによる動作解析の説明
- ④ 岡部伸二 山梨県桂高校監督による動作解析ソフトを使った選手の動きに確認。
- ⑤ 小栗指導者育成専門委員長による、ウエイトリフティングの動きの基本的な考え方。と(財)日本体育協会指導者資格であるウエイトリフティング指導員の指導内容の説明。
- ⑥ ジュニアユース・エリート研修合宿に向けての練習方法とその実習。
- ⑦ 福森繁明アスレチックトレーナーによる障害に対する対処方法について。

以上の内容を実施しました。

この研修会の大きな特徴としては、実際にトレーニングプログラムの意味とその内容及び指導ポイントが細かく説明され、実際に指導者に役に立つ研修となっています。

是非各都道府県のコーチを行っている指導者の方々はこの研修会に1度は参加して頂き、日本協会が実施しているナショナルトレーニングシステムを肌で感じ取って頂きたいと切に願っています。この講習会は一貫指導を全国で実施するために必要な研修です。トレーニング指導の実習については毎年ほぼ同じ内容の実技講習を行っています。実際のフォームを見たり体感したりして新しい練習方法を身につけて帰っていただきたいと考えています。

ジュニア研修合宿に参加される指導者必ず受講していただいている。この研修の後、ジュニアユース・エリート合宿で指導していただき、統一した指導方法が研修合宿で行われています。

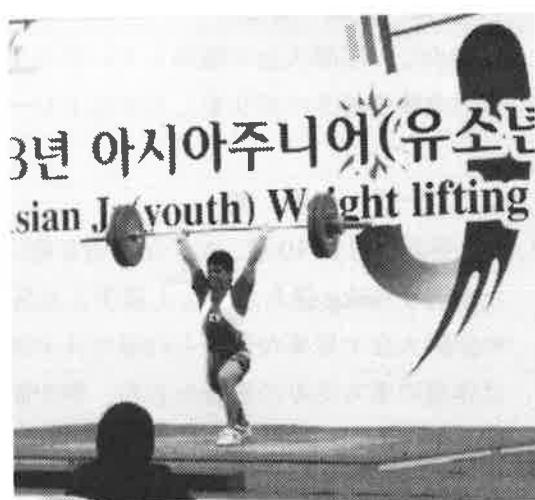
全国研修会と公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会の2つの研修会は(財)日本体育協会の公認スポーツ指導者の更新のための義務研修となっています。

## 2008年度 第10回アジアユースウェイトリフティング選手権大会

2008.12. 03~12.05 韓国・全州市

2008年度のアジアユース選手権大会は、2000年以来8年ぶりに男女10名（男子4名、女子6名）が参加した。男子4名の中には中学生2名、女子6名の中には高校1年生が2名と大変フレッシュなメンバーで挑んだ。

東京のNTCで3日間事前合宿を行い、11月30日に全員が元気に韓国、全州市に飛び立った。競技の始まった日からは最高気温が-3度と予想もない寒さで、体育館全体が冷蔵庫の様だったが選手たちの熱いプレイに寒さも忘れ、初日から「君が代」を2回も聞くことができ感激に浸った。競技会場は大変広く、寒さをしのぐために熱いコーヒーのサービスもあった。開会式のセレモニーも趣向を凝らし、歓迎ムードたっぷりの演出であった。また、イランのレダダデ選手がコーチとして参加しているのが目を引いた。



### アジアユース選手団スタッフ

監督 横山 信仁（兵庫県 須磨友が丘高校教諭）  
男子コーチ 橋本 建郎（大阪府 関西大学監督）  
女子コーチ 川畑 勉（京都府 加悦谷高校教諭）

### 男子コーチ 橋本 建郎

初日は56kg級の糸数選手が、ジャークとトータルで高校新記録を出してダントツの優勝を飾り、中学生の大谷選手も自己新を出して5回成功とまづまづの結果であった。2日目は62kg級の中学生、白草が4回成功で5位に入った。大谷選手、白草選手ともにかんこくで体重が1~2kg減り心配したが、いたって元気にプレイしてくれた。最終日は安達選手が鎖骨の痛みもありベスト記録より10kg以上、下であつたが5回成功で有終の美を飾ってくれた。

全選手、今回の経験を今後に生かし、中国や韓国の強豪選手と対等に戦える選手に成長してくれることを期待して終わりにします。最後に横山、川畑両先生には大変お世話になり有難うございました。

【男子】	S	J	T	
56kg級 糸数 陽一 (56.00)	96 101×101	125 130 133HR	234HR	1位
(沖縄県 豊見城高校2年)				
56kg級 大谷 弘稀 (53.95)	72 74 75	85 88 90×	163	4位
(大阪府 河原城中学3年)				
62kg級 白草 翔太 (56.60)	83 85 87×	103 105 107×	190	5位
(大阪府 河原城中学2年)				
77kg級 安達 貴弘 (75.60)	110 115 120×	130 140 145	260	4位
(愛知県 愛知工業大学付属名古屋電気高校3年)				

### 56kg級 糸数 陽一

初めてアジアユース大会に出場しました。体重調整があったのですが大会当日にうまく落とすことが

でき良かったです。大きな大会で5回成功できたことは良かったのですが内容が悪かったです。もっとフォームをかため、次は6回成功したいです。ジャークとトータルで高校新記録が出せ、とても嬉しいです。これからも練習を頑張りたいと思います。

**56kg 級 大谷 弘稀**

初めてアジアユース大会に出て不安や緊張がたくさんありました。スナッチは3回成功の自己新記録が出せてよかったです。ジャークについては2回しか成功せずよくなかったです。この大会には、ものすごく強い人がたくさんいて、自分ももっと練習して強くなりたいと思います。

**62kg 級 白草 翔太**

今回の体重は56.60kgと減りすぎジャークがとても重く感じました。外国の選手を見て「ほんまに強い」と思いました。初めての海外遠征でとても緊張しました。

**77kg 級 安達 貴弘**

初めての国際大会で緊張していたのですがうまく試合ができる良かったです。肩を怪我しているので今大会終了後リハビリをしてからトレーニングをしっかりやりたいと思います。

**女子コーチ 川畠 勉**

8年ぶり男女10名、大きな希望を抱いて臨んだ今大会、調整合宿から選手たちの体調は良好だった。予想通り48kg級八木かなえ選手と水落穂南選手がレベルの高い戦いを展開した。共に高校1年生、初の国際大会で見事な記録と内容で八木選手が1位、水落選手が3位を獲得した。58kg級山本優子選手は体重の落ち込みの影響からか、やや低調な記録だった。しかし落ち着いた態度でチームをリードし貢献した。63kg級尾崎都加選手の階級は出場者2名で1位のチャンスが濃厚な中、残念ながらスナッチで3回失敗、記録なしに終わった。その後気持ちを入れ替え、ジャークでは自己新記録となる95kgに成功した。69kg級尾崎妹加選手の階級も出場者2名、手堅い進め方で5回成功した。+69kg級山田翔子選手は体重3kgの落ち込みでスタート重量を下げた。1回目を軽々と挙げ波に乗り6回成功でチームを締めくくってくれた。

今大会には中学生をはじめとし各年代から代表を多数派遣したことに大きな意義を感じた。全員が初の海外遠征でありながら男女チーム試技成功率4.7回と高く、その内容もトータル1位2つ、高校新記録3つをはじめ大変良いものだった。今後も小中学生の育成やユースからの掘り起こしと強化を重点課題としてジュニア、シニアへと繋げたい。

【女子】	S	J	T
48kg 級 八木かなえ (47.28)	63 66 68×	83 86 88HR	154 1位
(兵庫県 須磨友が丘高校1年)			
48kg 級 水落 穂南 (46.46)	64 66 68	78 81 83	151 3位
(埼玉県 埼玉栄高校1年)			
58kg 級 山本 優子 (56.35)	66 69× 69×	80 84 87×	150 7位
(福井県 若狭東高校3年)			
63kg 級 尾崎 都加 (60.90)	65× 65× 65×	85 90 95	0
(京都府 加悦谷高校2年)			
69kg 級 尾崎 妹加 (67.95)	65 70 73	85 90× 90	163 2位
(京都府 加悦谷高校2年)			
+69kg 級 山田 翔子 (76.25)	73 77 80	93 97 100	180 2位
(埼玉県 埼玉栄高校3年)			

#### **48kg 級 八木かなえ**

この大会は今までで一番よい内容になりました。5回成功しジャークでは88kgの高校新記録をとることができました。重量をあまり意識せず目の前にあるバーベルを擧げることだけ集中しました。2つの金メダルと1つの銀メダルをとることができ、思い出に残る大会でした。

#### **48kg 級 水落 穂南**

初めてアジアユース大会に出て、日本とは全く雰囲気も言葉も違い緊張しました。試合が始まると、わくわくした気持ちになり緊張もありましたが自信を持って出来ました。外国人の人と交流できてよかったです。

#### **58kg 級 山本 優子**

今大会前はとても緊張しました。会場も大きく雰囲気にのまれそうになりました。試技内容は3回成功という悪い結果になりましたがとても内容の濃い試技でした。課題としてセカンドのポイントやキャッチバランス、下半身の強化などが必要だと強く感じました。これからもっと上を目指したいです。

#### **63kg 級 尾崎 都加**

今大会ではスナッチで3回失敗し、とても恥ずかしく悔しい思いをしました。関係者の方々にも迷惑をかけてしまいました。練習ではできても本番でできなければ意味がないので、今後はこのことを考えながら練習したいと思います。ジャークでは今までに触ったことがない95kgを擧げることができ嬉しかったです。早くもっと強くなれるよう頑張ります。

#### **69kg 級 尾崎 妹加**

アジアユース大会に出場させていただきありがとうございました。今大会で色々なことを学ぶことができました。海外の選手は力強くてバランスがよかったです。今大会では5回成功したのですが自己ベスト記録が出せず残念でした。今回できた課題を今後の練習に生かしたいと思います。

#### **+69kg 級 山田翔子**

今回、初めてのアジアユース大会でした。今までの大会ではクリーンがデッドで終わることが何度もあったのですが今回はなかったです。出場人数が少なくとも2位になれたのは自信になりました。これからもっと上を目指してやっていきたいです。



## 2008年第21回男子アジアジュニアウェイトリフティング選手権大会

2008.12.6~12.8 大韓民国 全州市

警視庁 稲垣 英二

アジアジュニアウェイトリフティング選手権大会は、大韓民国全州市で開催され、男子は昨年大会よりも1カ国、12名多い、14カ国66名が参加した。日本男子チームは5名のエントリーで臨んだ。

事前合宿をナショナルトレーニングセンターで行い、12月2日成田空港から仁川空港へ降り立ち、その後バスで3時間半の道のりで全州市に到着した。全州市はソウルから南へ230km南下した人口62万人の都市で、韓国屈指の穀倉地帯に位置し、ビビンパプ発祥の地としても名高い。緯度は東京とほぼ一緒ということもあり、防寒対策を甘く見ていたが、滞在期間中降雪があるなど冷え込む日が続き、大会会場も小高い山の上にあったため大変寒かった。寒さの厳しい中、終盤で体調を崩す選手もいたが、全力で上位入賞を目指し大会に挑んでくれた。



男子選手団

### 【男子選手団スタッフ（監督1名、コーチ1名、選手5名）】

監督 金城 政博（沖縄県・豊見城高校教諭）

コーチ 稲垣 英二（東京都・警視庁）

選手 56kg級 村上道人（宮崎県・小林高校）

選手 62kg 級 金城誠丸（沖縄県・豊見城高校）  
 選手 69kg 級 金城聖丸（沖縄県・豊見城高校）  
 選手 77kg 級 白草竜太（大阪府・関西大学）  
 選手 94kg 級 河原祐輔（石川県・金沢学院大学）

### 《大会結果一覧》

#### ジュニア男子 56kg級

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	JI Guohua	CHN	115	151	266
2位	OSMONALIEV Erzat	KGZ	110	133	243
3位	CHIANG Tsung-ting	TPE	96	125	221
4位	村上道人	小林高校(宮崎県)	100	115	215

#### ジュニア男子 62kg級

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	HU Tao	CHN	140	170	310
2位	BEHROUZI Sajad	IRI	126	150	276
3位	MOLDODOSOV Sultan	KGZ	121	147	268
5位	金城誠丸	豊見城高校(沖縄県)	105	130	235

#### ジュニア男子 69kg級

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	LU Lei	CHN	142	161	303
2位	KULIK Roman	KAZ	133	167	300
3位	WON Jung-shik	KOR	133	162	295
6位	金城聖丸	豊見城高校(沖縄県)	112	148	260

#### ジュニア男子 77kg級

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	WU Chenghai	CHN	151	182	333
2位	STRIGA Dmitriy	KGZ	158	175	333
3位	MORADI Sohrab	IRI	147	171	318
6位	白草竜太	関西大学(大阪府)	130	152	282

#### ジュニア男子 85kg級

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	UTESHOV Almas	KAZ	150	188	338
2位	HE Jian	CHN	152	180	332
3位	OH Ho-yong	KOR	150	181	331

**ジュニア男子 94kg級**

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	LI Bing	CHN	165	205	370
2位	CHEN Hu	CHN	156	197	353
3位	NIZOV Dmitriy	KGZ	160	192	352
8位	河原 祐輔	金沢学院大学(石川県)	140	165	305

**ジュニア男子 105kg級**

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	YANG Zhe	CHN	180	216	396
2位	KOPYTOV Stanislav	KAZ	170	190	360
3位	ARNAK Anoosh	IRI	161	191	352

**ジュニア男子 +105kg級**

順位	氏名	国	スナッチ	ジャーク	トータル
優勝	HOSSEINI Saeid ali	IRI	206	245	451
2位	SALINI KORD ASIABI Behdad	IRI	185	222	407
3位	KIN Yong-kwan	KOR	171	212	383

**おわりに**

今大会は、試合中に停電が相次ぎ、掲示板が消えたまま競技が続けられる等のトラブルもあったが、日本ではあまり出来ない経験であり、選手にとっては国際大会では何が起こるか分からぬということを身をもって感じる良い機会であった。多少のトラブルでも動搖しない逞しい心と、今後更なる記録の向上に期待したい。

今大会で上位に入った国々の選手たちは、ジュニアとはいえ安定した高い技術が見られた。高重量になってもフォームを崩さない安定性と、多少崩れても修正できる力強さを感じた。競技の開始年齢が早い等による技術の差もあるかもしれないが、日本人選手が追いつくためには、ぶれない強い体幹作り、姿勢を維持する能力、身体に芯を作るようなトレーニングをジュニア層のうちは特に優先して高めていくことが必要であるのではないかと強く感じた。今回このような大会に参加させていただき、関係各位に心より感謝いたします。

## 2008年第13回アジア女子ジュニア選手権大会

開催期日 2008年12月6日(土)～8日(月)

参加国 9カ国(日本、韓国、中国、タイ、カザフスタン、フィリピン、ウズベキスタン、ベトナム、モンゴル)

### 日本女子選手団

(役員) 監督	加 藤 仁	(埼玉栄高校総監督)
コーチ	齋 藤 里 香	(金沢学院東高校教諭)
(選手) 48kg級	竹 下 菜 緒	(金沢学院大学3年)
53kg級	具志堅 美沙希	(〃 1年)
58kg級	菊 田 泰 子	(〃 2年)
58kg級	吉 野 千枝里	(埼玉栄高校3年)
63kg級	宮 平 奈美子	(九州国際大学2年)
69kg級	柿 沼 沙 苗	(埼玉栄高校3年)
75kg級	仲 村 理 奈	(豊美城高校3年)

上記大会は、韓国全州市のファーサン体育館に於いてユース大会(12月3日～5日)に続いて、12月6日～8日の3日間開催された。

事前調整合宿を11月27日(木)～12月1日(月)の5日間、ナショナルトレーニングセンター(N.T.C)で実施したが、選手7名中、大学生3名はインカレで、高校生1名は大学受験の為不参加となり、選手3名と監督で実施した。幸運にも、ユースと男子ジュニア、監督、コーチの協力の下、無事終了した。

不参加の4名については、調整不足の不安が残っていたが、12月2日(火)、早朝N.T.Cを出発し、現地に向かった。

大会会場の全州市はソウル市南方約250km、人口約70万人の市で、韓国内でもウェイトリフティング、バドミントン競技では、数多くのオリンピック選手を輩出している地区と聞いた。

中でもウェイトリフティングでは、1992年第25回バルセロナオリンピック大会56kg級金メダリストのジョン・ビョン・ガンや、今年の北京オリンピック大会女子+75kg級で世界新記録を樹立し、圧倒的な強さで金メダルを獲得した、ジャン・ミランが誕生した町であり、仁川空港から高速バスで約3時間半の盆地の田舎町であった。

ジュニア大会2日目(12月4日夜)の降雪で翌日から積雪が残り、大変寒い中での大会となった。

大会会場は、1階フロアであるが、アップ場は地下1階で、共にゼットヒーター等で暖房はしているものの、寒くて困った。又、選手控室は、暖房もなく、身体を冷やさない様に厚着をして待機させた。

日本は7名のフルエントリー(+75kg級を除き、58kg級2名エントリー)で臨み、悪条件の中、選手はよく奮闘し、7名中6名がトータルで銅メダルを獲得すると共に、国別対抗でも第3位に入賞することが出来た。

階級によっては3～4名と参加数が少なく、その上、強国の選手が失格するなど、棚から牡丹餅的なメダルもあったが、これも本競技の特性である。

日本国内の大会は、恵まれた環境で開催されるが、外国での大会はそうとは限らないことが多い。どんな悪条件、環境であっても、力を出し切れる強靭な体力と精神力を育成しておくべきであろう。

日本選手の大会成績

階級	氏名	体重	スナッチ			順位	C&ジャーク			順位	トータル	順位
			1	2	3		1	2	3			
48	竹下 菜緒	47.90	70	×73	×73	3位	86	×89	×89	5位	156	3位
53	具志 美沙希	52.35	75	78	×80	2位	91	×95	95	3位	173	3位
58	菊田 泰子	57.58	71	74	×76	5位	95	×98	98	4位	172	4位
58	吉野 千枝里	57.58	73	76	×77	3位	94	×98	98	3位	174	3位
63	宮平 奈美子	62.60	85	88	×90	3位	103	107	×110	3位	195	3位
69	柿沼 沙苗	66.55	78	×81	82	3位	98	101	103	4位	185	3位
75	仲村 理奈	73.35	80	83	×87	3位	100	105	×108	4位	188	3位

国別対抗 1位.中国 2位.タイ国 3位.日本

48kg 級 竹下奈緒

今回の試合は、怪我をしていたのとインカレから 6 日後の試合で、減量もありました。ジュニアで最後の試合でもあり、今年最後の試合でもありました。インカレで出来なかつた重量をとりたかったのですが、全くからだが動かず、1本1本という結果となってしまいました。ジュニアの最後に銅メダルがとれたということだけは良かったのですが、試合内容は悪くトータルも高校生の時の記録と変わらず情けない試合でした。ジュニアの国際大会にたくさん出させていただいてとても良い経験ができました。大学生活もあと 1 年、階級をまた上げて体を作り直して、良い結果で終われるように頑張っていきます。ありがとうございました。

53kg 級 具志堅美沙希

今大会の目標は、自分に負けない事でした。しかし、クリーン&ジャークの時に 90kg があげられないのではないかと思ってしまい、1 回目で反則になったときには自分に自信が無くなり、焦りと不安でいっぱいになりました。しかし、1 本目をやり直せると聞いたときに、これは自分に与えられたチャンスなのだと思います。また、自信を取り戻すことが出来ました。クリーン&ジャークの 3 本目は、自分に勝つ事が出来たと思います。しかし、メンタルが弱いから自分を見失ってしまうところが私の課題だと思いました。もっと自分をコントロール出来るように練習でも意識していきたいと思います。良い経験をさせて下さって本当にありがとうございました。

58kg 級 吉野千枝里

今大会が初めての海外遠征だったので、出場する事が出来たのはとても嬉しかった。し

かし、受験も重なる中で、練習不足の上、スタートもボロボロと落としてしまっていたので、こういったところで、いかに自分が不安定であったかということを思い知った。練習不足がいかに大変なことかということを思い知った。今まであまり調子が悪いことは少なかった方だが、今回の経験を踏まえて普段の練習からもっと集中して取り組み、試合に強い選手になりたいと思った。

### 58kg 級 菊田泰子

今回の大会では、長い間腰の痛みがあり、自分の満足いく練習が出来ていない状態でしたが、その中でしっかりと 6 本成功し、最後のジュニアの大会で結果を残そうと思い試合に挑みました。しかし、この大会に向け、DL や Squat など足の部分で全く強化する事ができず、そのまま試合の結果の結果にでてしまったという感じでした。また、クリーン＆ジャークでは 1 本 1 本しっかりと、101kg を必ずとろうと思っていたのですが、挑戦することも出来ず悔しかったです。今回の大会で、また次の目標を設定し、考える事ができる、とてもいい試合になったと思います。試合に出させていただき本当にありがとうございました。

### 63kg 級 宮平奈美子

今回の大会でジュニアが最後だったので 63kg 級のジュニア記録「スナッチ 90kg」をとるつもりで高校を卒業してから練習してきました。スナッチ 90kg となる自信もありました。しかし、少し不安もありました。事前合宿のときから調子が良く、韓国に来てからも調子が良かったです。試合会場はとても寒くて大変だったのですが 58・63kg 級の試合日は天気も良くてアップ場も適温でやりやすかったです。アップ中も安定していてとてもよい状態でした。

しかし、目標にしていたトータル 200kg を達成できなくて悔しいです。スナッチもジャークも自分の弱点を克服しないと駄目だと思いました。今回の試合で色々なことを学べました。これからは大学記録を目指して頑張ります。

### 69kg 級 柿沼沙苗

初めてアジアジュニアに出場する事ができてとても嬉しかったです。国際大会であって、国内の試合とは雰囲気から違っていてとても緊張しました。

日本の中では強いと言われていても世界から見ると弱く、話にならないことに気付かされました。今後は少しでも世界と戦える選手になれるよう、日々の練習を頑張っていきたいです。また、私の弱い引きと足を重点的に強化させていきたいです。

### 75kg級 仲村理奈

今回のアジアジュニアウエイトリフティング大会では、試合前に体調を崩してしまい、自己管理が出来なかったところが一番の反省です。今後はちゃんと体調管理ができるようにしたいです。

試合の部分では、1、2本目がとれたのはよかったです、3本目の勝負どころでとれなかったのが悔しいです。今後は、勝負どころでとれるように練習をしていきたいです。DLが前にとられたり、ひきつけが甘くならないようにフォームも意識しながら、もっと補強や体幹をしっかり強化していきたいと思います。



# トレーニング

出題者 公式記録員 T.K

下の表は、Bグループ・Aグループの順に行われた56Kg級の記録表である。次の条件に従い下の間に答えよ。

ア)抽選番号は1番から10番までとする。

イ)f・hよりIの方が、iよりg・jの方がそれぞれ抽選番号が早く、スナッチではfとh、クリーン&ジャークではgとjが少しでも上位を狙う意思で争っているものとする。

ウ)新記録等の記号は下記とする。

日本新記録:NR Jr日本新記録:JNR 大学新記録:UR 日本タイ記録:NS Jr日本タイ記録:JNS 大学タイ記録:US  
また識別のJはジュニア記録対象者、Uは大学記録対象者とする。

日本記録	
スナッチ	116
Cジャーク	153
トータル	260

Jr日本記録	
スナッチ	110
Cジャーク	145
トータル	255

大学記録	
スナッチ	116
Cジャーク	150
トータル	260

## Aグループ

抽選No.	氏名	識別	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	
3	a		56.00	110	115	118	145	150	153	118	153	271		
9	b		56.00	112	117	118	145	150	153	118	153	271		
2	c	U	56.00	105	110	112	×	151	×	151	153	×	110	151
6	d	U	56.00	110	115	118	147	151	153	118	153	271		
10	e		56.00	112	117	118	147	151	153	118	153	271		

## Bグループ

抽選No.	氏名	識別	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト				
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	
	f	J	56.00	105	111	113	138	143	146	113	146	259		
	g	U	56.00	108	×	108	109	145	150	152	109	152	261	
	h	J	56.00	105	110	112	140	145	147	112	147	259		
	i	J	56.00	108	110	112	145	×	145	147	112	147	259	
	j	U	56.00	105	110	111	×	145	151	153	×	110	151	261

問1.Bグループの抽選番号をうめよ。

問2. 試技順を氏名のaからjで答えよ。

## Bグループ

スナッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
クリーン&ジャーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

## Aグループ

スナッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
クリーン&ジャーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

問3.空欄に新記録・タイ記録等の記号と順位を入れ上の記録表を完成せよ。

問4.トータルにおいて新記録はいくつ樹立されたか。また競技会終了後の最高記録を書け。

日本新記録	
Jr日本新記録	
大学新記録	

日本記録	
スナッチ	
Cジャーク	
トータル	

Jr日本記録	
スナッチ	
Cジャーク	
トータル	

大学記録	
スナッチ	
Cジャーク	
トータル	

## 解 答

下の表は、Bグループ・Aグループの順に行われた56Kg級の記録表である。次の条件に従い以下の間に答えよ。

ア)抽選番号は1番から10番までとする。

イ)f・hよりIの方が、iよりg・jの方がそれぞれ抽選番号が早く、スナッチではfとh、クリーン&ジャークではgとjが少しでも上位を狙う意思で争っているものとする。

ウ)新記録等の記号は下記とする。

日本新記録:NR Jr日本新記録:JNR 大学新記録:UR 日本タイ記録:NS Jr日本タイ記録:JNS 大学タイ記録:US  
また識別のJはジュニア記録対象者、Uは大学記録対象者とする。

日本記録	
スナッチ	116
Cジャーク	153
トータル	260

Jr日本記録	
スナッチ	110
Cジャーク	145
トータル	255

大学記録	
スナッチ	116
Cジャーク	150
トータル	260

### Aグループ

抽選 No.	氏名	識別	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト									
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	トータル	順				
3	a		56.00	110	115	118	NR	145	150	153	NS	118	1	153	1	271	NR 1		
9	b		56.00	112	117	NR	118	NS	145	150	153	NS	118	3	153	2	271	NS 2	
2	c	U	56.00	105	110	112	×	151	×	151	×	153	×	110	8	151	7	261	6
6	d	U	56.00	110	115	118	UR NS	147	151	153	UR NS	118	2	153	3	271	UR NS	3	
10	e		56.00	112	117	NS	118	NS	147	151	153	NS	118	4	153	4	271	NS 4	

### Bグループ

抽選 No.	氏名	識別	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト										
				1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	トータル	順					
8	f	J	56.00	105	111	JNR	113	JNR	138	143	146	JNR	113	5	146	10	259	JNR 8		
1	g	U	56.00	108	×	108	109		145	150	152	UR	109	10	152	5	261	NS US 7		
7	h	J	56.00	105	110	JNS	112	JNR	140	145	JNS	147	JNR	112	6	147	8	259	JNS 9	
5	i	J	56.00	108	110	JNS	112	JNS	145	×	145	JNS	147	JNS	112	7	147	9	259	JNS 10
4	j	U	56.00	105	110		111	×	145	151	UR	153	×	110	9	151	6	261	NR UR 5	

問1.Bグループの抽選番号をうめよ。

問2. 試技順を氏名のaからjで答えよ。

### Bグループ

スナッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	j	h	f	g	i	g	g	j	h	i	f	j	h	i	f
クリーン&ジャーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	f	h	f	g	j	i	h	i	f	h	i	g	j	g	j

### Aグループ

スナッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	c	a	d	c	b	e	c	a	d	b	e	a	d	b	e
クリーン&ジャーク	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	a	b	d	e	a	b	c	d	e	c	a	b	d	e	c

問3.空欄に新記録・タイ記録等の記号と順位を入れ上の記録表を完成せよ。

問4.トータルにおいて新記録はいくつ樹立されたか。また競技会終了後の最高記録を書け。

日本新記録	6
Jr日本新記録	3
大学新記録	4

日本記録	
スナッチ	118
Cジャーク	153
トータル	271

Jr日本記録	
スナッチ	113
Cジャーク	147
トータル	259

大学記録	
スナッチ	118
Cジャーク	153
トータル	271

## 解 説

### ルール

#### 1) 順位決定について

同記録の場合、体重の軽い方が上位となる。

同記録・同体重の場合、対象となる記録を早く樹立した方が上位となる。

A・Bまたはそれ以上のグループで別々に分けて実施された場合は、全て一緒に行つたものとして順位を決定する。

#### 2) 新記録について

いかなる場合でも、早く新記録を樹立した者が記録保持者となる。

問1. Aグループの抽選番号が2・3・6・9・10なので、Bグループの抽選番号は残りの1・4・5・7・8である。

FHよりIの方が、IよりGHの方がそれぞれ抽選番号が早いことから、Iが真ん中の数字であることが分かる。

よってIIは5である。次にFHはより遅いので7・8のいずれかである。FHのスナッチを見るとFがHを追っている様子が分かる。よってFが8でHが7である。次にGJは1・4のいずれかである。ジャークを見るとJがGを追っている様子が分かる。よってGが1でJが4である。また逆のケースを考えると不自然であることが分かる。

問2. 解説なし

問3. 下の記録表は、AグループとBグループを同時に行つたとした時の抽選番号順に並べた記録表である。

全て同体重であるので、スナッチとジャークの同記録での順位は試技順の早い方が上位となる。

同記録でのトータルの順位は早くトータルを出した方が上位。トータルにおいてスナッチとジャークが同記録の場合は、ジャークの試技順が早い方が上位となる。

下の記録表のそれぞれの試技の空欄(真ん中の枠)に試技順(1~30の数字)を入れ、順位をつけて下さい。

ヒント：抽選番号順に並べてあるので、第一試技で同重量の場合は上段の重量の方が試技順が早い。

第二及び第三試技で同重量の場合は、前の試技(第二試技は第一試技を、第三試技は第二試技を見る)の若い方が試技順が早い。

抽選 No.	氏名	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト					
			1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	T	順
1 g	56.00	108	x	108		109		145	150	152	109	152	261	
2 c	56.00	105		110		112	x	151	x	151	110	151	261	
3 a	56.00	110		115		118		145	150	153	118	153	271	
4 j	56.00	105		110		111	x	145	151	153	x	110	151	261
5 i	56.00	108		110		112		145	x	145	147	112	147	259
6 d	56.00	110		115		118		147	151	153	118	153	271	
7 h	56.00	105		110		112		140	145	147	112	147	259	
8 f	56.00	105		111		113		138	143	146	113	146	259	
9 b	56.00	112		117		118		145	150	153	118	153	271	
10 e	56.00	112		117		118		147	151	153	118	153	271	

答えはこちらです。

抽選 No.	氏名	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト									
			1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順	T	順				
1 g	56.00	108	5	x	108	7	109	8	145	4	150	16	152	5	261	7		
2 c	56.00	105	1		110	11	112	19	x	151	19	x	151	7	261	6		
3 a	56.00	110	9		115	23	118	27	145	5	150	17	153	1	271	1		
4 j	56.00	105	2		110	12	111	16	x	145	6	151	20	153	6	261	5	
5 i	56.00	108	6		110	14	112	21	145	7	x	145	10	147	9	259	10	
6 d	56.00	110	10		115	24	118	28	147	12	151	21	153	3	271	3		
7 h	56.00	105	3		110	13	112	20	140	2	145	9	147	14	147	8	259	9
8 f	56.00	105	4		111	15	113	22	138	1	143	3	146	11	146	10	259	8
9 b	56.00	112	17		117	25	118	29	145	8	150	18	153	2	271	2		
10 e	56.00	112	18		117	26	118	30	147	13	151	22	153	4	271	4		

問4.下の表は、問2の解答より、時間的に試技が行われた順の表である。

これを見ると新記録樹立の様子が分かりやすくなっています。(○印はベスト記録)

スナッチ				
No.	氏名	識別	記録	新記録等
B グ ル   ブ	1	j	U	105
	2	h	J	105
	3	f	J	105
	4	g	U	108
	5	i	J	108
	6	g	U	108
	7	g	U	○109
	8	j	U	110
	9	h	J	110
	10	i	J	○110
	11	f	J	111
	12	j	U	111
	13	h	J	○112
	14	i	J	○112
	15	f	J	○113
A グ ル   ブ	16	c	U	105
	17	a		110
	18	d	U	110
	19	c	U	○110
	20	b		112
	21	e		112
	22	c	U	112
	23	a		115
	24	d	U	115
	25	b		117
	26	e		117
	27	a		○118
	28	d	U	○118
	29	b		○118
	30	e		○118

クリーン&ジャーク					トータル	
No.	氏名	識別	記録	新記録等	記録	新記録等
B グ ル   ブ	1	f	J	138		251
	2	h	J	140		252
	3	f	J	143		256
	4	g	U	145		254
	5	j	U	145		255
	6	i	J	145	×	—
	7	h	J	145	JNS	257
	8	i	J	145	JNS	257
	9	f	J	○146	JNR	○259
	10	h	J	○147	JNR	○259
	11	i	J	○147	JNS	○259
	12	g	U	150	US	259
	13	j	U	○151	UR	○261
	14	g	U	○152	UR	○261
	15	j	U	153	×	—
A グ ル   ブ	16	a		145		263
	17	b		145		263
	18	d	U	147		265
	19	e		147		265
	20	a		150		268
	21	b		150		268
	22	c	U	151	×	—
	23	d	U	151		269
	24	e		151		269
	25	c	U	○151		○261
	26	a		○153	NS	○271
	27	b		○153	NS	○271
	28	d	U	○153	UR·NS	○271
	29	e		○153	NS	○271
	30	c	U	153	×	—

Bグループが終わった時点の最高記録は下記である。

日本記録	
スナッチ	116
Cジャーク	153
トータル	261

Jr日本記録	
スナッチ	113
Cジャーク	147
トータル	259

大学記録	
スナッチ	116
Cジャーク	152
トータル	261

次にAグループの新記録に移るとよい。

Aグループが終わった時点の最高記録は下記である。

日本記録	
スナッチ	118
Cジャーク	153
トータル	271

Jr日本記録	
スナッチ	113
Cジャーク	147
トータル	259

大学記録	
スナッチ	118
Cジャーク	153
トータル	271

トータルにおける新記録は上の表より次のようになる。

日本新記録	6
Jr日本新記録	3
大学新記録	4

# スポーツ医学資料

## 解剖学資料

# 筋肉痛

## 1 筋肉痛はなぜ起こる

### (1) 筋肉痛には、

- ① 運動中や運動直後に起こるもの ..... 青年層
- ② 運動後1~2日目に起こるもの（遅発性筋肉痛） ..... 中高年層

原因：年をとると筋線維がもろくなり、血液の循環も悪く、損傷部位への血液の到達が遅くなるため。また、年をとると運動強度をセーブする傾向があるため。

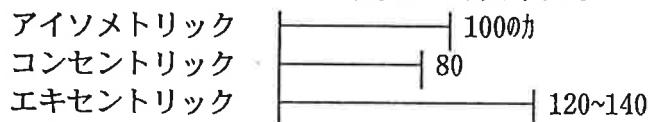
### (2) どんな運動で起こるか

- ① 働けない運動
- ② 久しぶりの運動
- ③ 強度や量が大きい運動

∴ エキセントリック：関節を伸ばすときに起こる筋収縮（⇒コンセントリック）

例）・ダンベルをアームカールで降ろすときの上腕二頭筋  
・坂や階段を降りるときの腓腹筋とヒラメ筋

- ◎ アイソメトリックやコンセントリックだけなら筋肉痛は起きない。
  - ・登山の登りは、筋肉痛は起きないが、下りで踏張るときに起きる。
  - ・油圧式マシーンは、エキセントリックな局面はないため、筋肉痛は起きない。
- ◎ エキセントリックのときに一番大きな力が出る。



## 2 筋肉痛の正体

- (1) 伸張性収縮は、筋に対して過度の負担をかけるため、筋の中で損傷が起こる。
- (2) 筋線維に細かい傷がつき、肉離れの状態になる。
- (3) 結合組織（タンパク質の配列）が崩れによって浮腫が起こる。

## 3 筋肉痛の時期

- (1) 普段から運動をしている人は、治りが早い
- (2) 普段、運動をしていない人は、治りが遅い

## 4 筋肉痛を和らげるには

- (1) 風呂に入る（痛みがひどい時は入らず、シャワーで冷やす）
- (2) マッサージをする（強すぎず軽く行う）
- (3) 寝る、休養する（完全休養よりも積極的休養がよい）
- (4) 温める（運動直後に痛みがない場合のみ）
- (5) 冷やす
- (6) 更に軽い運動をする（ウォーキングや球技）
- (7) 消炎剤、はりは効果がない

### ◎ 「温める」のか「冷やす」のか

- ・運動直後は、「温める」のが基本、ただし、最初から痛みがあれば「冷やす」
- ・「痛い」→「炎症」→「腫れる」だから「冷やす」（血流量を減らすため）
- ・「痛みもない」「炎症もない」「腫れもない」は「温める」
- ・痛みだしたら「冷やす」
- ・治りかけたら「温める」

### ◎ 筋肉痛は、正常な身体の働きである。

## 5 筋肉痛を起こさないためには

- (1) ウォーミングアップでストレッチを行い、あらかじめ筋を伸ばしておく
- (2) クールダウンでストレッチとマッサージを行い、緊張をほぐす
- (3) 急に全力で運動をしない

# 疲 労

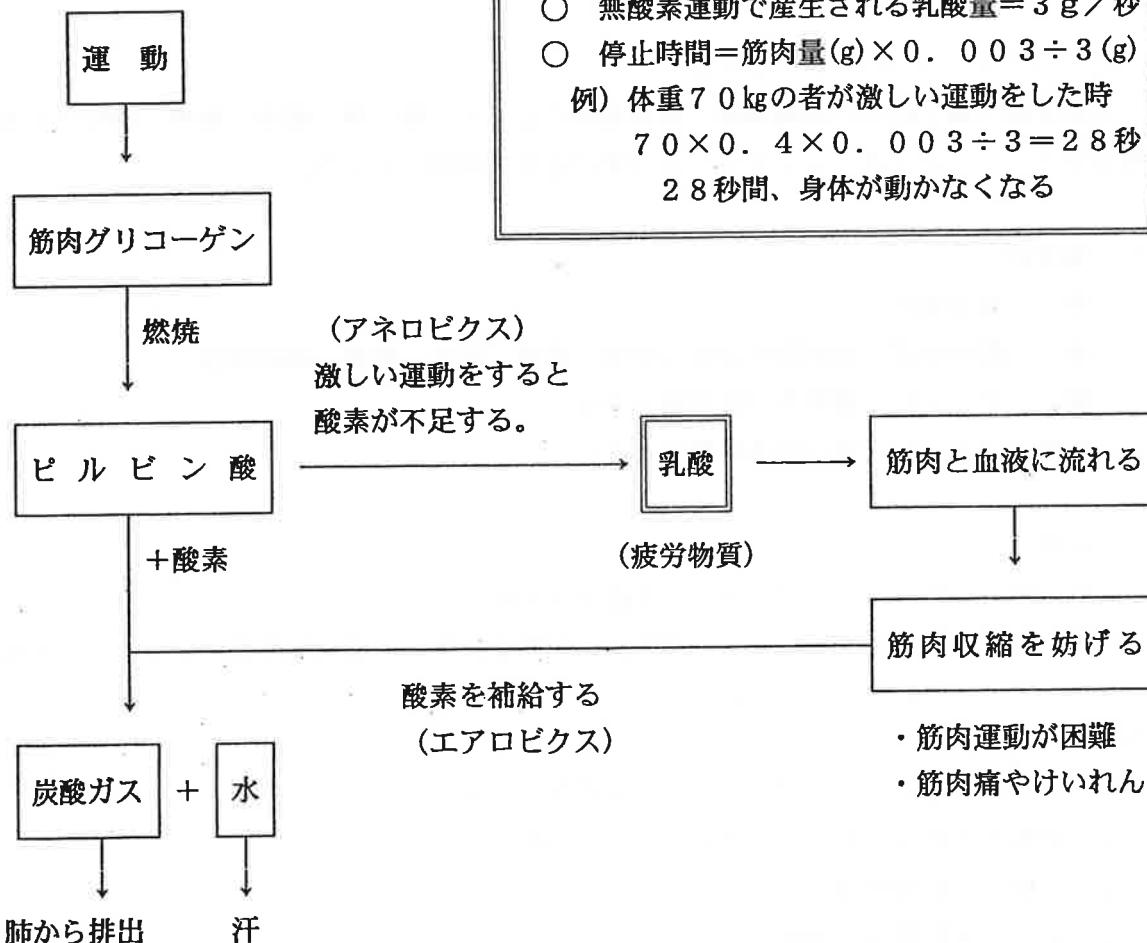
## 1 疲労の徵候

- (1) 機能的疲労症状……作業能率が低下する
- (2) 自覺的疲労症状……疲れたという感じがする
- (3) 他覺的疲労症状……身体に何らかの他覚的な変化が生じる

## 2 疲労の分類

- (1) 肉体疲労と精神疲労
- (2) 局所疲労と全身疲労
- (3) 急性疲労と慢性疲労
- (4) 生理的疲労と病的疲労

## 3 筋肉疲労のメカニズム



# オーバートレーニングとオーバーユース

## 1 オーバートレーニング (OVERTRAINING)

過剰なトレーニング負荷によってパフォーマンスが低下し、容易に回復しなくなった一種の慢性疲労状態。

原因として、

- ① トレーニングが質的、量的に過剰
- ② 過密な試合スケジュール
- ③ 睡眠不足などの不十分な休息
- ④ 栄養不足
- ⑤ 日常生活での過剰なストレス
- ⑥ 悩み事
- ⑦ 病気回復期の不適切なトレーニング

## 2 オーバーユース (OVERUSE)

反復運動や繰り返しの伸縮運動、屈伸運動によって、筋、骨、軟骨、靭帯、腱などに生じる障害をオーバーユース・シンドローム（使い過ぎ症候群）という。

### (1) 障害例

- 骨……疲労骨折
- 筋……筋の硬直、筋組織の炎症（疼痛、腫脹、発赤、発熱、機能障害）
- 腱……テニス肘、腱鞘炎（肘関節の炎症）
- 靭帯……ジャンパー膝（膝蓋靭帯の炎症）

### (2) 要因

- 内因性……筋力のアンバランス、柔軟性の欠如
- 外因性……不適切なトレーニング方法、未熟な技術、不適切な用具、グラウンド状態  
コンディショニング

### (3) 予防

- ① 十分なウォームアップとクーリングダウンの実施
- ② 計画性のあるトレーニングメニューの立案
- ③ 正確な技術の修得
- ④ 適切な運動用具の選択
- ⑤ 身体状況の把握
- ⑥ 原因の解明
- ⑦ 原因となる動作の一時的禁止

# 試合の前の食事のとり方

## 1 グリコーゲン・ローディング法

※ 筋肉内のグリコーゲン貯蔵量が高いほどスタミナが高まる。

試合の1週間前に、激しいトレーニング（ウエイトトレーニング等数種目）を1日の中で2回くらい行って、全身の筋肉と肝臓のグリコーゲンができるだけ使いきる。

その後、3日間は炭水化物がほとんど含まれない高脂肪・高タンパク質食を食べ続け、次の3日間は、炭水化物を食べ続けるという、グリコーゲンを一気に備蓄し直すという方法

## 2 試合の前日は、高炭水化物のものをとる。

例) ご飯、パン、パスタ、いも類、餅、果物

## 3 タンパク質は、応急的エネルギー源ではないので、試合前の食事には不要。

タンパク質が分解すると疲労しやすいため。

## 4 試合の1時間前には食事を終えておく。（脂肪食は食べないこと）

胃のなかに食物が残っていると、消化を促すために大量の血液が胃に送り込まれる。

しかし、運動を始めると、その血液は筋肉に集中するため、胃への血液量が大幅に減り、胃けいれんを引き起こすことがある。

## 5 試合後には、オレンジジュース（クエン酸）を飲み、グリコーゲンの回復（疲労回復）を速める。（2時間くらいで回復。通常は24時間から48時間かかる。）

# トレーニングと食事

## 1 力士の1日

朝稽古 -----> 食事 -----> 睡眠 -----> 昼稽古 -----> 食事 -----> 睡眠  
(チャンコ)

- (1) 1日2回のウエイトトレーニングと2回の睡眠が効果ある。
- (2) チャンコ鍋は高タンパク質である。
- (3) からだ（成長ホルモン）は、睡眠中（昼寝も含む）につくられる。
- (4) 稽古と食事、食事と睡眠の間隔が長いと効果が薄れる。
- (5) 睡眠前に牛乳を飲むと、カルシウムがつくられる。
- (6) 睡眠前のウエイトトレーニングは、筋肉づくりに効果がある。
- (7) ウエイトトレーニングは、血中成長ホルモンを上昇させる効果がある。

## 2 筋肉づくりの効果的すすめ方

睡眠 → T → 食事 → WT(a) → 食事 → 睡眠 → T → WT(b) → 食事 → WT(c) → 睡眠

※ WT（ウエイトトレーニング）は、1回でもよい。 ※ 週2～3回が理想である。

# 発汗と水分の補給

## 1 人間の構成物質

- (1) 水分（血液を含） ..... 65% (筋肉、脳の75%、骨の25%が水分)
- (2) 脂肪 ..... 15%
- (3) タンパク質 ..... 15%
- (4) ミネラル ..... 5%

## 2 発汗と症状

○ “汗”は体温を一定に保とうとする、体の自動調節機能の1つである

- 体重の 2% 発汗 ..... 喉が激しく渴く
  - 4% ..... 口と喉が渴いた状態
  - 8% ..... 唾液機能が停止
  - 10% ..... 危険信号
  - 18% ..... 回復の見込みなし

### ※ 脱水症状

- 水分の補給が間に合わないと陥る。
- 発汗は水分とともに塩分も失う ..... 倦怠感、頭痛、めまい、むかつき、吐き気
- 経過
  - ①食欲の低下、運動能力の低下
  - ②脈拍が高まり、体温が上昇
  - ③熱疲労が顕著
  - ④幻覚症状を示す
  - ⑤熱射病になる
  - ⑥深い昏睡状態
  - ⑦発汗が止まる
  - ⑧けいれんが起きる
  - ⑨死

3 以上のことから、スポーツ選手は水分補給を怠ると、腎臓障害につながることを認識する。

# 栄養素の機能

栄養素	主な機能	不足及び過剰摂取症状	多く含む食品
タンパク質	①筋肉(50%)や内蔵をつくる ②血液やホルモンの主成分 ③体力や体温の保持 ④成長を促進する	(1)関節痛 (2)皮ふや爪の質が悪い (3)きずの直りが遅い (4)食欲不振 (5)ウィルスに感染し易い	卵、牛乳、大豆、肉類、魚介類
脂 質	①濃縮エネルギー源 ②内蔵保護、体温調節 ③植物性油はストレス防止	(1)過剰摂取はコレステロールを増加させ、動脈硬化を引き起こす (2)皮下脂肪の蓄積	バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシング、肉の脂身、ナッツ類、ベーコン、ハム、生クリーム
炭水化物 (糖質)	①エネルギー源 ②消化、吸収を助ける ③疲労回復に効果あり ④脳や神経の唯一の燃料 ⑤肝臓、筋肉中にグリコーゲンとなって蓄積される	(1)過剰摂取で消費されなかった分は、脂肪に合成され皮下脂肪となつて蓄積される	ご飯、パン、麺類、芋類、砂糖、菓子、ジュース類
ビタミンA	①発育を促進 ②皮ふの形成と機能の調節 ③視力低下を防ぐ ④呼吸器の粘膜を正常に保つ ⑤細菌に対する抵抗力を増す	(1)成長が遅れる (2)皮ふがカサつく (3)視力が低下する	緑黄色野菜、卵、レバー、チーズ、うなぎ
ビタミンB群	①疲労回復を促す ②頭脳の働きを高める ③食欲増進 ④エネルギー発生の手助け	(1)疲労回復が遅れる (2)イライラ、ゆうつ感 (3)不眠、倦怠感、居眠り (4)便秘、ジンマシン (5)目がかゆくなる	豆類、牛乳、乳製品、緑黄色野菜、レバー、豚肉、きのこ、海苔
ビタミンC	①ストレスに対する抵抗力をつける ②毛細血管、歯、骨の結合組織を強化する ③病気に対する抵抗力をつける	(1)捻挫や肉離れをまねく (2)出血しやすい (3)頭の働きがにぶる (4)骨や歯の発育が遅れる	野菜、芋類、果物
ビタミンE	①筋肉の萎縮を防ぐ ②スタミナを増す ③老化防止	(1)スタミナがなくなる (2)生殖機能低下	レタス、もやし、大豆、タラコ
カルシウム	①心筋の収縮作用を増す ②骨、歯の硬組織を形成する ③筋肉の興奮を抑制する ④血液の凝固作用に関係する	(1)けいれん、筋肉痛 (2)判断力低下 (3)神経過敏 (4)顔色が悪い (5)からたじゅうがかゆい (6)タコ、マメができる	牛乳、チーズ、小魚、海藻類、ひじき
鉄	①酸素(栄養)を運ぶ ②血をつくる	(1)貧血 (2)爪の光沢がなくなる (3)皮ふが乾きやすい	レバー、卵、大豆、貝類、ごま、緑黄色野菜

# 食事タイプ別問題点と解決策

食事タイプ	問題点	解決策
朝食抜きか朝食の量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1日に必要な栄養素が取れない</li> <li>○午前中のトレーニング効果が上がらない</li> <li>○昼食、夕食の量が多くなりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夕食や夜食のエネルギー量を少し減らす</li> <li>○昼食から夕食の間に間食をとる</li> <li>○夕食や間食をとつてから寝るまで2時間以上あける</li> <li>○食事の前に軽く運動する</li> <li>○一口だけでもとるようにする</li> </ul>
夜食をとることが多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体脂肪が蓄積されやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝、早起きを心がける</li> <li>○夕食の量を少し増やす</li> <li>○胃腸に負担のかからない程度にとるようにする</li> </ul>
外食が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人にあった適切な食事を選ぶのが難しい</li> <li>○脂質を多くとりやすい</li> <li>○野菜の量が少なくなりやすい</li> <li>○栄養のバランスがとりにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○できるだけ食事を家庭でとるか自分で作る</li> <li>○より良い外食のとり方を覚える（脂質の量が少なく、多くの種類や具の多いものをとる） (主食・主菜・副菜)</li> </ul>
間食が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○砂糖の摂取量が多くなる</li> <li>○脂質の摂取量が多くなる</li> <li>○カロリーをとり過ぎて食事をとれなくなる</li> <li>○カップ麺はエネルギー以外の栄養素は少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3食の量を十分にとる</li> <li>○間食を第4の食事と考え、内容の良いものを計画的にとる</li> </ul>
野菜嫌い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビタミン不足になる</li> <li>○植物繊維不足になる</li> <li>○主食や主菜のとり過ぎになる</li> <li>○ミネラル不足になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事に出た野菜は全部とる</li> <li>○サラダより煮物にする</li> <li>○主菜より副菜を先に食べる</li> <li>○ビタミンやミネラルの多い栄養補助食品を利用する</li> </ul>
偏食がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳製品が嫌いだとビタミンB<sub>2</sub>やカルシウム不足になる</li> <li>○卵、肉、魚、豆が嫌いだとタンパク質不足になる</li> <li>○果物が嫌いだとビタミンCや植物繊維不足になる</li> <li>○ご飯やパンばかり食べるとビタミンB<sub>1</sub>不足になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嫌いなものでも少しづつ食べるよう習慣づける</li> <li>○不足する栄養素を含む栄養補助食品を利用する</li> </ul>
油を比較的多く使った料理を好んで食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○脂質のとり過ぎになる</li> <li>○カロリー(エネルギー)のとり過ぎになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○油料理は1日1~2品にする</li> <li>○マヨネーズやドレッシングは少なめにする</li> <li>○料理の際、油の使用を減らす</li> </ul>
清涼飲料水をよく飲む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○砂糖をとる量が多くなる</li> <li>○カロリーをとり過ぎて食事をとれなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○汗をかいたときは水またはスポーツドリンクで補給する</li> </ul>
たくさん食べられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギーも各栄養素も不足する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の回数を増やす</li> <li>○疲れないように注意する</li> <li>○ストレスをためないようにする</li> </ul>
食事量にむらがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タンパク質やビタミンが不足する</li> <li>○まとめ食いは体脂肪がつきやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トレーニングの前と後の食事はきちんととる</li> <li>○好きな料理を食べ過ぎない</li> </ul>

# 肥満

## 1 肥満の定義

「肥満とは、身体の脂肪組織の量が正常以上に増加している状態」

男…15%～18%

女…20%～25%

## 2 肥満の判定法

### (1) 簡易法

- ① ベルト法……肋骨弓下部に、きつめに巻いたベルトを下げる方法
- ② 定規法……仰臥位で胸骨から腹部上に置いた定規の高低度でみる方法

### (2) 身長と体重等で推定する方法

#### ① 体格指数法

ブローカー法……身長-100

ブローカー変法……(身長-100) × 0.9 = 標準体重

体重と身長比……体重÷身長

B M I 法……体重÷身長<sup>2</sup>

ローレル指数法……体重÷身長<sup>3</sup>

ボンデラル法……身長÷体重の平方根

丹治式……胸囲+腹囲-身長

加藤式……(身長-50) ÷ 2

徳永式……身長<sup>2</sup>×22

#### ② 標準体重法

松木式……(体重÷標準体重-1) × 100 = 肥満度 (%)

身長(cm)	標準体重(kg)	肥満度正常値(%)	肥満度異常値(%)
150cm	45kg	49.5kg以下	54kg以上
151	45.9	50.5	55.1
152	46.8	51.5	56.2
153	47.7	52.5	57.2
154	48.6	53.5	58.3
160	54	59.4	64.8
161	54.9	60.4	65.9
162	55.8	61.4	67
163	56.7	62.4	68
164	57.6	63.4	69.1
165	58.5	64.4	70.2
166	59.4	65.3	71.3
170	63	69.3	75.6
171	63.9	70.3	76.7
172	64.8	71.3	77.8
173	65.7	72.3	79.1
174	66.6	73.3	79.9
175	67.5	74.3	81
176	68.4	75.2	82.1
177	69.3	76.2	83.2
178	70.2	77.2	84.2
179	71.1	78.2	85.3
180	72	79.2	86.4

正 常…-10%～+10%

肥 満…+10%～+20%

肥 满 症…+20%～+50%

高度肥満…+50%以上

### (3) 皮下脂肪厚(キャリバー測定法)

皮下脂肪厚=上腕背側部+肩甲骨下部

軽度肥満…男35mm以上	女45mm以上
中等度肥満…男45mm以上	女55mm以上
高度肥満…男55mm以上	女60mm以上

### 3 肥満の危険分子

- (1) 早喰い（満腹感を感じるのが遅いため、食べ過ぎてしまう）
  - (2) 夕食に脂肪食を多く摂る（朝食はスタミナ源）
  - (3) 酒を飲んだあとラーメンとお茶漬け
  - (4) 食間の間食
  - (5) 美食、過食、運動不足
- ※ 幼年期が肥満児であると、成人しても太りやすい。
- ※ 筋肉質の者は、エネルギーを消費しやすく、太りにくい。

### 4 肥満に対する悪影響

#### (1) 体重そのものによる害

- ① 心臓肥大
- ② 腰痛
- ③ 膝の関節痛

#### (2) 脂肪による害

- ① 動脈硬化
- ② 脂肪肝
- ③ 心筋梗塞

#### (3) 糖尿病

### 5 アルコールと肥満の関係

#### (1) アルコールと糖質のカロリー

項目＼酒類	ピール	日本酒	焼酎	ウィスキー
アルコール濃度	4.2%	16%	25%	40%
アルコール量が 80ml分の酒量	1.900ml (大3本)	500ml (約3合)	320ml (コップ4杯)	200ml (W3杯)
糖質の含量	60g	21g	18g	0g
総エネルギー量 ／アルコールへ + 糖質	アルコール 80ml×5kcal 糖質 60g×4kcal 総計 640kcal	アルコール 80ml×5kcal 糖質 21g×4kcal 総計 484kcal	アルコール 80ml×5kcal 糖質 18g×4kcal 総計 472kcal	アルコール 80ml×5kcal 糖質 0g×4kcal 総計 400kcal

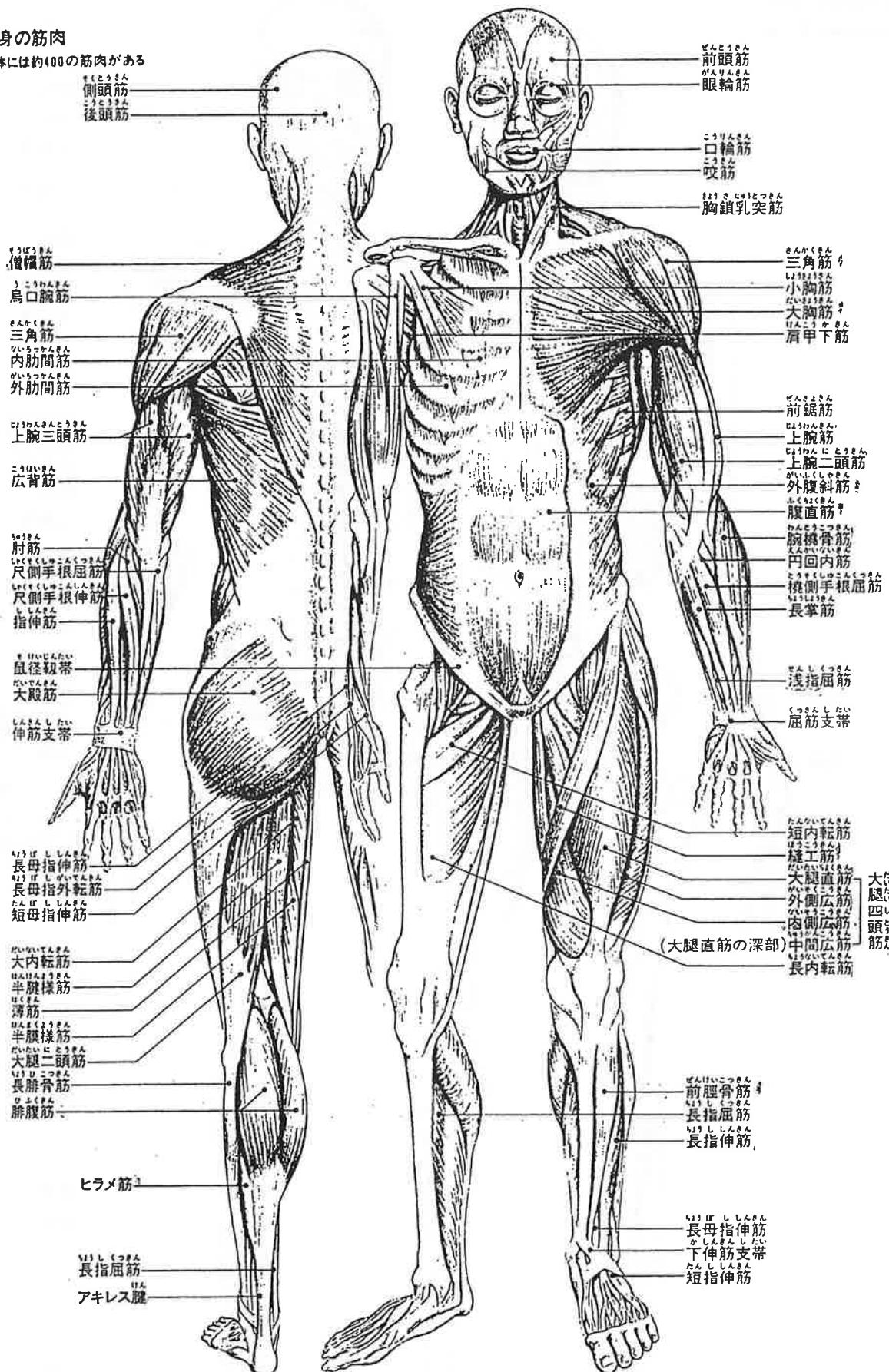
※ カロリー計算の基準値

アルコール 1g (1ml) → 5kcal (体内でのエネルギー量)

糖質 1g (1ml) → 4kcal

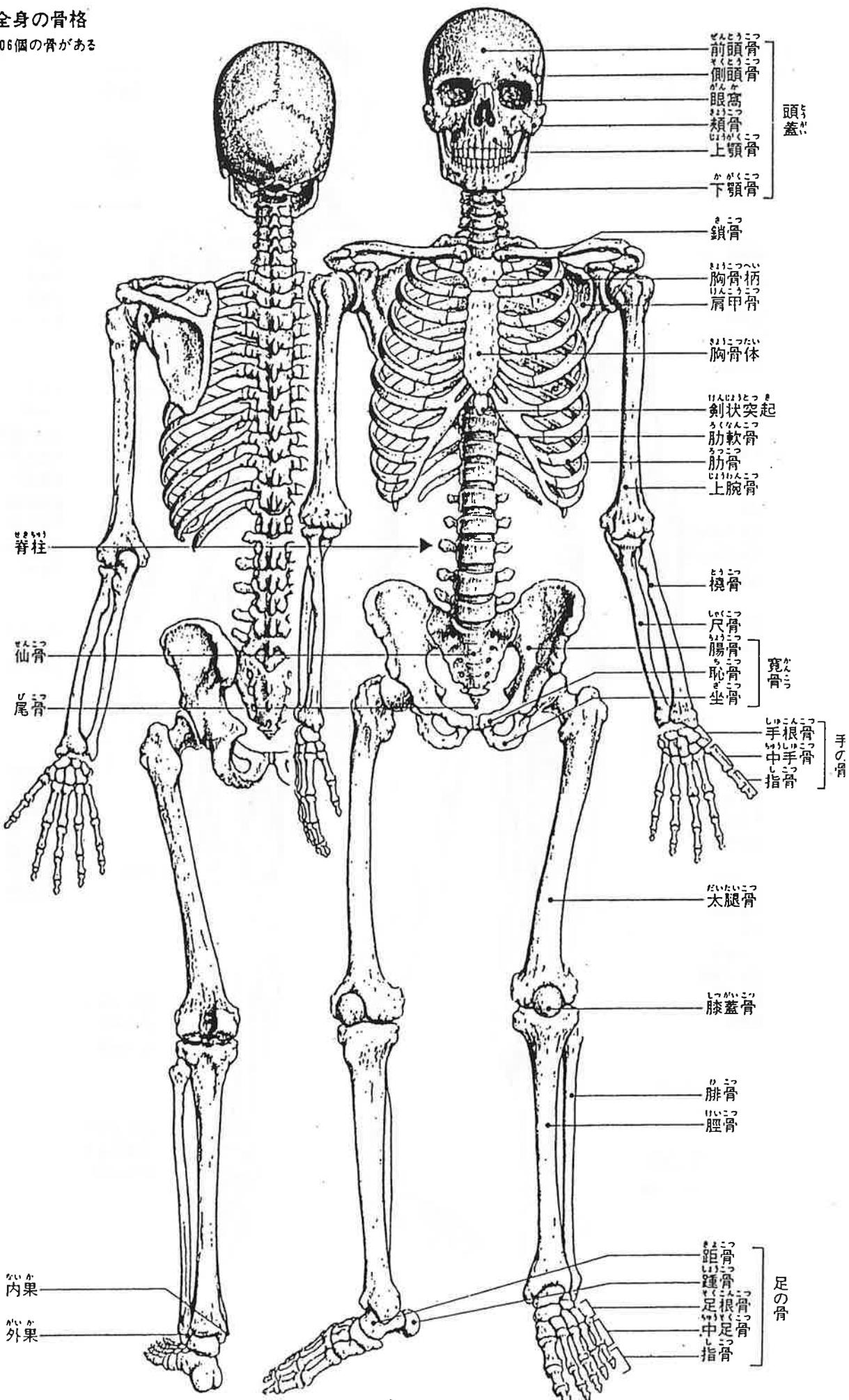
## 全身の筋肉

人体には約400の筋肉がある

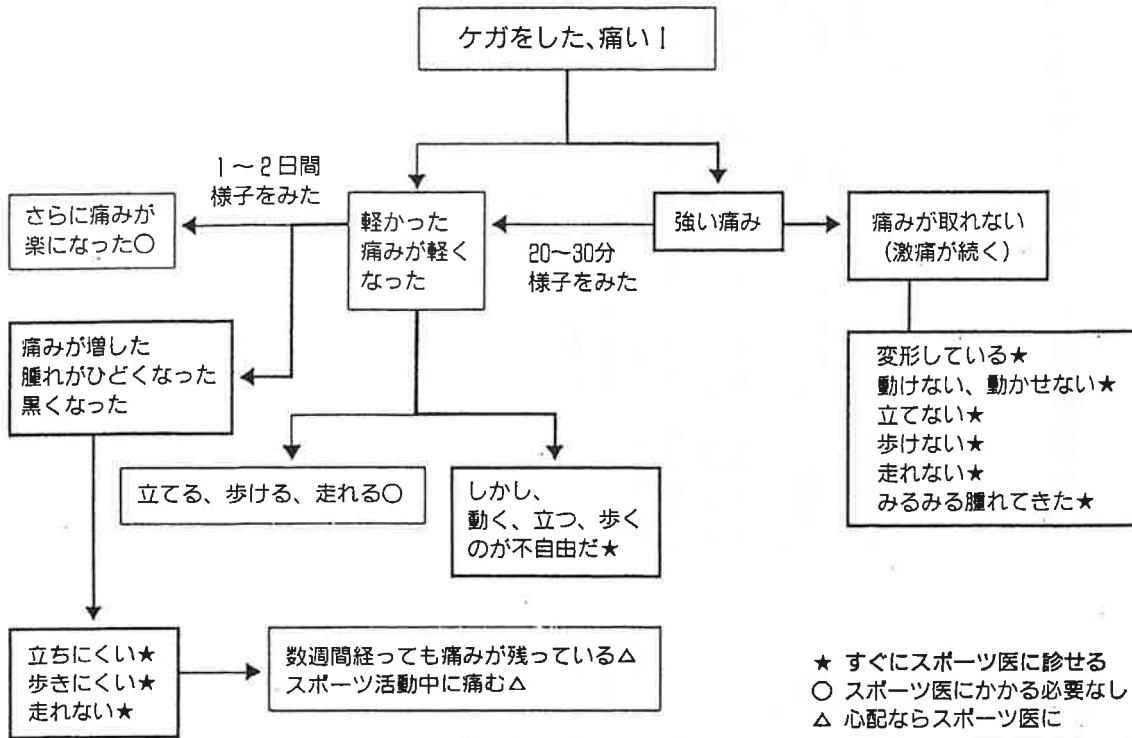


## 人間の全身の骨格

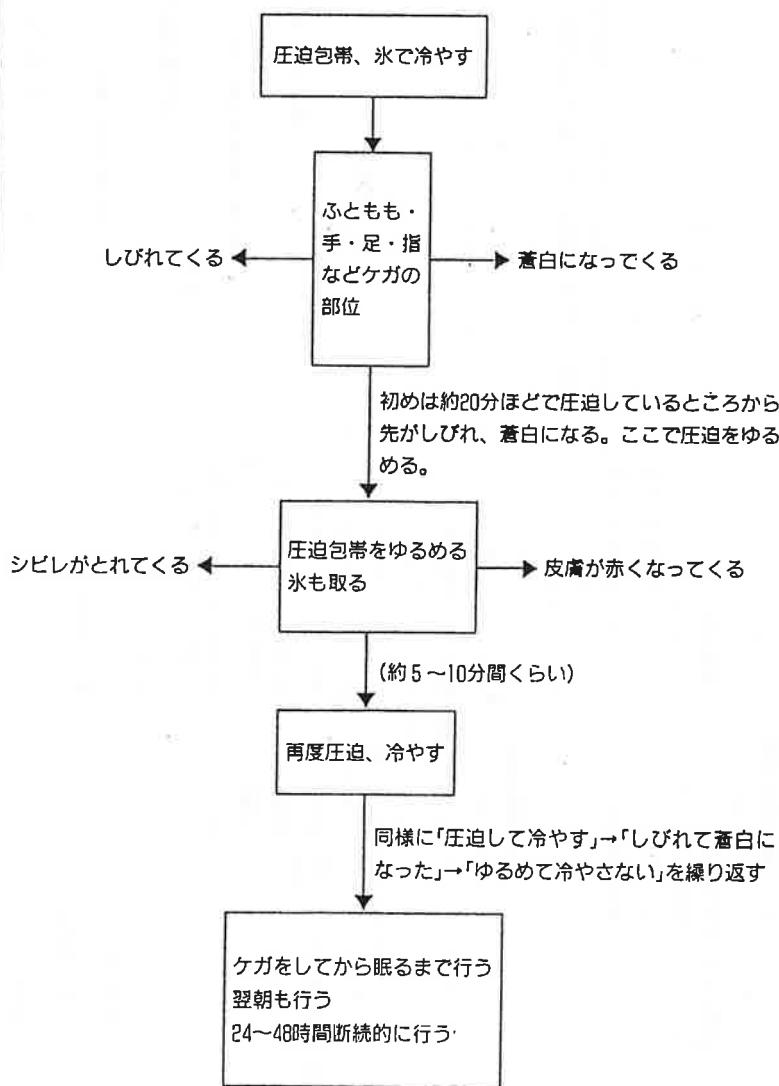
人体には206個の骨がある



## スポーツでケガをした、痛い、どうしよう



## ケガをしたらすぐに行うRICE療法

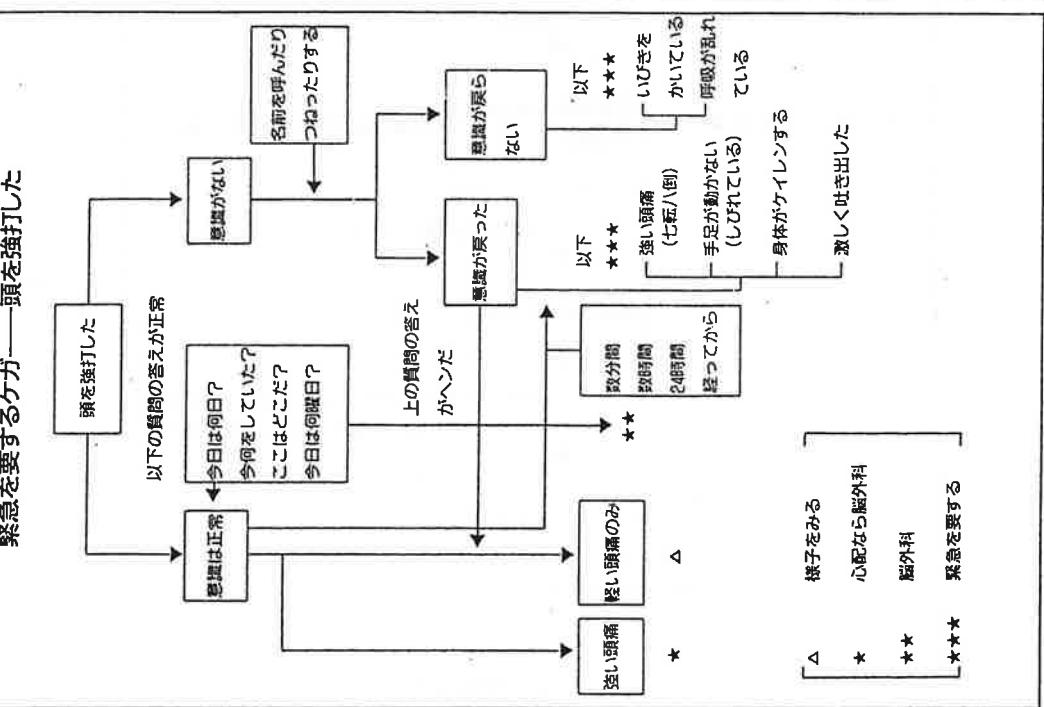
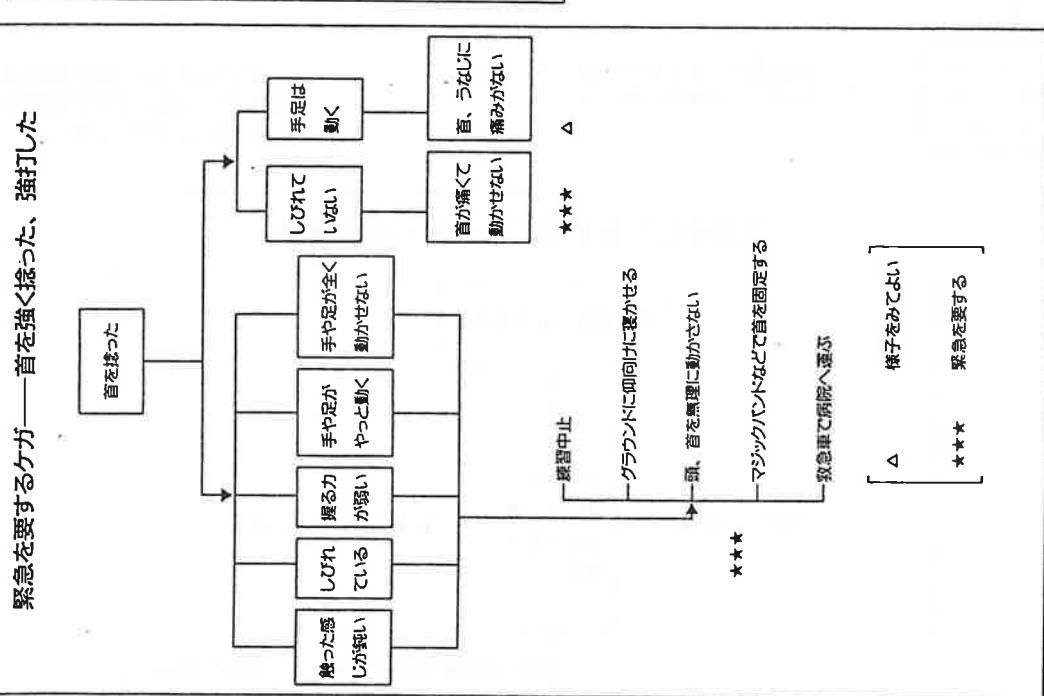
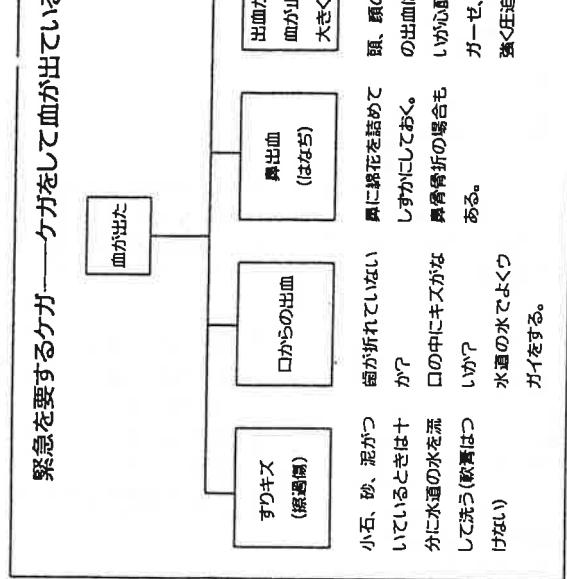


そしてスポーツ医での診察を受ける

緊急を要するケガ——頭を強打した、強打した

緊急を要するケガ——首を強く撞った、強打した

緊急を要するケガ——頭を強打した



# 2008年後半記録一覧

## <国内・国際大会>

第22回男子・第7回女子全国中学生選手権大会	74
第16回日韓中ジュニア交流競技大会	75
第36回東日本大学対抗選手権大会	76
世界マスターズ選手権大会	77
第63回国民体育大会	80
第53回全日本学生新人選手権大会	84
全日本マスターズ選手権大会	86
2008年フレンドシップ大会	88
内閣総理大臣杯 第45回全日本社会人選手権大会	89
トキめき新潟国体記念杯女子大会	91
文部科学大臣杯 第54回全日本大学対抗選手権大会	92
第9回全日本大学対抗女子選手権大会	94

# 第22回男子・第7回女子全国中学生選手権大会

●平成20年8月24日 ●ジースユアサコールレーシヨン体育馆(京都市)

## 【男子】

順位		氏名		姓 名		学校名		生 学 年 年		体 重		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト	
1	本田	裕智	京	都	大宮	中学校	95	1	43.12	48	50	51	65	70	71	55	70	75	68	1	75	2	143
2	新海	裕澤	神奈川	都	河原町第一中学校	94	2	46.64	49	51	52	65	70	71	57	52	58	63	2	63	3	115	
3	麻野	佳大	大	阪	河原町中学校	95	1	47.60	45	47	48	56	58	59	—	45	53	56	46	4	40	5	102
4	生稲	佑馬	兵	庫	野々阪中学校	93	3	47.70	40	40	42	51	55	56	—	40	7	56	4	96	6	81	
5	中村	悠裏	京	都	大宮中学校	93	3	41.46	36	39	41	50	54	56	—	41	5	54	5	95	1	—	
6	芦原	健奈	良	八木	中学校	95	1	47.10	38	42	46	45	52	59	—	42	4	52	6	94	1	133	
7	岡本	晃一	柄	木	小山第二中学校	95	2	40.92	35	38	40	45	48	50	—	40	6	50	7	90	1	133	
8	中山	貴文	山	梨	笛篠川中学校	93	3	47.16	28	31	31	38	41	44	—	28	10	41	8	69	2	132	
9	金澤	輝吉	京	都	深草中学校	94	2	45.00	26	28	28	35	38	40	—	28	9	40	9	68	1	—	
10	西沢	流汰	流	賀	安曇川中学校	94	2	44.56	26	28	28	32	32	35	—	28	8	35	10	63	1	—	

順位		氏名		姓 名		学校名		生 学 年 年		体 重		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト	
1	本田	裕智	京	都	河原町第一中学校	95	1	43.12	48	50	51	65	70	71	55	71	72	68	1	75	2	143	
2	新海	裕澤	神奈川	都	河原町第一中学校	94	2	46.64	49	51	52	65	70	71	57	71	72	68	1	75	2	128	
3	麻野	佳大	大	阪	河原町中学校	95	1	47.60	45	47	48	56	58	59	—	45	3	46	4	102	1	—	
4	生稲	佑馬	兵	庫	野々阪中学校	93	3	47.70	40	40	42	51	55	56	—	40	7	56	4	96	6	81	
5	中村	悠裏	京	都	大宮中学校	93	3	41.46	36	39	41	50	54	56	—	41	5	54	5	95	1	—	
6	芦原	健奈	良	八木	中学校	95	1	47.10	38	42	46	45	52	59	—	42	4	52	6	94	1	—	
7	岡本	晃一	柄	木	小山第二中学校	95	2	40.92	35	38	40	45	48	50	—	40	6	50	7	90	1	90	
8	中山	貴文	山	梨	笛篠川中学校	93	3	47.16	28	31	31	38	41	44	—	28	10	41	8	69	2	132	
9	金澤	輝吉	京	都	深草中学校	94	2	45.00	26	28	28	35	38	40	—	28	9	40	9	68	1	—	
10	西沢	流汰	流	賀	安曇川中学校	94	2	44.56	26	28	28	32	32	35	—	28	8	35	10	63	1	—	

順位		氏名		姓 名		学校名		生 学 年 年		体 重		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト	
1	大谷	弘毅	大	阪	河原町中学校	94	3	51.72	68	70	72	80	83	85	—	70	1	83	1	153	1	—	
2	松本	浩志	兵	庫	野々池中学校	93	3	52.58	50	55	56	66	69	73	—	73	0	73	2	123	1	—	
3	笠井	浩	武	山	梨	笛篠川中学校	93	3	50.92	51	54	57	64	67	70	—	54	2	64	3	118	1	—
4	篠原	航平	東	京	大森第七中学校	94	2	51.78	45	48	51	55	60	64	—	51	3	64	4	115	1	—	
5	小川	海人	長	崎	木	三重第七中学校	95	1	50.62	30	40	45	53	58	60	—	45	5	60	5	105	1	—
6	高梨	隼	大	阪	木	小山第二中学校	93	3	52.02	43	46	46	60	63	63	—	43	6	60	6	103	1	—
7	木村	三徳	奈	良	黒瀬中学校	94	3	50.98	35	40	42	48	52	53	—	40	7	53	7	93	1	—	
8	下田	紫豈	大	阪	峰塚中学校	96	1	52.30	38	40	42	53	55	55	—	40	8	53	8	93	1	—	

順位		氏名		姓 名		学校名		生 学 年 年		体 重		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト	
1	大谷	弘毅	大	阪	河原町中学校	94	2	55.56	78	81	88	95	95	100	—	81	1	100	1	181	1	—	
2	金本	研一	折	木	小山第二中学校	94	2	56.24	50	53	53	65	65	70	—	53	2	70	2	123	1	—	
3	萩元龍太	京	都	長圓	木	小山第二中学校	93	3	57.04	50	53	56	67	67	70	—	53	3	67	3	120	1	—
4	佐々木	翔	柄	木	白糸	中学校	94	2	59.82	40	45	47	55	60	63	—	45	4	55	4	105	1	—
5	戸澤	正陽	柄	木	白糸	中学校	94	2	61.74	40	46	46	50	58	63	—	40	7	65	4	105	1	—
6	古和田路汰	京	都	洛南	木	洛南中学校	94	2	62.00	40	45	45	55	55	60	—	45	6	55	6	100	1	—
7	片柳	祐人	柄	木	笛篠川	中学校	94	2	61.54	33	41	41	45	45	46	—	38	8	43	7	78	1	—
8	佐々木槻那	柄	木	小山第二中学校	93	3	61.62	49	49	49	49	49	49	49	—	66	4	49	4	—	1	—	

順位		氏名		姓 名		学校名		生 学 年 年		体 重		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト		ス ナ ッ チ		ク リ ー ン & ジ ャ ー ト	
1	前田	亮	良	東	大寺	青葉中学校	93	3	66.10	70	70	75	75	80	85	—	92	1	96	2	159	1	—
2	会津	圭悟	青	森	板柳	中学校	93	3	66.18	65	71	71	75	75	80	85	93	1	96	2	171	1	—
3	渋谷	翔	大	阪	木	大寺	中学校	93	3	64.00	68	72	75	75	82	85	93	1	96	2	161	1	—
4	前田	吉永	沖	鷺	國頭	中学校	94	2	66.30	45	50	50	55	55	60	65	70	3	90	2	128	1	—
5	佐久間	翔	柄	木	板木	西中学校	94	2	66.12	35	40	43	45	50	55	55	63	4	85	3	160	1	—
6	細川	幹太	京	都	洛南	中学校	94	2	65.52	42	42	45	45	53	53	57	63	6	43	6	106	1	—
7	萩原	大織	兵	庫	平野</td																		

# 第16回日・韓・中ジュニア交流競技会

## 【女子】

●平成20年8月26日[男子56kg級～77kg級・女子48kg級～63kg級]・27日[男子85kg級・女子69kg級～+75kg級]  
●松戸国際高校体育館(松戸市)

## 【男子】

### 56kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	CHEN Xiong	CHN	55.58	100	105	108	130	S 順 C&J ジャーブ
2	糸數 陽一	JPN	55.68	94	99	99	123	S 順 C&J ジャーブ
3	KIM Young Jun	KOR	55.84	85	90	95	110	S 順 C&J ジャーブ
XU Bin	CHN	55.28	96	96	96	—	—	—

### 62kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	JIANG Wei	CHN	61.56	100	105	110	130	S 順 C&J ジャーブ
2	本崎 聖人	干葉	61.66	70	74	74	85	S 順 C&J ジャーブ
3	金城 誠丸	JPN	61.20	99	98	98	—	—

### 69kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	HUANG Jun	CHN	66.18	105	110	110	138	145
2	金城 聖丸	JPN	67.12	110	117	117	138	145
3	SEOONG Myeong Chang	KOR	67.96	105	110	110	130	146
4	SHIN Dong Jin	KOR	63.76	100	100	110	120	130
5	出山 司	千葉	68.14	95	100	100	115	120

### 77kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	RYU Jun Ho	KOR	76.78	120	130	140	140	150
2	ZENG Jiajun	CHN	69.92	115	120	125	145	150
3	安達 貴弘	JPN	74.60	110	113	113	138	143
4	橋本 豊	千葉	72.74	83	90	95	107	112

### 85kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	三浦 宏也	JPN	82.10	108	108	112	135	140
2	小嶋 有貴	千葉	82.74	100	104	106	115	120
ZHAO Minyang	CHN	79.72	93	x	100	x	105	110

### 94kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	CHEN Hu	CHN	92.46	140	146	151	175	185
2	SUK Young Jin	KOR	87.80	140	145	150	160	170
3	YIKI San	KOR	91.04	115	125	130	145	165
4	小林 充己	JPN	89.18	105	x	110	140	150
5	東海林駿志	千葉	92.30	95	100	105	125	130

### 105kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	UN Ik Hyeon	KOR	102.52	110	120	135	160	170
2	MA Tai	CHN	102.94	135	140	145	150	170
3	高橋 一平	JPN	97.48	105	115	122	x	145
4	福田 真也	千葉	102.32	100	105	108	x	125

### +105kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	KO Seok Hyun	KOR	118.66	120	130	140	165	180
2	長谷川 康	JPN	116.96	115	120	125	145	155

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	HE Yayun	CHN	47.44	55	60	65	75	80
2	伊藤 紗央	JPN	47.02	50	54	58	70	78
3	李 妍	CHN	51.80	60	x	65	70	76
4	井澤 彩乃	JPN	48.34	60	x	66	80	82
			52.32	58	60	62	x	76

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	YANG Jing	CHN	49.14	70	75	80	90	80
2	SUN Xiaoli	CHN	51.80	60	x	65	70	75
3	YOON Min Hee	KOR	48.34	60	x	66	80	85
4	井澤 彩乃	JPN	52.32	58	60	63	x	75

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	YUAN Wangjian	CHN	51.24	75	80	x	85	85
2	SEO Jeong Mi	KOR	55.90	60	x	65	70	75
3	LIU Jing	CHN	57.80	60	x	75	79	75
4	日本 懐子	JPN	56.76	60	x	63	74	78
5	松木 潤霞	千葉	57.22	60	x	65	75	78

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	LIN Xi	CHN	60.24	75	80	x	85	85
2	LEE Ji Su	KOR	59.54	70	x	75	79	75
3	山谷祐里奈	JPN	61.66	75	x	79	93	93
4	HONG Sung Eun	KOR	60.74	45	50	55	65	70

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト
1	KANG yeoun Hee	KOR	68.28	70	75	x	81	81
2	柳沼 沙苗	JPN	66.12	76	78	x	80	80
3	Guo Qi	CHN	63.30	60	x	65	67	67

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	クリーン&ジャーブ	ペ ス ト
				1	2	3	3	ペ ス ト

</

# 第36回東日本大学対抗選手権大会

●平成20年9月13日[56Kg級～85Kg級]・14日[94Kg級～105Kg級] ●日本大学生物質科学部体育館(横浜市)

## 56Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	玉城 成一	日本大学	89 2	55.96	93	96	100	120
2	深瀬 富貴	拓殖大学	88 2	55.90	85	93	98	105
3	小山内伸明	明治大学	87 3	55.98	85	88	94	105

## 62Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	才田 吉弘	日本大学	96 4	61.88	107	112	117	140
2	中山 雄介	法政大学	87 4	61.88	100	105	132	134
3	黒江 嶺治	早稲田大学	88 3	60.98	98	101	105	127
4	大堀 一樹	早稲田大学	89 1	61.90	100	103	106	129
5	關根 直	平成国際大学	87 4	61.78	95	97	100	127
6	長谷川直也	中央大学	87 3	58.24	100	103	103	127
7	安永 和詩	法政大学	89 2	58.82	100	103	103	127
8	記州 賢二	日本体育大学	86 4	61.98	95	98	115	120
9	菊地 尚介	ースアジア大学	88 2	61.46	80	83	88	95
10	平野 嘉一	慶応義塾大学	85 4	60.48	76	81	83	95
11	別村 翔貴	國士館大学	90 1	61.00	60	60	67	75

## 69Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	高木 悠介	早稲田大学	87 4	68.70	110	113	116	140
2	武井誠一郎	早稲田大学	90 1	68.32	113	116	119	137
3	渕瀬 真裏	日本体育大学	86 4	68.48	115	115	118	137
4	平瀬 優	法政大学	88 2	64.60	110	115	118	135
5	塙越 後	中央大学	89 1	68.58	103	105	105	132
6	遠邊 治明	國士館大学	88 2	67.34	105	110	110	125
7	是友 陽介	法政大学	88 2	65.94	95	100	126	126
8	山崎 彰彦	拓殖大学	86 4	65.22	62	70	78	90
9	佐藤 卓也	明治大学	86 4	68.76	111	111	114	133
10	長尾 審	國士館大学	90 1	66.98	95	101	115	115
11	小林 大祐	慶応義塾大学	85 4	67.34	67	67	90	94

## 77Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	谷崎 正尚	明治大学	87 3	76.92	116	118	122	151
2	山田 康人	日本大学	86 4	76.20	111	116	119	143
3	沖中 俊輔	法政大学	88 2	71.48	107	111	111	142
4	大塚 裕也	平成国際大学	88 3	76.62	105	108	108	140
5	浜田 健太	中央大学	87 3	69.30	110	115	116	133
6	永島 一樹	平成国際大学	88 2	69.92	100	102	105	126
7	小泉 恵太	日本体育大学	89 2	76.68	98	98	102	130
8	宇津木厲志	國士館大学	88 2	69.10	95	100	125	125
9	藤原 昌哉	日本体育大学	88 2	70.22	95	98	100	122
10	露木 黑	拓殖大学	86 4	72.34	90	95	110	117
11	高橋 和也	國士館大学	87 3	69.06	90	95	115	119
12	奥平 大二郎	慶応義塾大学	85 4	69.26	70	80	104	107
13	石野太郎	慶応義塾大学	85 4	69.08	80	80	85	100
14	相場 巧	ースアジア大学	88 2	72.56	95	99	101	—

## 85Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	菅野 浩利	早稲田大学	86 4	84.22	116	121	125	155
2	土谷 活二	早稲田大学	87 3	82.96	122	124	115	155
3	橋本 善征	法政大学	86 4	84.10	115	119	121	159
4	杉 久志	日本本大	86 4	80.24	120	122	123	153
5	阿部 智則	平成国際大学	87 3	79.60	115	118	120	150
6	加藤 孝也	英邦	87 3	82.10	120	122	123	153
7	角田 征英	國士館大学	87 3	80.24	105	105	125	130
8	秋山幸太郎	日本体育大学	87 3	83.76	95	101	113	138
9	飯田 優貴	明治大学	89 1	77.38	90	95	102	120
10	櫻井 雅弘	慶応義塾大学	87 4	81.90	80	88	110	113
11	柳生 習志	慶応義塾大学	87 3	80.32	95	98	100	123

## 94Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	森田 雄志	中央大学	86 4	90.74	130	135	135	166
2	米山 圭一	早稲田大学	87 4	88.72	115	117	118	165
3	布川 雄也	日本本大	86 4	92.02	122	125	127	153
4	後藤 温恭	平成国際大学	89 1	90.52	115	120	120	148
5	加藤 雅弘	日本体育大学	88 2	88.04	120	125	125	145
6	武井 大貴	中央大学	88 2	98.18	125	131	131	155
7	深沢 健志郎	法政大学	89 1	96.48	115	120	125	156
8	宮下 貴志	日本体育大学	87 4	103.84	118	122	126	145
9	宮下 駿	明治大学	86 4	99.38	100	105	105	145
10	平野 遼	ノースアジア大学	86 4	102.88	76	81	90	128
11	堀木 遼	法政大学	87 3	103.35	110	116	116	130
12	中須 遼	慶応義塾大学	85 3	98.56	95	100	115	115

## 105Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	丹伊田裕真	明治大学	86 4	100.36	125	131	131	165
2	小林 弘幸	中央大学	87 4	104.28	126	131	134	170
3	宮平 雄士	法政大学	87 3	100.94	128	134	134	162
4	衛藤 雄大	日本体育大学	88 2	98.18	125	131	131	161
5	深沢 健志郎	法政大学	89 1	96.48	115	120	125	161
6	宮下 貴志	日本体育大学	87 4	103.84	118	122	126	160
7	関根 駿	明治大学	86 4	99.38	100	105	105	160
8	堀木 遼	ノースアジア大学	86 4	102.88	76	81	90	128
9	堀木 遼	法政大学	87 3	103.35	110	116	116	130
10	中須 遼	慶応義塾大学	85 3	98.56	95	100	105	115

## 115Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	吉条 啓二	明治大学	86 4	133.40	143	150	156	178
2	大西 敏平	日本大学	87 3	138.15	130	135	142	166
3	山田 壮紀	平成国際大学	87 3	122.65	130	135	138	176
4	佐々木 梅	法政大学	86 4	112.40	131	135	138	167
5	後藤 優	中央大学	87 4	130.00	124	128	130	167
6	飯塚 健志郎	平成国際大学	89 2	143.45	125	129	132	167
7	鈴木 匠平	日本体育大学	90 1	118.14	123	127	131	168
8	堀田 洋	ノースアジア大学	87 3	129.35	110	116	125	165
9	堀田 洋	法政大学	89 2	111.24	90	95	105	165

## 125Kg級

順位	氏名	大学名	生 学 年	年 齢	体 重	ス ナ ッ チ	ク リ ン グ & ジ ャ ク	ベ スト
1	大野 雄大	日本大学	87 4	140.30	141	142	146	177

<tbl\_r cells="9" ix="1" maxcspan="1" maxrspan="1" used

# 第24回男子・第15回女子世界マスター選手権大会

年齢 順位		生年		国名		年		体重		スナッチ		スナッチ		トータル			
区分	位	氏名	年	国名	年	年	月	日	月	年	月	年	月	日	月		
45-49 1	Ali FAREGHDELI	IRI	63	61.79	80	96	x	96	x	105	116	80	1	116	1	196	
45-49 2	Joao SANTOS	POR	60	61.34	65	72	x	77	x	90	100	105	2	122	3	233	
40-44 1	森下 良平	JPN	68	60.46	85	95	100	100	105	115	120	100	1	120	1	177	
40-44 2	Stuart TREADEWELL	GBR	67	61.06	70	75	x	78	x	90	94	x	78	2	90	2	168
40-44 3	Harrt HELIN	FIN	64	61.84	70	74	x	75	x	90	95	x	70	3	90	3	160
35-39 1	Ehsan BAYATI	IRI	69	61.21	95	98	x	98	x	116	120	x	97	1	120	1	218
35-39 2	Petr STANISLAV	CZE	73	61.33	94	x	94	x	97	115	120	x	97	2	115	2	212
35-39 3	Swen FRIESE	GER	73	61.33	91	94	x	94	x	115	123	x	94	3	115	3	209
年齢 順位		生年		国名		年		体重		スナッチ		スナッチ		トータル			
区分	位	氏名	年	国名	年	年	月	日	月	年	月	年	月	日	月		
45-49 1	Christopher PITTSIS	GRC	31	53.60	48	51	52	x	51	59	1	51	1	59	1	110	
75-79 2	Yrio HATTANEN	FIN	33	55.85	44	47	x	47	55	59	x	47	2	57	3	104	
75-79 3	Rudolf KOTLIKOV	USA	33	53.65	35	40	43	50	55	57	x	43	3	57	2	100	
70-74 1	Yuri BUSYGIN	RUS	34	53.56	41	43	45	x	51	53	55	x	43	1	52	96	
70-74 2	Mikola SOYNIKOV	UKR	38	54.79	41	x	41	41	51	56	41	2	56	1	97		
70-74 3	Yevgen TAMCHI	UKR	35	55.79	38	40	x	40	50	55	x	40	3	55	3	95	
65-69 1	Miroslav KUBINEC	CZE	39	55.53	50	53	54	x	63	66	68	x	53	1	66	2	119
65-69 2	永慶 康弘	JPN	41	55.00	42	47	50	63	66	69	x	53	1	66	1	116	
65-69 3	Kenneth MALLINSON	GBR	40	55.46	43	46	x	46	60	65	x	43	4	62	2	114	
65-69 4	Matti OKSANEN	FIN	40	55.46	40	42	50	50	53	53	x	42	5	50	5	92	
60-64 1	Jan HELEBRANT	CZE	46	55.16	58	x	60	62	x	71	71	x	60	2	71	1	131
60-64 2	鈴木 幸宏	GER	47	54.91	60	65	x	65	70	75	x	60	1	70	1	130	
60-64 3	Karl-Heinz FECHTER	GER	44	50.93	38	40	42	x	52	55	x	40	3	52	3	92	
55-59 1	Iurii LAGUNOV	UKR	51	55.97	60	65	x	65	80	86	x	65	3	89	1	154	
55-59 2	Jakov GOROVITS	ISR	52	55.61	70	x	70	80	83	x	83	2	82	2	153		
55-59 3	Anatoliy LAVROV	BLR	53	55.54	67	x	67	71	79	x	82	2	79	3	150		
55-59	John BRODSKY	CZE	50	55.12	42	46	x	60	60	60	x	46	4	—	—	—	
55-59	Mohammad DAR BEHESHTI	IRI	51	55.93	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
50-54 1	Leszek WASNIOWSKI	POL	57	55.46	50	58	x	60	65	73	x	76	1	76	1	136	
40-44 1	Ebrahim DAVALI	IRI	66	55.75	70	80	x	80	85	92	x	70	1	92	1	162	
35-39 1	Mohammad Eshagh MAROUFI	IRI	71	55.55	75	83	x	87	95	105	x	87	1	105	1	192	
35-39 2	Raphael VIALLE	FRA	69	55.03	65	68	x	72	85	90	x	93	2	93	2	161	
年齢 順位		生年		国名		年		体重		スナッチ		スナッチ		トータル			
区分	位	氏名	年	国名	年	年	月	日	月	年	月	年	月	日	月		
75-79 1	中島 豊	JPN	31	60.40	42	46	x	48	53	57	x	60	1	108			
75-79 2	Vasily ZUBOV	RUS	31	61.30	43	46	x	46	58	66	x	43	2	58	2	101	
70-74 1	Teddy KAPLAN	ISR	35	61.80	57	60	62	x	75	80	x	60	1	140			
70-74 2	Horst NITSCHKE	GER	37	61.38	46	49	51	60	62	x	51	2	60	3	111		
70-74 3	Georg SCHALL	GER	34	61.06	42	44	46	61	65	x	65	4	61	2	107		
70-74 4	米田 久男	JPN	36	61.80	45	49	51	x	58	58	x	49	3	58	4	107	
65-69 1	Egor KULIKOV	RUS	51	59.51	58	62	64	78	82	86	x	64	1	82	1	146	
65-69 2	元山 翁男	JPN	41	61.62	57	60	x	60	77	77	x	60	2	77	1	137	
65-69 3	池田 功	JPN	42	61.21	56	58	60	x	71	73	x	58	3	73	3	131	
65-69 4	Glenn HARRIS	USA	41	61.51	52	57	x	72	77	80	x	52	5	77	1	129	
65-69 5	Ernst REUSCH	GER	40	61.24	48	52	54	66	69	69	x	54	4	69	6	123	
65-69 6	Claus HESS	GER	39	61.60	52	56	x	56	67	70	x	52	7	60	5	122	
65-69 7	Silvestre FONSECA	POR	40	61.80	50	53	x	54	60	65	x	50	7	68	7	118	
65-69 8	岩崎 哲平	JPN	41	61.90	43	48	50	63	68	70	x	50	8	68	8	118	
年齢 順位		生年		国名		年		体重		スナッチ		スナッチ		トータル			
区分	位	氏名	年	国名	年	年	月	日	月	年	月	年	月	日	月		
75-79 1	Karel PROHL	CZE	47	57.84	72	76	81	x	90	95	100	x	100	1	176		
75-79 2	Vadim KUKOVEROV	RUS	47	61.17	55	60	70	75	80	80	x	80	2	140			
55-59 1	Volodymyr ZHABOKRYTSKYI	UKR	53	61.67	75	78	93	97	100	x	75	2	97	1	172		
55-59 2	佐古 浩	JPN	51	60.89	70	75	78	90	95	100	x	75	1	95	3	170	
55-59 3	Yves CARGNAN	CAN	52	61.97	72	x	73	97	101	x	72	3	97	2	169		
55-59 4	German ADLER	ISR	53	61.57	58	61	63	x	78	82	x	61	4	84	4	145	
60-64 1	Alain BELLI	FRA	57	61.69	69	74	77	x	96	91	x	74	3	124	1	177	
55-59 1	Alik PCHENUSHAY	RUS	57	61.41	72	79	79	91	96	100	x	90	2	169			
50-54 2	Dariusz URBANSKI	POL	73	67.89	70	75	77	80	85	90	x	125	2	135			
50-54 3	Geza PATROVIC	HUN	54	61.70	70	74	77	90	96	105	x	120	2	130			
50-54 4	Walter KREITZ	GER	54	61.78	60	62	x	80	83	85	x	60	4	83	4	143	
50-54 5	Jean-Marc PEDROLA	FRA	56	60.17	52	x	52	52	52	75	x	75	x	52	5	—	

## 77K級

## 85K級

年齢	順位	姓名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャマーク	ベスト	年齢順区分位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャマーク	ベスト
80-84 1	Tormod JENSEN	NOR 26	71.35	30	35 x	35 x	30	37 1	Albert KOZEMOV	RUS 32	77.58	55	57	59	75 1
75-79 1	Marcel PEFRON	CAN 33	76.17	67 x	67	68	90	95 x	Emery CHEVRIER	CAN 36	82.03	75	80	99	103 1
75-79 2	Muhammadrasael GHADAMGHI	IRI 32	76.74	46	51	55	60	65	Rolf PEITER	GER 38	82.81	73	75	95	103 1
75-79 3	Vaino KUPARI	FIN 32	74.02	45	50 x	50 x	53	57	Heinz KUHN	GER 37	92.95	65	68 x	81	100 2
75-79 4	Donald BUCHANAN	CAN 31	75.49	40	43	46 x	50	53	Karel VOJVOĐIK	CZE 38	80.34	70	73 x	80 x	100 2
70-74 1	Eduard ZHATHALKA	BLR 34	70.42	60	63 x	63	75	78	Werner DEPPNER	GER 36	80.25	58	60	81	90 3
70-74 2	高橋 鑑哉	JPN 34	69.66	55	60	63	65	75	Heinz KUHN	GER 37	82.73	44	48	61	66 4
70-74 3	前川 正喜	JPN 37	70.29	55	58	61 x	73	76	Edward David FERGUSSON	CAN 35	82.73	44	48	61	67 5
70-74 4	Peter GUSTAVIK	AUT 37	75.16	52	55	57	72	75	Frim FREMER	RUS 37	84.57	47 x	47	50 x	65 x
70-74 5	Erling HANSEN	DEN 38	76.41	50	55 x	55	70	72	Vaito MASALIN	FIN 34	84.63	57	59 x	80 x	65 x
70-74 6	Rafael ARENAS	VEN 35	76.62	50 x	50	54 x	75	80 x	Viktor RACK	GER 40	83.34	86 x	86	91 x	100 6
70-74 7	柴坂 總七	JPN 34	71.37	42	46	50 x	55	55 x	Mohammad GHORIBANI TEHRANI	IRI 43	84.55	70	75	92	100 7
70-74 8	Jose POSTIGO	DOM 37	74.78	40	44 x	45 x	55	55 x	Friedrich STEINER	AUT 39	82.14	68	72	95	100 8
65-69 1	Piotr KOWALEWSKI	POL 42	74.50	73	78	80 x	95	100	John MARGOLIS	CAN 42	80.14	65 x	68	85 x	90 x
65-69 2	竹下 彰彦	JPN 43	72.59	65	68	70 x	75	78	Carsten SINGLAR	DEN 43	84.67	60	65	85 x	90 x
65-69 3	Cyril PETERS	GBR 41	73.54	57	60	61	78	80 x	John MARGOLIS	CAN 42	79.77	62	65 x	82	85 x
65-69 4	Pavel KLATIL	CZE 42	73.42	58	60	62 x	72	76	Wilhelm QUAST	GER 43	79.90	65	67 x	78	80 x
60-64 1	井田 雄	JPN 48	75.25	72	77	80	90	95	Leif UGELSTAD	NOR 43	83.65	60	63 x	73	76 x
60-64 2	Bernard HALGAND	FRA 47	72.02	77	80	82 x	92	95	Roald BJERKHOLT	NOR 40	84.14	55	60 x	65	70 x
60-64 3	Janos TOROK	HUN 44	74.78	75	80	82 x	90	95	Pavel KULIKOVSKI	BLR 45	84.22	80	85	87	90 x
60-64 4	渡辺 建治	JPN 46	74.60	75 x	75	80 x	85	90 x	Graziadio MAGRISI	ITA 46	84.15	78	81	83 x	86 x
60-64 5	Karl-Heniz SPAHN	GER 48	76.73	57	63	66 x	85	90	Zbigniew KRUGZKIEWICZ	POL 48	82.96	82	85 x	100 x	102 x
60-64 6	Tony EBERT	NZL 64	76.83	66	69 x	69 x	90	95 x	Valerio FONTANALS	ESA 48	84.60	77	81	84 x	85 x
60-64 7	Josef NOSICKY	CZE 47	75.79	67	70	72 x	85	90 x	Inge FALTH	SWE 48	84.83	75	77	79	94 x
60-64 8	Richard WALTER	AUT 44	76.42	66	69	71 x	80	85 x	Reinhard KOSSMANN	GER 48	83.21	63	67 x	67 x	67 x
60-64 9	François BIGOT	FRA 47	75.89	63	66 x	66	75	80 x	Christophe DARIOITS	USA 49	84.40	91	96	102 x	107 x
60-64 10	Fred LOWE	USA 47	75.40	70	73	75 x	60	—	Peter SIMON	GER 53	84.42	95	98 x	100 x	102 x
55-59 1	Roland CHAVIGNY	FRA 50	75.48	92	96 x	110	115	118	Guennadi MOYTRACHOV	RUS 50	83.66	93	97 x	100 x	102 x
55-59 2	Marcin SKRANOWSKI	POL 53	76.43	85	88	90 x	106	106 x	Nikolaos GALATSAKOS	GRC 55	84.17	82 x	84 x	85 x	86 x
55-59 3	Johann SCHEBERL	AUT 52	76.00	80	85	87 x	106	111 x	Wimiel MENEIJER	FRA 55	83.15	82	85 x	85 x	86 x
55-59 4	Dietlef AUGUSTIN	GER 51	71.99	80	85 x	85	105	108 x	Alain CHABERT	FRA 55	84.19	78	83 x	86 x	87 x
55-59 5	Lothar SCHULZE	GER 50	75.26	68 x	68	72 x	90 x	95 x	Richard ODDOR	USA 54	83.25	70	71 x	72 x	73 x
55-59 6	佐藤吉太郎	JPN 52	75.92	75 x	80	85 x	90	95 x	Ladislav SIMONTON	USA 58	84.40	75	80 x	80 x	80 x
50-54 1	Milan LUTTER	CZE 56	76.75	90	95 x	110	114 x	116 x	Dominique VAUGIN	FRA 51	77.14	75 x	75 x	75 x	75 x
50-54 2	Jürgen KOPF	GER 57	76.73	82	85	87 x	106	113 x	Terry HARDLOW	CAN 57	83.91	109	112 x	112 x	113 x
50-54 3	Jonny KARKAINEN	SWE 58	76.99	83 x	83	85 x	105	108 x	Ralf SCOTT	SWE 57	84.77	105	110 x	112 x	113 x
50-54 4	Stephanie LARCY	FRA 57	76.63	82	85	87 x	105	108 x	Nikolay ZHOLUDEV	RUS 59	84.34	110 x	112 x	113 x	114 x
50-54 5	Sen KIM DEK	RUS 54	76.56	70	80 x	80	90	103 x	Marc RODARO	ITA 61	83.83	110	114 x	114 x	115 x
50-54 6	Gerard MORENO	FRA 57	76.45	77 x	77	82 x	95	100 x	Bryn JONES	GBR 61	83.99	95 x	95 x	100 x	100 x
50-54 7	Mohsen DARREHESHTI	IRI 58	76.57	—	—	—	—	—	Mykhailo BURKOV	UKR 63	77.25	90 x	90 x	100 x	100 x
50-54 8	Ralf MULLER	GER 57	76.96	85 x	85 x	85 x	105	105 x	Geoffrey GUILLAUMET	FRA 59	83.98	105	110 x	110 x	111 x
45-49 1	Holger WORM	GER 61	76.77	103	107	109 x	121	126 x	Victor PAREDES	VEN 68	84.98	117	121 x	122 x	123 x
45-49 2	Andrey EMELYANOV	RUS 63	76.61	100	105	107 x	120	125 x	Igor BERESTOVY	GBR 66	83.75	97 x	97 x	103 x	103 x
45-49 3	Thorsten TEICHERT	GER 62	72.27	90	95	97 x	122	127 x	Antreas SHERKOLESIAMI KANDELLOUSI	IRI 68	84.69	105 x	110 x	113 x	114 x
45-49 4	Joao TELES	POR 61	76.57	88	93	97 x	120	126 x	Aleksandar MIKLAZEVIC	LTU 65	84.19	107 x	107 x	112 x	113 x
45-49 5	清雅	JPN 63	72.91	80	85 x	86	100	106 x	Edward HALSTEAD	GBR 66	83.75	125 x	125 x	126 x	127 x
45-49 6	Josélyne VACHON	CAN 62	74.24	77	80	83 x	97	101 x	John MCEWARD	SCO 65	84.45	115 x	115 x	116 x	117 x
45-49 7	Abdullo RAKHMATOV	UZB 61	73.53	75	78	80 x	95	97 x	Sante GIRARDI	ITA 64	84.51	90 x	100 x	110 x	111 x
40-44 1	Hamid SANGI	IRI 68	76.99	105	110	—	130	135 x	Michael CARROLL	USA 66	82.18	80	85 x	92 x	93 x
40-44 2	Gintaras JAKULIS	LTU 67	76.41	100	105	107 x	130	140 x	Balint CSABA	HUN 66	84.19	105 x	105 x	105 x	105 x
40-44 3	Jari JUNTUNEN	FIN 67	76.97	90	95	100 x	100	110 x	—	—	—	—	—	—	—
40-44 4	Paul DOYLE	GBR 64	75.82	75	80 x	80	100 x	105 x	—	—	—	—	—	—	—
35-39 1	Genadii YURKEVYCH	UKR 70	75.20	118	122	123	146	152 x	—	—	—	—	—	—	—
35-39 2	Eduards TARASOVS	LAT 70	76.51	113	120	123 x	136	141	146 x	—	—	—	—	—	—
35-39 3	Mohsen KOLAHGIRI	IRI 72	76.00	115	120 x	120 x	130	141	146 x	—	—	—	—	—	—
35-39 4	Stefan ULLMAN	GER 70	75.95	103	107	110 x	125	135 x	—	—	—	—	—	—	—

年齢順区分位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト	年齢順区分位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベスト
75-79 1	Albert KOZEMOV	RUS 32	77.58	55	57	59	67	70-74 1	Emery CHEVRIER	CAN 36	82.03	75	85 x	96	103 1
75-79 2	Friedrich STEINER	AUT 39	82.14	68	72	75 x	90	70-74 2	Rolf PEITER	GER 38	82.81	73	75 x	95 x	103 2
75-79 3	Heinz KUHN	GER 37	92.95	65	68 x	81	95 x	70-74 3	Karel VOJVODIK	CZE 38	80.34	70	73 x	80 x	100 3
75-79 4	Roald RACK	GER 40	83.34	86 x	86	91 x	100 x	70-74 4	Werner DEPPNER	GER 36	80.25	58	60	81	100 4
70-74 5	Werner DEPPNER	GER 40	83.34	86 x	86	91 x	100 x	70-74 5	Edward David FERGUSSON	CAN 35	82.73	44	48	50 x	100 5
70-74 6	Edward David FERGUSSON	CAN 35	82.73	44	48	50 x	100 x	70-74 6	Leif UGELSTAD	NOR 43	83.65	60	63 x	63 x	100 6
70-74 7	Leif UGELSTAD	NOR 43	83.65	60	63 x	63 x	66 x	65-69 1	Vito MASALIN	FIN 34	84.63	57	59 x	80 x	100 7
65-69 1	Vito MASALIN	FIN 34	84.63	57	59 x	80 x	80 x	65-69 2	Mohamed GHORIBANI TEHRANI	IRI 43	84.55	70	75 x	92	100 8
65-69 2	Mohamed GHORIBANI TEHRANI	IRI 43	84.55	70	75 x	92 x	92 x	65-69 3	Friedrich STEINER	AUT 39	82.14	68	72	75 x	100 9
65-69 3	Friedrich STEINER	AUT 39	82.14	68	72	75 x	90	65-69 4	John MARGOLIS	CAN 42	80.14	65 x	68	85 x	100 10
65-69 4	John MARGOLIS	CAN 42	80.14	65 x	68	85 x	90 x	65-69 5	John MARGOLIS	CAN 42	80.14	65 x	68	85 x	100 11
65-69 5	John MARGOLIS	CAN 42	80.14	65 x	68	85 x	90 x	65-69 6	Leif UGELSTAD	NOR 43	83.65	60	63 x	63 x	100 12
65-69 6	Leif UGELSTAD	NOR 43	83.65	60	63 x	63 x	66 x	65-69 7	Vito MASALIN	FIN 34	84.63	57	59 x	80 x	100 13
6															

## 94kg級

## 105kg級

年齢順		区分		生年		体重		スナッチ		クリーク&ショット		ベスト		スナッチ		クリーク&ショット		ベスト		
区分	位	氏名	国名	生年	体重	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	
75-79 1	Don RAMOS	USA 33	91.50	75	78 ×	90	92 ×	92	75 1	92 1	167	80-84 1	Kurt A. ROSENBERGER	GER 28	94.13	38	40	41	47	
75-79 2	Klaus OBERGfell	GER 31	86.83	50	53 ×	53	70 ×	70	53 2	70 2	123	80-84 2	Wilfrid CHAPMAN	AUS 24	94.72	30	33	35 ×	43 ×	
75-79 3	Hainz SCHULZ	GER 31	88.32	43	46 ×	46	50	55	58 ×	46 3	101	80-84 3	Jack LANO	USA 22	98.39	26	30	33 ×	36	
70-74 2	William DEPARD	SCO 35	89.82	63	67 ×	67	75	78	80	63 1	143	75-79 1	Donald WALKER	GBR 32	99.46	50	53	54 ×	65	
70-74 3	Johann SCHIPANY	AUT 34	92.34	63	63 ×	66	75	80 ×	63 2	75 1	138	70-74 2	Anatoly SHEKHOVTSOV	UKR 38	100.24	70	73	76	77	
70-74 4	Robert CRISP	GBR 35	91.15	55	50	53	65	68	70	53 3	123	70-74 2	Johann KARLHOFER	AUT 37	103.73	70	70	75 ×	90 ×	
65-69 1	László SZEPESY	HUN 43	88.70	81	85 ×	86	105	110	113 ×	85 1	195	70-74 3	Joachim MITTMANN	GER 36	104.45	63	66	67	80	
65-69 2	Valeriy KRUSHINSKIY	RUS 42	87.36	80	84 ×	84	105	115 ×	80 2	105 2	185	65-69 1	Hans BEISIGEL	GER 39	99.46	75	78	78	78	
65-69 3	Peteren PETERSEN	DEN 39	90.88	65	70 ×	70	85	89	95 ×	65 5	154	65-69 2	Walter SCHUSLER	GER 43	94.48	78	81	83 ×	105	
65-69 4	Manfred WERRA	GER 40	93.56	65	67	70	82	85 ×	67 4	149	65-69 3	Vladimir CHIUEV	RUS 41	94.35	80	83 ×	95	—		
65-69 5	Horst JOOSS	GER 40	89.84	64	68	70	70	75 ×	70 3	145	65-69 4	Jiri PAVLISKA	CZE 41	94.75	76	76 ×	90	—		
60-64 6	Georg LARSSON	JPN 49	89.60	60	65 ×	65	75	80	82 ×	60 5	140	60-64 5	Istvan TAKACS	HUN 40	98.60	35	37	40	—	
60-64 7	多田一郎	GER 50	85.99	60	65 ×	65	75	80	82 ×	60 6	140	60-64 4	Pierre LE BALLET	FRA 44	95.45	66	69	70	90	
60-64 8	John WALTON	GBR 45	90.79	66	70 ×	70	80	85	87 ×	97 1	216	60-64 1	Sakhi LYCHBAEV	RUS 53	100.95	95 ×	95	—	—	
60-64 9	Ebrahim POURDEJAM KHORAMI	IRI 44	93.98	90	96 ×	98 ×	110	117	121 ×	96 2	213	60-64 1	Laurence MCCONNELL	IRL 45	98.29	95	100	105	135	
60-64 10	Alouis STOIFL	AUT 47	93.51	85	90 ×	95 ×	100	105	109 ×	90 3	195	60-64 2	Jane NYSTROM	NOR 44	104.02	81	86	90 ×	110	
60-64 11	Alfred WAGNER	GER 44	88.52	72	76	80 ×	100	106	106 3	182	182	60-64 3	Boris STOBANOV	RUS 45	103.00	75	80 ×	90	95	
55-59 1	Mohammad NOURI	IRI 51	93.83	96 ×	96	100 ×	110	115	118 ×	90 6	154	55-59 1	Willi ROTTE	GER 50	103.75	87	87	90 ×	116	
55-59 2	Gerd KLEINSCHMIDT	GER 52	93.66	97	100 ×	100	112	116 ×	116 1	214	55-59 3	David Elliott MELTZER	USA 52	103.97	85 ×	85	—	87		
55-59 3	Leslie SCRANNAGE	GBR 53	93.75	85	90 ×	95 ×	105	105	109 ×	114 2	204	55-59 4	Ludwig-Josef VOGL	GER 53	100.44	75 ×	75	78	117	
55-59 4	Jean-Paul BELMAS	FRA 49	92.77	87	92 ×	92 ×	115	123 ×	123 ×	87 4	202	55-59 5	Gerhard DESPACHE	FRA 50	97.45	80	85 ×	85	80	
55-59 5	Witold SZCZESNY	POL 51	87.55	86 ×	86	90 ×	120	124 ×	124 ×	86 5	—	55-59 6	Nikolaus SARPATSANOS	FRA 51	98.85	75	80	83 ×	83	
50-54 1	Gurdaawar DHESI	GBR 58	93.46	110 ×	110	117 ×	145	160 ×	168 ×	110 1	255	50-54 1	Volodymyr NAGALYUK	UKR 51	94.09	80 ×	80	86 ×	100 ×	
50-54 2	Berthold RANK	GER 58	93.27	103 ×	103	105 ×	127	130	134 ×	103 2	237	50-54 1	Valeriy MELNYK	UKR 58	104.43	107	112	116 ×	140 ×	
50-54 3	Rudolf LENART	SVK 58	92.75	95	99 ×	101 ×	123	128 ×	134 ×	99 3	227	50-54 2	Hassan AHMADI MANESH	IRI 56	94.35	105	111	115 ×	135 ×	
50-54 4	Valentyn ANTONOV	UKR 54	91.53	91	95 ×	98 ×	115	115 ×	127 ×	98 4	213	50-54 3	Anatoliy POCHELIOUK	BLR 54	104.12	90	96	100	125 ×	
45-49 1	Jari HIRVONEN	FIN 63	93.93	127	131 ×	131	145	147 ×	153	131 1	284	50-54 4	Iakov KONGCHESKIJ	RUS 55	98.63	90 ×	80	82 ×	105	
45-49 2	Aki MANNISTO	SVK 60	91.92	107	109 ×	109	137	—	109 3	137 3	246	45-49 1	Ardeshir SHAMS	IRI 56	102.25	105	111	115 ×	140 ×	
45-49 3	Oskar PATASI	FRA 60	87.33	95 ×	95	102	117	122	125 ×	102 6	227	45-49 2	Vitaliy MARSAVIN	UKR 62	99.02	117	125 ×	125 ×	147	
45-49 4	Thierry BOUSSARDON	GER 61	92.29	97	102 ×	105	122 ×	122	125 ×	105 5	227	45-49 3	Tibor MEZEI	SVK 62	101.34	120	127 ×	127 ×	153 ×	
45-49 5	Michael GLATZER	GER 61	93.57	115	120	123	148	155 ×	155 4	155 3	278	45-49 4	Łukasz -Jean ADOLPHE	FRA 63	97.23	100 ×	105	116 ×	122 ×	
45-49 6	Mario VACHON	CAN 63	92.61	90	95 ×	98 ×	120	125	125 ×	95 7	220	45-49 5	Eric BATTAGLIA	MON 62	102.82	95	100	117	117	
45-49 7	Aravot MARYNOV	UKR 61	92.41	102 ×	—	—	—	—	—	—	—	45-49 6	Joseph TRIOLLO	USA 59	101.98	92	98	101	108	
45-49 8	Erich SEIDL	AUT 60	93.54	109	112 ×	112 ×	136 ×	136 ×	136 ×	109 4	—	45-49 1	Sayed Kalameddin VALATABAR	IRI 65	103.30	140 ×	140	145 ×	145 ×	
45-49 9	Roland PREITSNER	GER 62	93.64	92	96 ×	—	—	—	—	92 8	—	40-44 1	Artur Nikitin	IRI 68	104.74	129	135	138 ×	155 ×	
45-49 10	Christophe HELENA	FRA 68	91.38	120	125	127	147	153	156 ×	125 3	281	40-44 2	Bahram JAVAD	IRI 68	104.07	120	125 ×	125 ×	165 ×	
40-44 1	Andriy KOTYUK	UKR 68	93.28	120	125	128 ×	150	156 ×	159 ×	125 2	281	40-44 3	Kamran MAJID	GBR 68	104.07	120	125 ×	125 ×	165 ×	
40-44 2	Jens KABBE	GER 67	93.57	115	120	123	148	155 ×	155 ×	123 4	278	40-44 4	Dmitry KOZTOV	RUS 64	104.28	107	112	112 ×	148 ×	
40-44 3	Irai JAMES SHORANIAN	IRI 67	92.46	110 ×	110	116 ×	130	140 ×	140 ×	116 5	246	40-44 4	Aleksandr NIKITIN	RUS 67	100.60	122 ×	122	124 ×	148 ×	
40-44 4	淺井 奉洋	EGY 68	93.60	105	111 ×	111 ×	116	100 ×	—	110 6	200	40-44 5	Nestor OLIVY RUZA	VEN 66	103.46	120 ×	120	135 ×	137	
40-44 5	Wahid ABOU EL ELA	RUS 65	91.81	125	130 ×	160 ×	160 ×	160 ×	160 ×	130 1	—	40-44 6	Roman SCHINHAN	AUT 64	103.00	112	116	118 ×	146 ×	
40-44 6	Mikhail SHCHERBAK	USA 71	93.10	125	132	140	152	160	170 ×	140 1	160	40-44 7	Emil NAUMOV	JPN 66	94.83	90	100	100 ×	120	
35-39 1	Miles DOWSWELL	FIN 71	92.10	115	120	125 ×	140	145 ×	150 ×	120 2	265	40-44 8	Yaghoub AMIRSAHLARI	BUL 66	102.51	102	107	110 ×	135 ×	
35-39 2	Kim FELLMAN	GER 71	91.86	108	114	117	138	144	145 ×	125 3	261	40-44 9	Emil NAUMOV	JPN 64	104.50	110	115	120 ×	135 ×	
35-39 3	Alexander HEIB	SWE 73	93.02	112 ×	116 ×	136	141	145 ×	148 ×	124 4	261	40-44 10	清野 智司	GER 64	98.45	95	100	102	122 ×	
35-39 4	Tobias VIKLUND	FRA 73	93.30	106	111	116 ×	135	140 ×	141 ×	112 4	253	35-39 1	Artur NIKITIN	RUS 70	104.30	130	135 ×	135 ×	122 ×	
35-39 5	Jimmy ALARD	IRI 70	93.27	105 ×	105	110	141	152 ×	152 ×	111 6	252	35-39 2	Jan SEDLBAUER	CZE 71	104.75	122	126 ×	126 ×	128 ×	
35-39 6	Javad SAMIEE MATIN	USA 71	93.10	125	132	140	152	160	170 ×	140 1	160	35-39 3	James RUTTER	USA 72	100.18	115	120	123	147	
35-39 7	Igor LOGVINENKO	UKR 70	92.28	107	111	117	138	141	145 ×	137	248	35-39 4	Oliver ROSENGART	GER 71	104.15	117	123	126 ×	148 ×	
35-39 8	John LESCORNÉZ	FRA 72	98.89	105	110	115 ×	130	135	141 ×	111 5	245	35-39 5	Erolkitros PROTOPAPAS	CYP 70	102.04	95 ×	95	100	105 ×	154 ×
35-39 9	Pierre GOETT	FRA 72	92.39	98	95 ×	100	120	125	128 ×	103 9	223	35-39 6	Charles SCHOFFIELD	GBR 72	93.33	92	96	98 ×	120	
35-39 10	Charles SCHOFFIELD	GBR 72	93.33	95 ×	95	100	120	125	129 ×	95 11	220	35-39 7	Herwig LIMBERGER	AUT 69	93.92	92	96	98 ×	120	

## +105kg級

年齢 区分	順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			
						1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
70-74 1	Gunter SCHMOLKE	GER	38	107.85	67	70	72	86	91	94	72	94	1	166	
70-74 2	Lev NIKIFOROV	RUS	36	143.08	65	70	72	86	91	94	72	94	2	166	
70-74 3	James FERGUSON	SCO	38	123.25	66	70	70	88	93	93	70	93	3	163	
70-74 4	Hans EHLENZ	GER	35	106.57	68	71	73	84	84	88	71	84	5	155	
70-74 5	Karel SUMME	NOR	38	116.86	60	65	67	85	92	93	65	85	4	150	
60-64 1	Manfred SCHRÖDER	GER	46	113.87	87	91	91	115	120	125	91	125	1	216	
60-64 2	Evgueny SIDOROK	RUS	47	106.45	83	88	91	115	120	120	88	120	2	208	
60-64 3	Józef EISMONT	POL	47	111.03	80	95	90	110	116	—	85	116	3	201	
60-64 4	Warren STEINER	AUT	47	108.94	85	90	90	109	112	112	90	109	4	199	
60-64 5	Sabbas KAPPATOS	GRE	45	105.92	81	85	88	—	—	—	65	4	—	—	
55-59 1	Preben KREBS	DEN	51	105.59	93	98	97	125	120	130	98	1	231	—	
55-59 2	Wiesław STEC	POL	52	108.77	93	96	96	125	125	128	96	125	2	221	
55-59 3	Jen HINRICHSEN	SWE	53	141.08	90	x	90	95	120	130	95	120	3	215	
55-59 4	Valery TERESHKO	RUS	50	126.55	83	x	83	85	100	105	107	83	4	190	
55-59 5	Anatoli TRISHIN	RUS	51	110.10	75	80	83	92	—	—	80	5	172	—	
50-54 1	Nikola SHANIN	RUS	56	133.45	120	137	—	150	160	168	137	1	297	—	
50-54 2	Harry BARTH	GER	58	123.60	105	110	113	130	137	—	113	2	243	—	
50-54 3	Vitaliy RUDENKO	UKR	56	105.60	100	105	105	120	130	130	100	3	230	—	
50-54 4	Vladimir DEGIAR	CZE	57	144.74	85	90	90	105	110	110	90	4	195	—	
45-49 1	Lars EKMAN	SWE	63	122.53	125	128	131	150	158	163	131	1	289	—	
45-49 2	Sergej LOPATIN	RUS	61	113.24	112	117	120	140	152	—	120	3	272	—	
45-49 3	Arto SAVONEN	FIN	60	109.80	122	126	129	145	150	150	126	4	226	—	
45-49 4	Hans-Peter SCHROLL	GER	63	109.98	100	105	105	110	117	130	135	5	245	—	
45-49 5	Teymour AGHAEI CHINIANI	IRI	63	107.38	110	x	110	117	130	135	140	110	4	245	—
45-49 6	Oktay LATAL	CZE	60	105.56	100	105	108	120	125	130	124	125	6	233	—
45-49 7	Jeffrey SCOTT	USA	59	109.60	90	94	96	120	124	124	94	120	7	214	—
45-49 8	Mikhail BESPERSTOV	RUS	59	108.93	95	100	100	110	110	115	95	115	8	210	—
45-49 9	Efrain FLORES	VEN	60	109.08	102	x	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40-44 1	Rick BUCINELL	USA	64	126.96	135	x	143	175	177	186	143	1	320	—	
40-44 2	Igor MEDVEDEV	RUS	64	111.63	130	136	140	160	170	170	140	2	310	—	
40-44 3	Mohammad Esmaeil NAHAVANDI	IRI	65	118.68	123	129	133	152	158	163	129	3	292	—	
40-44 4	Oliver KAISER	GER	66	131.74	115	120	125	145	157	163	125	4	282	—	
40-44 5	Sergio CARDENAS	VEN	65	116.66	110	115	118	149	140	145	115	5	255	—	
40-44 6	Jürgen BRAUN	GER	66	133.25	102	107	107	143	149	149	149	7	250	—	
40-44 7	János MAGAT	HUN	66	131.36	103	108	112	125	130	132	108	6	238	—	
40-44 8	Frank MOLINA	VEN	67	131.31	95	100	x	—	122	122	—	—	—	—	—
40-44 9	František SZABO	SVK	65	105.53	—	x	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35-39 1	Vladimir SUSCHAK	RUS	72	133.61	150	162	170	x	175	191	201	1	363	—	
35-39 2	Yury CHICH	RUS	72	126.14	140	x	140	145	165	170	140	2	310	—	
35-39 3	Sultan ALEV	AUT	73	120.29	130	135	135	165	171	172	135	2	307	—	
35-39 4	Roman BOSSAUER	GER	73	124.15	125	x	125	135	155	160	165	5	290	—	
35-39 5	Ewald FISCHER	AUT	70	122.24	128	x	128	134	147	—	128	4	275	—	
35-39 6	Igor NASKRIPNYAK	RUS	70	126.30	110	120	120	145	155	—	120	6	275	—	
35-39 7	Swen ELSPASS	GER	73	116.26	115	x	115	115	—	—	—	—	—	—	—
35-39 8	Pavlo NOUR ALPOUR	IRN	73	116.56	142	x	142	142	—	—	—	—	—	—	—

## +105kg級

年齢 区分	順位	氏名	国名	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		
						1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位
50-54 1	Coral Ann QUINELL	AUS	57	55.74	44	47	50	—	52	56	58	50	1	108
50-54 2	Caroline CHARLES	GBR	58	53.30	40	44	40	40	45	40	44	45	2	89
50-54 3	蓮 靖美	JPN	58	54.91	25	28	30	—	—	—	—	40	3	70
45-49 1	岩永小百合	JPN	63	55.37	52	55	57	63	67	70	57	1	70	127

## 第63回国民体育大会

●平成20年10月4日[53kg級～62kg級]・5日[69kg級～85kg級]・6日[94kg級～105kg級]

●成年男子：アストル(にさき)アストルホール

少年男子：アストル(にさき)アストルホール

## 【成年男子】

## 53kg級

順位	都道府県 所在	氏名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			
						1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
1	須田	優幸	柄木	学生悠館高松校(講)	84	52.82	93	95	99	99	114	117	119	1	117
2	西村	裕樹	熊谷	学生悠館高松校(講)	84	52.38	95	98	99	99	115	117	118	2	117
3	赤嶺	直樹	熊谷	分九州オリンピック大学	86	52.62	83	87	87	87	107	111	113	3	115
4	鈴山	喜行	岡山	中谷興運(株)	85	52.86	80	85	88	88	105	110	115	4	200
5	成尾	英士	和歌山	株式会社エイトウェーブ(株)	85	52.26	79	95	95	95	105	110	116	5	198
6	末廣	一	山形	美乃脇	79	52.62	71	76	76	76	90	100	100	6	197
7	篠原	義陽	福島	九州国際大学	87	52.82	86	88	88	88	111	113	113	7	196
8	濱岡	亮弘	鳥取	大陽工業	88	52.56	85	88	88	88	105	105	105	8	196
9	中川	大樹	兵庫	立命館大学	87	55.56	103	103	103	103	121	126	126	9	196
10	長谷川	直也	福岡	山中农业大学	87	55.88	99	101	101	101	104	122	122	10	196
11	佐坂	基一	沖縄	秋田県農業試験場	80	55.32	97	99	99	99	100	120	122	11	196
12	7古庄	大	宮城	明治大学	88	55.46	95	98	98	98	100	115	122	12	196
13	小野	剛	愛媛	トヨタ自動車(株)	79	55.34	95	98	98	98	100	113	116	13	196
14	坂元	九	宮城	崎陽軒大学	89	55.78	90	98	98	98	113	118	118	14	196
15	深瀬	富明	福島	神奈川県立大山古屋産業大学	88	55.42	92	95	95	95	105	110	112	15	196
16	小林	拓郎	山形	福島県立新潟高等学校	83	55.54	90	98	98	98	110	115	115	16	196
17	山本	亮	広島	鳥取県立工科大学	76	55.92	80	85	88	88	105	110	110	17	196
18	櫻木	聰	三重	島根県立大山古屋産業大学	87	55.42	92	97	97	97	100	100	100	18	196
19	宮川	一宏	滋賀	京都府立新潟高等学校	82	55.76	98	98	98	98	100	100	100	19	196
20	代田	法志	千葉	千葉工業高等専門学校	75	55.10	90	90	90	90	98	98	98	20	196
21	野崎	一郎	東京	東京警視庁第八機動隊	81	55.44	102	102	102	102	126				

## 77kg級

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベント									
1	山田 政晴	群馬県総合グランドシステム	80	56.86	102	105	107	143	147	150	107	5	147	1	254	—
2	才田 吉弘	宮崎日本大学	86	61.58	110	110	113	140	148	140	113	1	140	2	253	—
3	杉内 仁志	島根(株)オストロジスティクス	83	61.70	110	110	113	130	132	134	113	2	132	3	245	—
4	小島 夏樹	東京警察視察官駐在地	81	61.76	106	104	106	130	134	136	106	7	136	4	242	—
5	松藤 勝	東京大黒工業	88	61.50	103	105	108	136	138	136	106	8	136	5	242	—
6	黒江 様治	東京大黒工業	89	61.18	103	103	106	133	135	136	105	9	136	3	241	—
7	前田 祥平	川口川金沢学院大学	85	61.50	95	103	105	135	135	137	103	12	135	6	238	—
8	西嶋 勝典	千葉(株)コウガボアイス	89	61.62	102	102	105	128	131	133	105	11	131	9	236	—
9	大塚 一樹	香川早稲田大学	88	61.06	107	110	113	125	125	125	110	3	125	12	235	—
10	山本 健峰	福井大阪商業大学	90	60.82	103	106	108	116	121	126	108	4	126	11	234	—
11	武市 航	阪神明治大学	83	61.74	95	100	105	126	131	133	95	18	131	0	226	—
12	石川 真明	島根(株)アグリ島根	81	61.60	102	105	105	115	115	120	105	10	120	14	225	—
13	德永 猛士	愛媛(株)一宮運輸(株)	72	61.48	95	100	104	110	120	130	95	16	120	13	215	—
14	富永 佳孝	徳島(株)ネクストラブ・セレ	72	61.48	95	100	104	110	115	115	115	14	115	15	215	—
15	村上 朋	山立命館大学	90	58.24	90	90	90	110	115	118	100	13	110	7	210	—
16	山本 徳広	東京鳥取盲学校(職)	80	61.46	100	100	105	110	115	115	100	13	110	17	210	—
17	福田 武広	茨城筑波大	87	61.34	95	100	103	110	120	120	95	15	110	6	205	—
18	久保田秀敏	神奈川野村総合研究所	74	61.72	92	92	95	110	113	113	92	19	110	8	202	—
19	垣内 道光	和歌山新宮高校(教)	82	59.44	80	85	88	90	96	102	88	20	102	9	190	—
20	高橋 洋丞	高知名古屋産業大学	89	58.84	75	80	83	97	97	106	80	21	97	0	177	—
21	別府 智貴	山口国土総合大学	90	59.74	60	65	65	75	80	85	60	21	80	21	140	—
22	岩岡 康平	島根(株)二井一	87	61.68	95	100	103	130	130	132	95	17	—	—	—	—
23	川畠 力大	京都金沢学院大学	86	74.08	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
原田 原田	恭歩	岐阜県農業良种体育協会	89	69.16	105	105	105	130	135	135	105	15	130	15	135	—
水口 水口	警飼 春	岐阜県農業良种体育協会	82	76.28	120	120	123	123	123	123	123	155	155	155	155	—

## 62kg級

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベント										
1	五百瀬正和	大阪市信用金庫	85	64.98	121	123	126	147	152	153	126	1	153	3	279	—	
2	上村 孜	兵庫県尼崎工業高校(教)	72	67.82	119	121	122	150	153	154	119	3	154	1	273	—	
3	平良 健太	堀川(有)平良工業	84	65.70	116	118	119	151	154	155	116	6	154	2	270	—	
4	坂井 柚哉	堀川(有)平良工業	85	65.70	113	115	115	145	150	153	115	7	153	4	268	—	
5	岸間 映晶	三重四日市物流(株)	83	68.12	110	116	118	146	150	153	118	5	150	5	268	—	
6	瀬田 長	島崎日本体育大学	86	68.72	119	121	124	140	142	143	121	2	140	10	261	—	
7	近藤 伸次	愛知トヨタ自動車(株)	79	67.82	115	115	118	145	145	147	115	8	145	6	260	—	
8	野村 真弘	山口口下関工業高等専学校	83	68.64	118	120	121	136	141	141	118	5	136	12	254	—	
9	八巻 譲	島崎平成国際大学	89	68.48	105	110	113	137	141	142	110	12	141	8	251	—	
10	岸間 康寛	堀川(有)平良工業	84	68.26	110	113	116	140	143	143	110	11	140	9	250	—	
11	白石 幸起	熊本綜合警備保障(株)	83	68.60	115	117	117	130	133	134	115	9	134	14	249	—	
12	澤瀬 伸介	長崎県中川警察署	84	68.70	105	110	110	135	141	142	105	14	142	7	247	—	
13	加藤 雄介	姫早名古屋産業大学	88	67.20	103	107	110	135	140	140	107	13	135	13	242	—	
14	西沢 啓悟	法注	84	68.38	90	100	105	132	137	142	100	18	137	11	237	—	
15	平 駒智	奈良市立播磨台幼稚園	81	68.50	95	100	103	125	130	130	100	17	130	15	230	—	
16	鈴木 遼朗	静岡県立浜松工業高校(教)	84	68.32	90	100	105	120	125	128	103	15	125	19	228	—	
17	川口 豊裕	鳥取川口警察	81	68.08	98	110	110	115	120	125	98	18	125	18	223	—	
18	小藤 修宏	島根県立浜松工業高校(教)	74	63.74	95	—	—	121	121	121	95	19	121	20	216	—	
19	岩谷 崇範	井井日本新日本	84	68.02	110	113	116	137	140	140	110	10	110	16	—	—	
20	杉本 哲也	中央大学	87	68.80	110	110	110	130	134	134	110	10	130	16	—	—	
21	得永 孝雄	鹿児島大飯商業大学	88	65.64	105	105	105	120	128	128	128	128	17	128	17	229	—

## 85kg級

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベント									
1	上村 琢	兵庫県尼崎工業高校(職)	72	67.82	119	121	122	150	153	154	119	3	154	1	273	—
2	平良 健太	堀川(有)平良工業	84	65.70	116	118	119	151	154	155	116	6	154	2	270	—
3	坂井 遼彌	堀川(有)平良工業	85	65.70	113	115	115	146	150	153	118	5	150	5	268	—
4	田中 裕人	秋田県立中央大学	86	68.72	119	121	124	140	142	143	121	2	140	10	261	—
5	高橋 基長	長崎県立高橋高校(教)	79	67.82	115	115	118	145	145	147	115	8	145	6	260	—
6	木曾 哲也	章尾木曾高校(教)	75	65.70	110	110	110	136	141	141	110	12	141	8	254	—
7	原田 俊也	福井県立原田大学	86	84.76	110	110	110	140	143	143	110	11	140	9	250	—
8	菅野 和音	宮城県立菅野高等学校	86	84.46	120	120	125	142	146	146	120	10	125	12	249	—
9	山田 哲也	宮城県立山田高等学校	86	83.62	125	125	125	142	147	147	125	12	127	8	247	—
10	安森 浩二	香川県立安森高等学校	87	84.18	118	122	126	140	145	145	118	12	126	12	242	—
11	岡 仁亮	福井県立岡仁亮高等学校	87	84.02	115	123	127	142	145	145	115	11	140	11	245	—
12	盛田 健司	福井県立盛田高等学校	82	77.22	121	125	127	145	148	148	121	12	127	7	247	—
13	小川 栄慈	栃木県立小川高等学校	83	83.44	105	110	110	135	139	139	110	10	110	12	245	—
14	和賀 明千	千葉県立和賀高等学校	80	83.16	105	105	105	135	139	139	110	10	110	10	245	—
15	知寛 英	茨城県立知寛高等学校	89	83.86	105	113	113	135	140	140	113	11	135	13	240	—
16	水下 賢裕	水下高等学校	84	80.16	97	102	107	122	127	127	117	11	122	11	229	—
17	遠藤 雄一	島根県立遠藤高等学校	85	84.82	70	75	75	128	135	135	90	17	95	17	165	—

## 94Kg級

## 【少年男子】

## 53Kg級

順位	姓 名	都道府 県名	所属	生 年	体 重	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	ペ スト	ト ド ラ ル	
				1	2	3	1	2	3	S 順 C&J 順
1	平岡 勇輝	福岡市体育協会	83 91.02	146	151	156 ×	185 ×	187 ×	187 ×	338
2	吉岡 柏司	玉林(財)鶴岡市体育協会	84 87.94	145	150	156 ×	175	180	180 ×	330
3	小笠原伸吾	自衛隊体育学校	84 92.06	140 ×	140	146 ×	170	173	178	318
4	水田 理	梨富士北陵高校(職)	84 91.60	135 ×	135 ×	135 ×	171	177	179	314
5	河原 康	本八代農業高校(職)	84 92.58	133	138 ×	136 ×	165	170	172 ×	308
6	白石 宏明	福岡県立大学	89 92.66	127 ×	131	131 ×	171	171 ×	171	302
7	里 里樹	福岡県立大学	86 93.06	127	131	135 ×	168	170	170	302
8	塙田 智志	川中丸大学	86 92.20	130	134 ×	135 ×	165	165 ×	165	295
9	衛藤 靖弘	日本大学	88 93.92	130	134	135 ×	160	160	160	294
10	山崎 直希	混金沢学院大学	87 93.68	125 ×	125	132 ×	160	166	166	291
11	土谷 浩二	宮城県稻田大学	87 85.04	125	130	134 ×	156	160	165 ×	290
12	声振 翔	岩手県政大	88 87.72	110	115 ×	117	145 ×	150	153 ×	270
13	宮下 淳	滋賀県立大学	88 90.48	125 ×	125	133 ×	145	150 ×	150	270
14	松原 寛佳	大阪商業大学	88 92.52	115	121 ×	121 ×	141	146	151	266
15	櫻庭 和己	北海道千曲版消防防組合	84 93.00	110	118	123 ×	144 ×	144 ×	144 ×	262
16	瀧澤 譲太	長野県軽井沢消防防組合	82 92.64	103	108	110 ×	130	135	141	249
17	川畑 源大	京都府京都市東南養護学校(職)	85 89.88	140	145 ×	145 ×	175 ×	177 ×	—	—
18	信彦 民	兵庫県日本体育大学	84 93.32	135 ×	135 ×	135 ×	166 ×	166 ×	166 ×	135

## 105Kg級

順位	姓 名	都道府 県名	所属	生 年	体 重	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	ペ スト	ト ド ラ ル	
				1	2	3	1	2	3	S 順 C&J 順
1	福嶋 佑耶	福岡県立大学	86 103.98	140	142	144	180	183	184	328
2	渡辺 重人	大分県立山梨村工業高校(教)	84 102.62	136	140	143	176	181	183	326
3	武田 雄大	福岡県立東邦高校(教)	81 97.06	135	140	142	175	180 ×	181	323
4	門脇 創一	兵庫県立西脇高校(職)	82 104.04	145	155 ×	155 ×	177	182 ×	182	322
5	丹伊田創一	福島県立明治大学	86 101.06	130	135	137	170	175	179	317
6	吉岡 史生	東京警視庁第八機動隊	78 104.40	140 ×	140	144	165	171 ×	171	316
7	佐藤 匠	福岡県立大学	89 99.46	130	135 ×	135 ×	155	160	162 ×	309
8	木城 悠介	木工専修大学	89 103.96	115	120	124	160 ×	163	163	292
9	二羽 泰一	日本大学	88 104.40	125 ×	125	131	150	156	161 ×	287
10	岩谷 亮明	北海道新潟東南養護学校(職)	83 101.74	115	120	125 ×	160	163 ×	163	287
11	朴 貴永	明治大学	86 99.14	115	120	125 ×	150	155 ×	155	270
12	布川 誠	新潟県立大学	86 94.52	123 ×	125 ×	125 ×	152 ×	152 ×	152 ×	—

## +105Kg級

順位	姓 名	都道府 県名	所属	生 年	体 重	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	ペ スト	ト ド ラ ル	
				1	2	3	1	2	3	S 順 C&J 順
1	和臣 勇	福岡県立大学	86 146.95	160	162	176 ×	195	211 ×	162	357
2	閑谷 伸介	新潟県立高校(教)	82 127.35	150 ×	150	185 ×	190	191 ×	190	357
3	葛菜 崇博	北海道北郷高等学校(職)	85 137.55	145	150	170 ×	170	176 ×	170	340
4	浦田 章弘	大阪商業大学	87 128.20	133	136	138 ×	177	180 ×	180	320
5	大西 敦平	香川日本大学	87 138.75	131	137	139	176	186 ×	186	318
6	山田 壮紀	木平成国際大学	87 125.85	128	133	136	168	173	177	317
7	鈴木 大智	三重県立名古屋産業大学	88 136.75	128	134	137	176 ×	177 ×	177	313
8	小保 一輝	知事・森(株)日本マイクロニクス	87 115.62	120	125 ×	126 ×	170	175 ×	175	301
9	中嶋 浩一	青森県立日本大通り高等学校	81 112.82	130	136 ×	137 ×	155	165	170	295
10	渡部 厚	島根県立浜田精養軒	77 119.64	110	115	120 ×	140	145 ×	148	263
11	吉本 久也	沖縄県立教育委員会	73 116.40	152	161	170 ×	191 ×	—	161	—
12	佐々木 樹	山形県立田村工業高校	86 116.54	135 ×	137	138 ×	170 ×	173 ×	138	—
13	小松 翔	秋田県立金沢学院大学	86 120.95	135 ×	137 ×	138 ×	180	185 ×	190	185
14	吉条 啓二	栄明高等学校	86 134.85	150 ×	150	151 ×	176 ×	181 ×	181	184

## 56Kg級

順位	姓 名	都道府 県名	所属	生 年	体 重	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	ペ スト	ト ド ラ ル	
				1	2	3	1	2	3	S 順 C&J 順
1	斎藤 陽一	沖縄県立高校	91 2	55.70	95	100	102	102	102	102
2	村上 道人	宮崎県立高校	90 3	55.84	100	102	103	115	120	120
3	川原 良太	長崎県立工業高校	91 3	55.98	87	88	88	115	116	116
4	森 蔵竜	鹿児島県立工業高校	91 2	53.98	81 ×	81	84	109	112	112
5	水野 勝	福岡県立商業高校	90 3	55.84	82	85	88 ×	104	104	104
6	熊川 雄大	福岡県立農業高校	91 2	55.36	82	85	87	93	98	98
7	吉田 伸	福岡県立八戸水産高校	91 3	54.80	75	80	81	98	101	103
8	加藤 駿	福岡県立宮崎工業高校	90 3	55.04	77	80	81 ×	97	101	103
9	萩原 和希	福岡県立玉杵丘陵工業高校	91 2	55.56	75	78	81	97	101	104
10	中田 耕輔	福岡県立富士山商業高校	90 3	55.26	75	78	81 ×	101	103	105
11	大津 駿平	東京東亞学園高校	91 2	55.56	74 ×	74	94	98	98	98
12	阿部 将史	山形県立庄内農業高校	90 3	55.86	75 ×	75	82	97	97	97
13	吉川 卓矢	仙台市立法政大学第二高校	90 3	55.44	67	70	70 ×	92	95	95
14	神尾 祐矢	福岡県立新居浜工業高校	90 3	55.12	70 ×	70	75 ×	90	90	90
15	細木 高	福岡県立明徳義塾高校	91 2	55.44	45	50	54	72	82	85
16	内村 澄磨	岩手県立盛岡工業高校	91 2	55.42	78 ×	78 ×	81 ×	100	103	104
17	村角 謙二	北海道土別翔雲工業高校	91 2	55.42	80 ×	80 ×	82 ×	102	102	102
18	堀池 亮太	静岡県立技術専門学校	91 3	54.92	80 ×	80 ×	85 ×	85 ×	85 ×	85

## 62Kg級

順位	姓 名	都道府 県名	所属	生 年	体 重	ス ナ ッ チ	クリーン&ジャーブ	ペ スト	ト ド ラ ル	
				1	2	3	1	2	3	S 順 C&J 順
1	金城 沖	沖縄県立城南高校	90 3	61.14	95	97	100	120	122	100
2	武部 真希	京都府立鳥羽羽根高等学校	91 3	61.42	92	96	98 ×	116	123	123
3	石井 路夢	神奈川県立中原高等学校	90 3	61.22	93	97	115	120	122	122
4	早川 彰彦	大阪府立大阪産業大学附属高等学校	92 2	61.34	93	97 ×	117	120	122	121
5	池内 裕輝	秋田県立能代工業高等学校	90 3	61.80	90 ×	90	90 ×	113	115 ×	115
6	金城 淳九	沖縄県立豊慶城南高校	90 3	61.14	95	97	100	122	123	123
7	武部 真希	京都府立鳥羽羽根高等学校	91 3	61.42	92	96	98 ×	116	123	122
8	大石 一輝	神奈川県立中原高等学校	90 3	61.22	93	97	115	120	122	121
9	中嶋 浩一	大阪府立大阪産業大学附属高等学校	92 2	61.34	93	97 ×	117	120	122	121
10	渡部 厚	秋田県立能代工業高等学校	90 3	61.80	90 ×	90	90 ×	113	115 ×	115
11	吉本 久也	沖縄県立城南高校	77 119.64	110	115	120 ×	140	145 ×	148	263
12	佐々木 樹	山形県立東村教育委員会	73 116.40	152	161	170 ×	191 ×	—	161	—
13	吉本 貴永	愛媛県立大洲高等学校	86 116.54	135 ×	137	138 ×	170 ×	173 ×	138	—
14	吉本 貴永	愛媛県立大洲高等学校	86 120.95	135 ×	137	138 ×	180	185 ×	190	—
15	吉条 啓二	栄明高等学校	86 134.85	150 ×	150	151 ×	176 ×	181 ×	181	—
16	安田 和政	鹿児島県立入来商業高等学校	90 3	61.40	95	96 ×	105 ×	105 ×	105 ×	—
17	橋本 慶人	三重県立龜山高等学校	90 3	61.40	95	96 ×	1			

## 94Kg級

## 94Kg級

順位	氏名	都道府県名	所属	年齢	学年	体重	1	スナッチ	クリーニング	スラッシュ	スラスト	C&J	順位	トータル	
1	金城 聖丸	神奈川県豊見城高校	90 3	66.59	110	116 x 122 x 140	146 cr	153 x 110 1	146 1	256	1	117 2	155 1	272	
2	本田 充順	石川県津幡高校	90 3	68.36	103 x	103 x 103 x 130	140 x 133	103 3	133 2	236	2	117 1	145 2	262	
3	中津 一晃	宮崎県小林工業秀峰高校	91 3	68.64	100	103 x 103 x 130	133 x 134 x	100 6	133 3	233	3	111 5	144 3	255	
4	岡山 司	兵庫県八千代松陰高校	90 3	68.10	102	104 x 104 x 122	124 x 124	104 2	124 5	228	4	114 x	140	142	
5	木下 哲之	福岡県明石北高校	91 2	68.46	99	101 103 x 100 x	120 x 123 x	103 4	123 6	226	5	114 x	140	142	
6	木原 大平	福岡県筑紫工業高校	90 3	68.18	95	97 100 x 100 x	120 x 123	100 5	125 4	225	6	115 x	131	135 x	
7	平井 功次	福岡県大野城高校	90 3	66.46	90 x	90 93 x 90 x	93 x 115	120 x 122	93 10	122 7	215	7	110 x	113	137 x
8	田邊 長	福岡県井若狭学園高校	91 3	68.38	85	90 92 x 90 x	92 x 117	120 x 122	90 12	122 8	212	8	115 x	135 x	138 x
9	中田健太郎	大阪府常磐学園高校	91 2	66.72	90	93 x 95 x 95 x	115 x 120 x	120 x 120	95 9	115 10	210	9	100 x	100	105 x
10	長谷川 匠	新潟県西高校	91 2	68.18	87	91 95 x 112 x	117 x 120 x	91 11	117 9	208	10	106 x	107 x	132 x	
11	小川 正祥	岡山県岡科学技術高校	90 3	68.88	87	90 94 x 108 x	112 x 116 x	90 13	112 11	202	11	105 x	106 x	133 x	
12	筒浦 伸	福岡県口下関工業高校	90 3	68.38	85	91 x 93 x 93 x	110 x 116 x	95 10	110 12	195	12	105 x	106 x	125 x	
13	中野 祐貴	山口県山戸高校	90 3	66.82	82	87 80 x 80 x	90 85 x	103 x 106	87 14	106 14	193	13	100 x	100 x	115 x
14	甲斐 正紀	静岡県正祥高等学校	90 3	67.84	80 x	80 105 x 105 x	107 105 x	80 16	107 13	187	14	95 x	95 x	100 x	
15	伊藤 大介	高知県明徳義塾高校	91 2	66.42	60 x	60 65 x 65 x	75 80 x	85 x	65 17	80 15	145	15	100 x	100 x	105 x
16	村田 光平	茨城県石岡第一高校	90 3	68.48	96 x	96 98 x 98 x	115 x 115 x	118 x	98 7	—	—	17	95 x	95 x	105 x
17	岩崎 準也	青森県八戸工業大学第一高大	90 3	68.56	90	95 x 96 x 96 x	115 x 115 x	115 x	96 8	—	—	18	90 x	90 x	65 x

## 77Kg級

順位	氏名	都道府県名	所属	年齢	学年	体重	1	スナッチ	クリーニング	スラッシュ	スラスト	C&J	順位	トータル
1	安達 黃弘	愛知県知立工業大学名鑑高校	91 3	75.10	110	113 x 114 x 113	145 x 145	150 x 154 1	154 1	267	1	125 1	150 4	275
2	西中 竜	石川県金剛高等学校	90 3	74.50	108	110 x 113 x 106 x	140 x 138	113 x 135 x	140 2	253	2	123 2	150 3	273
3	高原 康幸	熊本県多度津高校	91 2	74.18	103 x	103 x 103 x 106 x	131 x 130 x	106 x 135 x	140 2	253	3	123 2	150 3	273
4	中村 優	福岡県天草高校	91 2	75.60	103 x	103 x 106 x 111 x	125 x 125 x	111 x 125 x	120 x 135 x	238	4	123 3	150 x	154 x
5	北崎 優也	福岡県山鹿工業高校	90 3	76.40	106	108 x 108 x 101 x	128 x 128 x	101 x 103 x	125 x 125 x	233	5	123 3	150 x	154 x
6	内尾 伸	福岡県分字佐間高校	90 3	73.48	99	101 x 101 x 103 x	128 x 128 x	101 x 103 x	125 x 125 x	229	6	123 3	150 x	154 x
7	佐藤 隆裕	福岡県石岡第一高校	90 3	75.66	98	98 x 101 x 101 x	123 x 123 x	101 x 103 x	125 x 125 x	229	7	123 3	150 x	154 x
8	安江 宏	東京工業大学附属高等学校	91 2	76.44	105 x	105 x 106 x 116 x	124 x 124 x	106 x 116 x	120 x 120 x	226	8	123 3	150 x	154 x
9	福士 和明	青森県柏木商業高校	90 3	75.68	98	101 x 101 x 104 x	120 x 124 x	101 x 104 x	120 x 124 x	225	9	123 3	150 x	154 x
10	鈴木 利也	宮城県柴田農林高校	90 3	74.58	93	96 x 101 x 101 x	123 x 123 x	93 x 115 x	125 x 125 x	218	10	123 3	150 x	154 x
11	下原 卓朗	鹿児島県川薩修習館高校	91 2	76.36	95	98 x 115 x 115 x	118 x 118 x	101 x 111 x	115 x 115 x	216	11	123 3	150 x	154 x
12	丸山 真典	福岡県和歌山工業高校	91 3	76.28	90 x	90 x 95 x 95 x	110 x 110 x	95 x 110 x	115 x 115 x	210	12	123 3	150 x	154 x
13	西村 宏太	山口県板野高等学校	90 3	76.80	90 x	90 x 93 x 101 x	110 x 110 x	90 x 100 x	95 x 100 x	195	13	123 3	150 x	154 x
14	池田 優馬	山口県滑川高校	91 2	72.30	95	100 x 101 x 101 x	100 x 100 x	100 x 100 x	105 x 105 x	195	14	123 3	150 x	154 x
15	本田 鶴	山口県下關工業高校	90 3	76.20	90 x	90 x 93 x 101 x	100 x 100 x	90 x 100 x	95 x 100 x	195	15	123 3	150 x	154 x
16	本多 鶴昂	山口県鷲羽高等学校	91 2	75.64	85 x	85 90 x 101 x	100 x 105 x	90 x 100 x	90 x 105 x	195	17	123 3	150 x	154 x
17	山根 智行	鳥取県湯陰高等学校	91 2	76.02	85	90 95 x 100 x	100 x 100 x	90 x 100 x	90 x 100 x	195	18	123 3	150 x	154 x
18	中野 伸平	山形県山添高等学校	90 3	76.64	100	104 x 109 x 101 x	120 x 120 x	104 x 107 x	104 x 105 x	195	19	123 3	150 x	154 x
19	池田 広生	佐賀県有田工業高校	90 3	73.10	95	100 x 100 x 101 x	110 x 110 x	100 x 110 x	105 x 105 x	195	20	123 3	150 x	154 x

## +105Kg級

順位	氏名	都道府県名	所属	年齢	学年	体重	1	スナッチ	クリーニング	スラッシュ	スラスト	C&J	順位	トータル
1	下村 勇太	宮崎県小林工業秀峰高校	90 3	100.94	120 x	120 x 120 x	120	125	145	150	150	155 x	125 1	275
2	中山 貴志	鳥取県中東高校	90 3	99.46	115	115 x 116 x	120	123	140	145	145	150	123 2	273
3	竹原 翔	福井県若狭東高校	90 3	97.82	112	116 x 116 x	112	116	120 x	120 x	120 x	120 x	123 2	273
4	高橋 一平	福岡県安曇川高校	90 3	103.24	111	113 x 113 x	111	113	117	117	117	117	117 4	271
5	鈴木 雄大	福岡県多度津工業高校	91 3	104.24	120	120 x 120 x	120	123	126 x	126 x	126 x	126 x	123 3	268
6	佐々木 拓也	福岡県木底南高校	90 3	104.06	103	103 x 103 x	103	107	111 x	111 x	111 x	111 x	107 8	257
7	榎本 健司	鹿児島県鳴門工業高校	90 3	102.72	101	106 x 106 x	101	106	106 x	106 x	106 x	106 x	106 6	247
8	大輪 康平	福岡県本郷西高校	90 3	99.88	108	108 x 108 x	108	111	113 x	113 x	113 x	113 x	111 6	246
9	吉澤 真吾	愛知県江南大学名鑑高校	90 3	100.08	107	111 x 111 x	107	111	112 x	112 x	112 x	112 x	107 7	239
10	山崎 大介	福岡県利根工業高校	90 3	97.74	100	100 x 100 x	100	105 x	106 x	106 x	106 x	106 x	100 10	235
11	福田 真也	千葉県市川西高校	90 3	102.62	100	106 x 106 x	100	106	106 x	106 x	106 x	106 x	100 11	227
12	久保 健太	鹿児島県桜島南高校	91 2	104.26	95	95 x 95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 13	220
13	池辺 真也	東京都東京学園高校	90 3	98.38	95	95 x 95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 x	95 12	210
14	津田 拓磨	和歌山県紀北工業高校	90 3	103.70	101	101 x 101 x	101	101	101 x	101 x	101 x	101 x	100 x	—

## 85Kg級

順位	氏名	都道府県名	所属	年齢	学年	体重	1	スナッチ	クリーニング	スラッシュ	スラスト	C&J	順位	トータル
1	三浦 宏也	山梨県新潟西高校	90 3	81.98	107	110 x 112 x 107	140 x 142	112 2	146 1	258	1	125 1	137 8	239
2	坂本 文弥	京都府加悦谷高校	91 3	82.36	110	112 x 113 x 107 x	132 x 136	113 x 141	141 3	254	2	123 2	134 9	238
3	高田 侑弥	福岡県小山南高校	91 3	84.30	103	107 x 107 x 105 x	125 x 125	107 1	141 3	253	3	124 7	137 7	237
4	澤田 伸	北海道札幌稻毛高校	91 3	83.14	107	110 x 111 x 106 x	122 x 124	106 6	146 2	253	4	124 9	137 7	237
5	山本 英明	大分県大分分工業高校	90 3	80.16	100	103 x 105 x 103 x	130 x 133	103 x 117	123 10	228	5	123 10	133 10	233
6	木下 章吾	新潟県八千代高校	90 3	84.04	98	104 x 106 x 101 x	130 x 130	106 x 121	126 x 126 x	226	6	123 12	132 12	233
7	渡部 佑樹	秋田県四日市中央工業高校	90 3	81.68	98	103 x 103 x 107 x	125 x 125	107 x 115	122 x 122	226	7	123 12	132 12	233
8	後藤 大律	福岡県八幡中学校	91 3	83.14	107	110 x 111 x 106 x	122 x 124	106 x 117	127 x 127	227	9	123 10	133 10	233
9	坂本 博伸	北海道札幌豊平高校	90 3	83.82	105	105 x 106 x 101 x	130 x 133	103 x 117	123 10	228	10	123		

# 総合成績一覧表

## 第53回全日本学生新人選手権大会

都道府県名	年齢	性別	年	男子	少年男子												合計得点	平均得点	総合順位																																																																																																																																																																																																																						
					S	I	J	S	I	J	S	I	J	S	I	J	S	I	J	S	I	J																																																																																																																																																																																																																			
都道府県	55kg級	56kg級	57kg級	58kg級	59kg級	60kg級	61kg級	62kg級	63kg級	64kg級	65kg級	66kg級	67kg級	68kg級	69kg級	70kg級	71kg級	72kg級	73kg級	74kg級	75kg級																																																																																																																																																																																																																				
北海道	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																																																																																																			
青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	新潟	長野	富山	石川	福井	静岡	愛知	三重	岐阜	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	広島	山口	香川	徳島	高知	愛媛	沖縄																																																																																																																																																																																																				
県	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233

●平成20年10月11日[56kg級～75kg級・女子全階級]・12日[85kg級～105kg級]

●選手スボーツセンター(横浜市)

### 【男子】

#### 56kg級

順位	氏名	大学名	生年			体重			1			スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		
			年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル
1	村松 駿大	金沢学院大学	89	1	55.86	88	90	93	108	111	117	93	1	111	117	128	125	125	125	233
2	儀間 洋哉	平成国際大学	89	1	55.90	80	80	83	106	110	115	80	3	110	110	120	120	120	120	225
3	永井 千尋	大阪商業大学	89	1	55.90	85	87	87	105	105	105	80	3	105	105	105	105	105	105	185

#### 62kg級

順位	氏名	大学名	生年			体重			1			スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		
			年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル
1	武市 航	明治大学	90	1	61.20	105	108	111	120	125	125	94	1	115	119	120	120	125	125	233
2	廣瀬 雄大	立命館大学	89	1	61.76	100	105	105	125	125	125	94	1	117	121	121	121	121	121	227
3	柳川 雄基	名古屋産業大学	88	2	60.68	96	101	104	104	104	104	94	1	115	119	122	122	122	122	216
4	東門 佑基	法政大学	88	2	57.26	90	94	94	94	94	94	94	1	94	94	94	94	94	94	215
5	古庄 伸基	金沢学院大学	89	1	61.46	85	90	95	95	95	95	95	1	115	119	120	120	120	120	205
6	金城 隆介	法政大学	89	2	61.62	87	87	87	87	87	87	87	1	113	116	118	118	118	118	205
7	中上 肇仁	昭和大学	89	1	60.88	91	91	91	91	91	91	91	1	108	108	108	108	108	108	199
8	小林 葉希	日本体育大学	89	2	61.52	83	83	83	83	83	83	83	1	107	110	112	112	112	112	197
9	吉田 佑太	日本体育大学	89	2	60.00	75	78	78	78	78	78	78	1	104	108	110	110	110	110	197
10	神原 佑仁	日本体育大学	89	2	60.38	77	80	84	84	84	84	84	1	104	108	110	110	110	110	197
11	尾崎陽二郎	金沢学院大学	89	2	58.38	77	80	84	84	84	84	84	1	104	108	110	110	110	110	197
12	堀口 拓也	國士館大学	88	2	60.06	60	63	66	66	66	66	66	1	85	88	88	88	88	88	197
13	別府 智貴	國士館大学	90	1	59.76	65	65	67	67	67	67	67	1	82	82	82	82	82	82	195
14	花野 豊三	近畿大学	90	1	60.86	80	80	80	80	80	80	80	1	93	93	93	93	93	93	193

#### 69kg級

順位	氏名	大学名	生年			体重			1			スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		
			年	年	年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	S	C&J	トータル
1	加藤 啓基	明治大学	89	1	65.24	108	110	113	135	137	137	94	1	113	113	113	113	113	113	250
2	安田 透	立命館大学	88	2	68.64	105	105	105	105	105	105	105	1	105	105	105	105	105	105	230
3	古賀 翔太	名古屋産業大学	90	1	66.38	100	105	105	105	105	105	105	1	105	105	105	105	105	105	230
4	永島 一樹	成蹊大学	88	2	68.28	100	104	104	104	104	104	104	1	107	107	107	107	107	107	230
5	渡邊 治明	國士館大学	88	2	67.68	103	108	111	111	111	111	111	1	123	123	123	123	123	123	230
6	恭歩 恭歩	中央大学	89	1	68.24	100	105	105	105	105	105	105	1	130	130	130	130	130	130	230
7	塚越 俊	日本体育大学	90	1	68.30	100	100	100	100	100	100	100	1	125	125	125	125	125	125	230
8	美鳥 純	日本体育大学	88	2	68.64	98	101	101	101	101	101	101	1	120	120	120	120	120	120	218
9	藤原 昌哉	日本体育大学	89	1	65.84	95	90	93	93	93	93	93	1	123	123	123	123	123	123	218
10	曳地 正任	日本体育大学	89	1	68.46	80	85	88	88	88	88	88	1	105	105	105	105	105	105	218
11	宇津木 慶志	日本体育大学	88	2	67.62	90	95	96	96	96	96	96	1	112	112	112	112	112	112	218
12	山口 譲	成蹊大学	90	1	67.66	93	105	105	105	105	105	105	1	115	115	115	115	115	115	218
13	深井 朝太	日本体育大学	90	1	68.54	95	95	95	95	95	95	95	1	112	112	112	112	112	112	218
14	長尾 翔	明治大学	89	2	68.72	75	75													

順位	姓 名	大学名	年 龄	体 重	ス ナ ッ チ			クリーン&ジャーベーク			ベ スト			
					1	2	3	1	2	3	S	順	C&J	順
1	白石 竜太	関西大学	90	1	74.30	123	130.68	136 ×	153 ×	153	—	130	1	283 or 255
2	金城 狂太	金沢学院大学	89	2	72.36	105	110 ×	110	140	145	148 ×	110	3	145 / 2
3	猪 大	大阪商業大学	89	1	72.24	105	110	113 ×	128	132 ×	132 ×	110	2	128 / 5
4	下原 玄太	日本体育大学	89	1	76.98	100	103 ×	103 ×	130	134	137 ×	100	7	134 / 3
5	今井 陽章	金沢学院大学	88	2	75.42	100	105 ×	105 ×	125	130	135 ×	100	6	130 / 4
6	大山 喬生	明治大学	88	2	75.88	100	105	110 ×	125 ×	125	131 ×	105	4	125 / 7
7	猪田 理志	平成国際大学	89	1	71.36	95	98	100	120	123 ×	123 ×	100	5	123 / 8
8	小林 直	日本体育大学	88	2	73.62	90	95	98 ×	120	125	127 ×	95	9	125 / 6
9	飯島 貴貴	國士館大学	89	1	75.54	95	95	98	120	124 ×	124 ×	98	10	120 / 9
10	新垣 勝彦	日本体育大学	88	2	76.50	95	100 ×	100 ×	120	125 ×	125 ×	95	10	120 / 10
11	林 弘	中京大学	89	1	73.50	88 ×	88	92 ×	107	112 ×	112 ×	88	11	107 / 11
12	今任 一彰	佛教大学	90	1	76.70	75	80	82 ×	100	105	110 ×	80	13	105 / 12
13	望月 優	慶應義塾大学	88	2	75.02	75 ×	75	80	95 ×	95	102	102	12	102 / 13

〔女子〕

卷二

94Kg

105V-級

1 大畠 昌士		金沢学院大学		90		1		104.50		110		115 ×		115		145		150		143 ×		145		156 ×		115		150		150		1		265			
2 木下 勝夫		京都産業大学		88		2		102.32		110		115		118 ×		118		140		143		145		145		145		145		145		145		2		260	
3 佐藤 穎介		早稲田大学		90		1		104.22		110		115		118 ×		140		145		145		150		150 ×		115		145		145		3		260			
4 前田 拓哉		法政大学		89		1		98.08		115		115		121 ×		130		135		140		140		140		140		140		5		255					
5 大平 幸作		日本大学		88		2		99.64		105		110		115		135		140		145		145 ×		115		140		6		255							
6 北川 翔太		京都産業大学		88		2		103.74		112		112		115 ×		140		146		146 ×		—		112		6		140		7		252					
7 竹内 贈祐		名古屋産業大学		89		1		98.90		102		107		107 ×		135		141		141 ×		141		141		141		141		4		243					
8 藤原真太朗		日本体育大学		89		1		97.22		95		100		105		130		135		135 ×		135		135		130		8		235							
9 木林 浩貴		平成国際大学		89		1		96.98		105		108		108 ×		120		123		125		105		105		125		10		230							
10 関根 広大		國士館大学		89		1		97.44		95		100		103		115		120		126		103		10		126		9		229							
11 太田 圭祐		大阪商業大学		90		1		102.62		105		107		107 ×		115		120		125 ×		107		7		120		12		227							
12 渡邊 文人		日本大学		89		1		103.14		100		105		105 ×		125		132		132		100		112		125		11		225							
13 渡邊 穎介		日本大学		89		1		102.28		91		96		101 ×		111		111 ×		114		114		114		114		116		113		202					
14 長谷川 榮一		松浦学園大学		89		2		102.14		75		80		84		95		100		103		103		14		187											

# 第26回全日本マスターズ選手権大会

●平成20年10月25日(Aクラス～Eクラス)・26日(Fクラス～Hクラス) ●江刺中央体育館(奥州市)

## 【男子】

### 56Kg級

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S 重 C.R.順	ベスト	トータル
					1	2	3	1	2	3			
A1 1	福島 勝三	千葉 法重会	38	66.30	62	66 x	67 x	80	84	86 x	62 1	84 1	146 146
A1 2	古賀 弘	長野 県立信濃高等学校柔道部会	37	67.70	56	60	63 x	71	76	80 x	62 2	76 3	136
A1 3	今野 浩男	北海道 北海道協会	37	66.04	55	60 x	60 x	80	85 x	55 3	80 2	135	
A2 1	佐々木 肇	富山 日本MWL研究会	33	67.16	55	57 x	57 x	70	72 x	55 1	70 1	125	
A2 2	中島 豊	東京 シャンハイヨガルージ	31	62.96	43	47	49	58	61	65 x	49 2	61 2	110
B 1	針木 雄二	東京 シャンハイヨガルージ	43	67.82	60	65	68 x	80	82	86	65 2	86 2	151
B 2	正広	島原野商店	41	68.46	67	69 x	69	78	82 x	82	69 1	82 2	151
B 3	杉野 敏哉	和歌山のまつや	39	65.82	50	53	53	70	73	76 x	53 3	73 3	126
C 1	足立 勝郎	埼玉 カシュー(株)	47	68.16	65	69	71	90	95	95 1	95 1	166	
C 2	竹村 信吾	埼玉 マジックハイカーブ	45	68.34	60	63 x	63	85 x	85	87	63 6	87 2	150
C 3	高橋 幸次郎	愛媛 知恵工大名電高校教諭	48	64.72	65	68 x	70 x	75	80 x	80	88 2	80 5	148
C 4	岡田 大輔	東京 兵庫大学	47	68.30	60	67	69 x	78	81	82 x	86	83 5	82 5
C 5	田島 俊信	島原野 金指	0	48	68.56	65	70 x	70	76	84 x	65 4	76 6	145
C 6	今野 金哉	東京 岩田WLクラブ	44	66.02	38	43 x	43	46 x	46	46	43 7	46 7	89
C 7	守屋 隆造	東京 警視庁巨警察署	50	68.24	75	80	83 x	95	100	100 x	80 1	100 1	180
D 1	森野 寛志	東京 森(株)みちのく松	53	68.60	72	75 x	75	95	100 x	100	100 x	100 2	175
D 2	出井 貢	東邦大 関東地区柔道連盟	49	67.98	72	77 x	77	92	95	97 x	77 2	95 3	172
D 3	村上 邦一	東京 岩川山丸	52	67.92	67	67 x	70	87	90	92 x	70 4	90 4	160
D 4	烟田 正博	徳島 岸キヨエイ	61	68.84	60	65 x	78	83	85	85 6	60 5	85 6	145
D 5	高倉 順人	島原 大曾根人	49	63.06	40	45 x	50 x	60	65	70	45 6	70 7	145
D 6	倉田 伸	宮城 佐藤整骨院	51	67.08	35	40	42 x	45	50	52	42 7	52 8	94
D 7	野口 勇吉	鳥取 勇久	50	68.80	70	70 x	73	90	95 x	—	90 5	—	—
D 8	大庭 敏郎	北海道 朝陵高等学校柔道部会	55	68.10	78	85 x	86	97	103 x	103	86 1	103 1	189
E 1	永村 春生	東京 町田WLクラブ	31	53.04	33	43 x	33 1	83 x	83 x	83	83 2	97 3	180
E 2	水谷 稔弘	鹿児島 優勝OBリフターズ	41	54.96	48	50 x	65	73 x	79	82	102 x	83 2	97 3
E 3	真下 翔	群馬 館林バーベルクラブ	40	55.56	35	40 x	45	50 x	65	70 x	102 x	98 2	—
C 1	鈴木 幸宏	静岡 岡山 自営	47	55.38	60 x	60	65 x	65 x	72 x	80	108 x	80 1	100 2
C 2	中島 則義	大分 田中WLクラブ	46	55.76	52	55 x	60	63 x	65 x	72 x	85	95 2	90 2
C 3	山田 良助	兵庫 田中WLクラブ	40	52.62	45 x	45 x	50	55 x	58 x	60 x	60 1	65 2	150
D 1	藤本 靖	大分 阪大附属立内小学校	49	55.82	60	64 x	65 x	70	75 x	76	136	—	—
D 2	豊田 康文	三重 重工業成(株)鈴鹿	49	52.76	47	50 x	52 x	63 x	65 x	71 x	115	—	—
D 3	田部井英明	群馬 山田製作所	52	55.72	45	50 x	50	55 x	60	65 x	115	—	—
E 1	牧野 青伸	青森 岡山 自営	58	55.38	70	78 x	78 x	90 x	93 x	103 x	163 163	—	—
E 2	新井谷泰夫	愛知 名古屋鉄道	54	52.94	50	55 x	60	60 x	65 x	70 x	130	—	—
G 1	原田 智弘	愛知 アイシン精機	67	54.92	45	50 x	52 x	65 x	70 x	70 x	117	—	—
H 1	佐久間勝喜	福島 せひ才株式会社	70	55.66	70	80 x	87	90	95 x	87 1	95 1	182	—

### 62Kg級

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S 重 C.R.順	ベスト	トータル
					1	2	3	1	2	3			
A1 1	平沼 孝喜	京都 多摩WL愛好会	37	60.66	43	45	47	58 x	58 x	62 x	47 2	62 1	109
A1 2	米田 久人	滋賀 賀賀郡立小学校	36	61.50	42	46	49	55 x	58 x	60 x	49 1	60 2	109
A1 3	若作 豊人	東京 多摩WL愛好会	37	61.26	40	45 x	50	55 x	57 x	61 x	57 3	97	—
A2 1	堀津 好大	分田 日田WLクラブ	33	60.58	30	34 x	34 x	35 x	38	40 x	38 1	98	—
B 1	川崎 荘	東京 東京ビデオ企画(株)	43	61.58	57	59	61	81 x	83 x	84 x	61 1	145 145	—
B 2	元山 功	東京 東京ビデオ企画(株)	42	61.10	56	59	61 x	71	74	76 x	80 x	80 1	140
B 3	池田 勝	東京 アクロスドリームズ	40	61.70	50	53 x	53 x	67	72 x	72 x	122	122	—
B 4	松崎 岩崎	東京 ラコフスードジャパン	41	61.52	43	48	50	60	65 x	65 x	120	120	—
B 5	岩崎 幸太郎	東京 ラコフスードジャパン	40	61.20	45	50	52	60	65 x	65 x	120	120	—
B 6	森山 年章	兵庫 丹波川	48	61.32	50	53 x	55 x	60 x	65 x	65 x	117	117	—
B 7	關野 武大	兵庫 沖縄	47	60.78	47	50	53 x	55 x	55 x	60 x	60 x	113	—
C 1	秒辻 忠雄	東京 田中WLクラブ	47	59.02	65	73 x	79 x	83 x	88 x	91 x	148 148	—	—
C 2	岡野 哲	東京 村田眼鏡	48	61.32	50	53 x	55 x	68 x	71 x	71 x	124	124	—
C 3	根本 和年	茨城 城自営	45	60.52	53	55 x	55 x	68 x	70 x	70 x	123	123	—
D 1	佐古 昭	宮城 宮城	57	61.52	70	75 x	80 x	80 x	80 x	80 x	109 109	109 109	191 191
D 2	泉 敏男	兵庫 尼崎ウエイトクラブ	49	61.52	70	73 x	75 x	86 x	90 x	95 x	105 105	105 105	187
D 3	村井 英次	兵庫 佐賀県立農業高等学校	53	62.00	65	70 x	78 x	88 x	90 x	95 x	105 105	105 105	147
E 1	大塚 真	東京 伊勢丹	57	61.72	70	75 x	80 x	90 x	95 x	105 x	107 107	107 107	191 191
E 2	河野 元彦	宮崎 宮崎	58	61.52	70	75 x	80 x	80 x	80 x	80 x	92 1	92 1	162
F 1	船野 昭記	岩手 手相鑑定士	62	61.22	75	80 x	80 x	96 x	101 x	101 x	181	181	—
F 2	藤崎 爰	愛知 トヨタ自動車	60	61.40	60	65 x	70 x	80 x	85 x	91 x	156 156	156 156	—
F 3	古賀 文士	愛知 トヨタ自動車	60	61.42	60	65 x	71 x	80 x	85 x	91 x	156 156	156 156	—
G 1	森下 良平	大阪 大阪市信用金庫	68	60.40	90	100 x	105 x	105 x	105 x	105 x	226 226	226 226	—

順位	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			S 重 C.R.順	ベスト	トータル
					1	2	3	1	2	3			
F 4	後藤 和義	東京 警視庁第八機動隊	63	74.42	60	65	66 x	73.80	60	65 x	85 85	85 85	155
F 5	内藤 重行	青森 岩手 地方公団	61	71.96	70	75 x	75 x	80 x	80 x	80 x	109 109	109 109	235
G 1	浅沼 伸	岩手 地方公団	64	76.16	98	103	109 x	120	126	131 x	109 1	109 1	219
G 2	堀内 一広	東京 警視庁第八機動隊	63	76.53	78	86 x	90 x	111 x	116 x	116 x	190	190	190
F 6	後藤 和義	秋田 田代	62	74.46	75	75 x	75 x	80 x	80 x	80 x	103 x	103 x	175
F 7	清水 重行	青森 岩手 地方公団	64	74.42	60	65	66 x	73.80	60	65 x	85 85	85 85	155
G 3	鶴見 利昭	秋田 田代	61	71.96	70	75 x	75 x	80 x	80 x	80 x	109 1	109 1	219
G 4	鶴見 利昭	秋田 田代	65	75.96	75	80 x	80 x	85 x	85 x	85 x	109 1	109 1	219
G 5	鶴見 利昭	秋田 田代	65	75.96	75	80 x	80 x	85 x	85 x	85 x	109 1	109 1	219
G 6	鶴見 利昭	秋田 田代	65	75.96	75	80 x	80 x	85 x	85 x	85 x	109 1	109 1	219
G 7	鶴見 利昭	秋田 田代	65	75.96	75	80 x	80 x	85 x	85 x	85 x	109 1	109 1	219
G 8	鶴見 利昭	秋田 田代	65	75.96	75	80 x	80 x	85 x	85 x	85 x	109 1	109 1	219
G 9	鶴見 利昭	秋田 田代											

【女子】

85Kg級		都道府 県名		年 所属		生 年 体重		スナッチ		クリーン&ジャマーク		ベスト		トータル			
順位	氏名	都道府 県名	年 所属	1	2	3	1	2	3	S C&J	トータル	1	2	3	スナッチ	クリーン&ジャマーク	ベスト
B 1 中村 勤	和歌山 <small>山田ウイリントン協会</small>	39	80.84	60	65 ×	65	70	75	80 ×	65 1	75 1	140					
C 1 渡辺 建治	大分 別府市立北部中学校	46	77.32	75	80 ×	82	85	88	90 ×	82 1	88 2	170					
C 2 中村 豊	三重 神鷹電機	46	77.98	67	72 ×	72	85	90	92 ×	72 2	90 1	162					
C 3 角掛 宣夫	岩手 岩手県VWL協会	44	80.98	45	55 ×	55	60	70	75	55 3	75 3	130					
D 1 三石 悅雄	千葉 葉栗八千代松塗高根焼	49	84.52	90 ×	90	105 ×	110	120	—	90 1	120 1	210					
D 2 工藤 秀人	岩手 横浜市スポーツセンター	53	80.76	78	83 ×	83	90	95	100 ×	83 2	100 2	183					
D 3 大沢 春彦	香川 青森Jrおいらせ	53	79.90	80	85 ×	85	90	95	103 ×	80 3	95 3	175					
D 4 増田 錦一	愛媛 暖取	50	83.14	72	75 ×	75	90	93	94 ×	72 4	94 5	166					
D 5 藤阪 光一	兵庫 <small>ゴルフアカデミー</small>	51	77.90	65	69 ×	69	90	94	95 ×	69 5	94 4	163					
D 6 小池龜太郎	和歌山 和歌山県警	52	78.26	60	65	70 ×	70	75	80 ×	65 6	80 6	140					
D 7 田村富美男	熊本 糸綴丘丘中学校	49	80.12	60	65 ×	65	80	85 ×	85 5	85 5	90 5	148					
D 8 渡辺 恵輔	鳥取 鳥取立米子養護学校	51	79.74	60	65 ×	65	75 ×	75	80 ×	60 7	75 8	135					
D 9 山内 隆史	愛知 名古屋鉄道	53	80.98	45	50	55	65	70	75	55 9	75 9	130					
E 1 出見 秋彦	青森 <small>株式会社東北</small>	54	84.62	75	80	82 ×	95	95 ×	100 ×	80 1	95 1	175					
E 2 北村 孝明	宮崎 都自衛隊医療病院	58	84.46	65 ×	65	68 ×	82	85 ×	85 ×	65 2	82 2	147					
F 1 佐々木敏彦	北海道 土別東高校(教)	62	83.88	95 ×	95	95 ×	95	115	120	125 ×	95 1	120 1	215				
F 2 横井 純	福岡 大阪大阪府警	61	79.14	80	85 ×	88	100	110	115	88 2	115 3	203					
F 3 加納 修	神奈川 <small>株式会社</small>	60	78.62	75	80	85 ×	110	120	123 ×	80 4	120 1	200					
F 4 渡辺 光弘	北海道 JR北海道	62	80.76	86 ×	87	—	103	108	111	87 3	111 4	198					
F 5 日吉田誠二	島根 <small>(有)金子石材店</small>	63	84.58	70	75	80 ×	90	95	100 ×	75 5	95 5	170					
G 1 田坂 美仁	愛媛 愛媛県立新居浜病院	67	80.04	90	100	111 <small>mm</small>	110	115	120 ×	111 1	115 1	226					
H 1 奏 邦一	愛知 知名古屋鉄道	73	83.60	100	102	111	116 ×	116 ×	102 1	111 1	111 1	213					
H 2 村尾 格	秋田 <small>大庭江原田中学校(教)</small>	70	82.16	85 ×	85 ×	85 ×	—	—	—	—	—	—					

94Kg級

B 1 大森 康廣		京都 都日本MWH研究会		40		88.74		60 ×		60		70		75		77 ×		60 1		75 1	
B 2 藤本 幸助	和歌山 <small>山田ウイリントン協会</small>	B 3 田中 尚	東京 <small>株式会社</small>	B 4 田中 一紀	東京 <small>東京WCR</small>	B 5 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 6 田中 亮	東京 <small>東京WCR</small>	B 7 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 8 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 9 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 10 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 11 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>	B 12 田中 翁	東京 <small>東京WCR</small>
B 1 吉井 孝彰	大阪 大阪	B 2 萩原 茂	東京 <small>株式会社</small>	B 3 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 4 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 5 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 6 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 7 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 8 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 9 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 10 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 11 田中 翁	秋田 <small>田中</small>
D 1 下板 養昭	大分 别府市立朝日小学校	D 2 川崎 寛	宮崎 和歌山和歌山縣立中学校	D 3 本間 幸洋	東京 第一三共(株)	D 4 浅井 幸洋	東京 北海道土別市立病院	D 5 本間 稔	大阪 大阪府警	D 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	D 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	D 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校
D 1 下板 養昭	大分 别府市立朝日小学校	D 2 川崎 寛	宮崎 和歌山和歌山縣立中学校	D 3 本間 幸洋	東京 第一三共(株)	D 4 浅井 幸洋	東京 北海道土別市立病院	D 5 本間 稔	大阪 大阪府警	D 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	D 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	D 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校
E 1 記井 亮	東京 <small>株式会社</small>	E 2 福垣 雅彦	東京 <small>株式会社</small>	E 3 本間 幸洋	東京 第一三共(株)	E 4 浅井 幸洋	東京 北海道土別市立病院	E 5 本間 稔	大阪 大阪府警	E 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	E 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	E 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校
F 1 阿久沢 保	群馬 馬鹿崎市役所	F 2 潟野 淑	福島 日立製粉(株)	F 3 本間 稔	東京 <small>株式会社</small>	F 4 浅井 幸洋	東京 鶴見明成高校	F 5 本間 稔	東京 <small>株式会社</small>	F 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	F 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	F 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校
H 1 潟野 淑	福島 日立製粉(株)	H 2 佐々木義英	青森 森原陽電機(株)	H 3 本間 幸洋	東京 <small>株式会社</small>	H 4 浅井 幸洋	東京 鶴見明成高校	H 5 本間 幸洋	東京 <small>株式会社</small>	H 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	H 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	H 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校

105Kg級

B 1 吉井 孝彰		大阪 大阪		40		96.98		50		55		60 ×		65		70 ×		55 1		65 1		120	
B 2 萩原 茂	東京 <small>株式会社</small>	B 3 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 4 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 5 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 6 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 7 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 8 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 9 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 10 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 11 田中 翁	秋田 <small>田中</small>	B 12 田中 翁	秋田 <small>田中</small>		
D 1 下板 養昭	大分 别府市立朝日小学校	D 2 川崎 寛	宮崎 和歌山和歌山縣立中学校	D 3 本間 幸洋	東京 第一三共(株)	D 4 浅井 幸洋	東京 北海道土別市立病院	D 5 本間 稔	大阪 大阪府警	D 6 福垣 雅彦	大阪 大阪府警	D 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	D 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	D 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校		
E 1 記井 亮	東京 <small>株式会社</small>	E 2 福垣 雅彦	東京 <small>株式会社</small>	E 3 本間 幸洋	東京 第一三共(株)	E 4 浅井 幸洋	東京 北海道土別市立病院	E 5 本間 稔	大阪 大阪府警	E 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	E 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	E 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	E 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校		
F 1 阿久沢 保	群馬 馬鹿崎市役所	F 2 潟野 淑	福島 日立製粉(株)	F 3 本間 幸洋	東京 <small>株式会社</small>	F 4 浅井 幸洋	東京 鶴見明成高校	F 5 本間 稔	東京 <small>株式会社</small>	F 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	F 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	F 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	F 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校		
H 1 潟野 淑	福島 日立製粉(株)	H 2 佐々木義英	青森 森原陽電機(株)	H 3 本間 幸洋	東京 <small>株式会社</small>	H 4 浅井 幸洋	東京 鶴見明成高校	H 5 本間 幸洋	東京 <small>株式会社</small>	H 6 福田 雅彦	大阪 大阪府警	H 7 福司 福	東京 鶴見明成高校	H 8 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 9 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 10 佐々木義英	東京 鶴見明成高校	H 11 佐々木義英	東京 鶴見明成高校		

105Kg級

E 1 大川 克弘		大阪 大阪府警		55		108.36		100		110		120 ×		130		—		—		110 1		130 1		240	
-----------	--	---------	--	----	--	--------	--	-----	--	-----	--	-------	--	-----	--	---	--	---	--	-------	--	-------	--	-----	--

## 2008年インターナショナルフルレジットジャパン

●平成20年11月1日「男子56kg級～77kg級・女子48kg級～63kg級・女子65kg級～+75kg級」2日「男子85kg級・女子65kg級～+105kg級・女子65kg級～+75kg級」

●ニューグリーンピア津南(津南町)

### 【男子】

#### 56kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	CHEN Meilong	CHN	93	55.94	105	110	112	126	130	133	112	133	1	1	175
2	王琥 成一	JPN	89	55.88	93	96	98	123	127	130	98	2	130	2	200

#### 62kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	LEE Chang-Ho	KOR	87	61.86	110	113	116	145	150	152	116	1	152	1	268
2	才田 吉弘	JPN	86	61.82	107	112	115	137	142	x	142	x	115	2	252

#### 69kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	CHEN Hongqiang	CHN	89	64.97	115	125	130	160	165	x	170	x	170	1	300
2	ZHOU Wei	CHN	87	68.50	127	130	132	163	165	x	165	x	132	1	295
3	LEE Se-Min	KOR	85	68.69	125	130	132	x	146	x	153	x	130	3	283
4	五百萬正和	JPN	85	65.05	120	125	x	125	150	x	154	x	125	4	279

#### 77kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	YANG Xianrong	CHN	78	75.86	140	145	147	175	183	x	190	x	147	1	330
2	KIM Kwang-Hoon	KOR	82	76.75	141	x	141	146	173	x	190	x	146	2	319
3	本間 智也	JPN	86	75.12	120	125	127	150	155	x	160	x	127	3	287

#### 85kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	ZHANG Yinqi	CHN	89	83.59	136	x	136	140	170	175	180	x	140	1	320
2	ZOU Jianping	CHN	86	82.02	135	x	135	140	x	170	175	x	135	2	310
3	金原 勇	JPN	86	83.85	130	135	x	135	160	x	165	x	135	3	300

#### 94kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	KIM Seon-Jong	KOR	86	92.45	140	142	145	170	175	180	x	140	1	325	
2	LEE Kang-Saok	KOR	76	90.18	136	141	143	x	170	180	x	141	2	321	
3	高橋 一馬	JPN	86	89.74	130	135	x	135	150	x	160	x	130	3	280

#### 105kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	LI Hongcheng	CHN	87	99.14	145	x	150	155	190	x	197	x	205	1	360
2	KO Hyung-Guk	KOR	83	104.35	140	x	145	x	146	x	170	x	185	2	331
3	福柳 佑耶	JPN	86	104.32	135	x	135	140	x	170	181	x	135	4	316
4	SONG Jong-Shik	KOR	76	94.63	130	135	x	140	x	140	x	—	135	3	275

#### +105kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	YUN Suk-Tae	KOR	80	106.56	150	155	161	180	187	x	192	x	161	1	353
2	YU Yang	CHN	91	126.34	150	155	161	180	187	x	192	x	161	2	353
3	関谷 圭介	JPN	82	128.05	145	x	145	150	x	180	185	x	145	3	325

### 【女子】

#### 48kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	HUANG Suli	CHN	90	47.88	70	x	70	75	90	95	100	x	75	1	175
2	中部 有理	JPN	87	47.75	63	66	x	83	86	88	x	66	2	152	
3	SUNG Go-En	KOR	89	47.77	55	60	—	70	73	75	—	60	4	135	

#### 53kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	LIN Huijing	CHN	91	52.83	80	85	90	93	105	110	110	x	90	1	200
2	IM Jyoung-Hwa	KOR	86	52.60	75	80	83	90	95	101	101	x	83	2	184
3	鎌谷 純子	JPN	88	52.91	68	70	72	83	86	90	92	x	88	3	180

#### 58kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	HUANG Binying	CHN	89	57.80	85	90	95	x	115	120	120	x	90	1	205
2	稻谷 春菜	JPN	89	56.49	75	78	88	90	92	92	92	x	92	2	170

#### 63kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	LIU Yuan	CHN	87	62.17	85	90	93	115	118	x	118	x	93	1	211
2	KIM Soo-Kyung	KOR	85	62.19	80	87	91	x	105	110	116	x	87	2	203
3	栗子绘里菜	JPN	88	62.60	74	76	79	x	94	97	100	x	92	3	173

#### 69kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト
1	CHEN Yimei	CHN	91	63.21	85	90	96	115	120	125	125	x	96	1	221
2	HWANG Pu-Lum	KOR	87	68.46	85	90	95	110	118	121	121	x	95	2	216
3	谷 繁野	JPN	87	68.83	85	89	92	NF	110	114	119	x	92	3	206

#### 75kg級

順位	氏名	国名	年	体重	ス	ナ	ツ	チ	ス	ナ	ツ	チ	クリーン&ジャーク	クリーン&ジャーク	ベスト</th

# 内閣総理大臣杯 第45回全日本社会人選手権大会

平成20年11月22日[56kg級～69kg級]・23日[71kg級～94kg級]・24日[105kg級]

新潟県県地場産業振興センター メセピア・多目的大ホール(三条市)

## 56kg級

順位	氏名	県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	
				1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	越智 一平	埼玉 玉置	自衛隊体育学校	84	55.98	104	107 CR	128	133 x	133	134 x	104	125	130	133 x	124
2	野崎悠一郎	東京 警視庁	自衛隊体育学校	81	55.76	100	100 x	100	125 x	125	130 x	110	117	120	155 x	127
3	清水 洋平	山梨 中央大学(職)	自衛隊体育学校	85	55.80	100	104	107 x	125	130	134 x	104	120	120	155 x	127
4	大田 真志	山岡 岡山	山手一ムチモチ	82	55.74	90	93 x	93	115 x	120	120 x	90	98	120	105 x	127
5	木下 康廣	鶴見 堺	若獅子堺	79	55.54	90	90	93	105	110	115 x	93	115	115	105 x	127
6	小林 拓郎	山形 形	若獅子猿	83	55.54	90	90	93	110	110 x	110	115	90	110	110	105 x
7	外川 研輔	新潟 新潟	若獅子猿	84	55.46	85	90	92	100	106	111 x	90	106	8	196	127
8	宇良 駿	埼玉 富士	自衛隊体育学校	88	56.00	75	78	81	105	110	115 x	81	111	115	6	196
9	奥野 遼矢	山梨 山	(株)太陽スポーツ	84	54.34	84	88 x	90	105	110 x	111 x	90	5	105	9	195
10	高橋 健太	宮城 東洋工芸工業(株)	自衛隊体育学校	84	55.52	80	84 x	86	101 x	101	110 x	66	9	101	111	187
11	吉崎 雅司	山形 富山	(有)ワーテル	79	55.82	80	83	85 x	100 x	100	101 x	83	10	101	12	184
12	青藤 柏樹	群馬 馬	あかぎクラブ	84	55.40	68	72	73	95	95	98	80	12	98	13	178
13	伊藤 徹	福島 公一	愛知 知	トヨタ自動車(株)A	75	55.60	75	80	83 x	91	95	73	14	95	14	168
14	杉浦 公一	山形 仙台	わかつら	89	54.28	65	70	73	85	90	95	73	14	95	15	135
15	水野 次郎	福島 早	イビデン	88	52.58	55	60	65 x	70	75	80 x	60	15	75	15	161
16	鈴木 幸宏	群馬 幸宏	愛媛 一宮ダルーナ	47	55.10	60	60 x	60	65	70	71	—	71	16	—	—

## 62kg級

順位	氏名	県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	スナッチ	クリーン&ジャーナーク	
				1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	堀川 康信	埼玉 馬	あかぎクラブ	80	60.28	110 x	116	140	145	150	116	1	150	1	266	
2	山田 政博	群馬 東京	警察署	80	58.14	100	105	108 x	140	149	151 x	105	4	149	2	254
3	松藤 稔	茨城 夏樹	島(株)エストロジステイクス	81	61.56	105	108	110	133 x	133 x	133 x	110	2	133	3	243
4	杉内 小野	福島 刑事	知トヨタ自動車(株)A	78	61.30	95	100	102	117	125	125 x	102	5	125	2	234
5	森下 隆久	大平 大阪	大阪市信用金庫	68	60.90	95 x	95	100	110	118	121	100	6	125	5	234
6	藤巻 美里	仁川 岩手	川チームクラブ	83	61.32	83	86	89	105	108	111 x	89	111	108	12	197
7	森田 伸也	和也 山形	川チーム石川	81	60.44	85	90	95	110	118	125 x	95	9	118	9	178
8	高澤 和也	山形 仙台	若獅子鬼	86	61.20	92	95	97 x	118	125 x	95	9	118	10	213	
9	原 順久	東京 馬	あかぎクラブ	62	61.02	85	90	93	107	112	115 x	93	10	115	11	208
10	栗山 要典	東京 岩手	川チームクラブ	83	61.32	83	86	89	105	108	111 x	89	111	108	12	197
11	栗山 美里	東京 岩手	川チームクラブ	83	61.30	77	81	83	85	90	95 x	83	10	95	14	178
12	栗山 美里	東京 岩手	川チームクラブ	83	61.30	77	81	83	85	90	95 x	83	10	95	14	178
13	奥田 健太	東京 爽太郎	若獅子鬼	85	60.02	72	76 x	76	93	96	100	76	14	100	13	176
14	高橋 竜介	山形 馬	わかつら	76	58.96	75	80	85 x	80	90	93 x	80	13	93	15	173
15	小栗 静介	岡山 関	わかつら	76	60.60	70	75	80 x	85	90 x	90 x	75	15	85	16	160
16	林 竜太郎	富山 関	新潟医療技術専門学校	89	61.88	70	70 x	70	85	90 x	90 x	70	16	85	17	155
17	間中 英和	福井 木	昭和電工(株)	68	61.62	65	68	70 x	85 x	85 x	85 x	68	17	—	—	—
18	橋本 星土	愛媛 一宮ダルーナ	木	81	61.36	105 x	105 x	108 x	118 x	125 x	125 x	6	—	—	—	—

## 69kg級

順位	氏名	県名	所属	生年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーナーク									
				1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	五百萬正和	大阪	大阪市信用金庫	85	65.06	122	x	122	127	120	120	120	120	127	120	277
2	上地 克彦	埼玉 玉置	自衛隊体育学校	86	67.72	113	117	120	120	125	125	120	125	125	125	275
3	近藤 伸次	川崎 知	トヨタ自動車(株)A	83	67.30	105	110	115	115	145	145	150	150	151	151	266
4	今村 俊範	福井 みやこ	トヨタ自動車(株)A	80	68.38	110	115	115	115	140	140	140	140	140	140	250
5	岩岡 賢史	鳥取 鳥島	トヨタ自動車(株)A	81	68.14	120	125	128	128	134	134	130	130	133	130	232
6	岩谷 駒	福井 静	トヨタ自動車(株)A	84	68.72	105	110	113 x	135	140 x	140	140	140	140	140	226
7	竹田 勝	奈良 鳥居	トヨタ自動車(株)A	65	68.76	100	105	110 x	126	130 x	130	133	130	133	130	235
8	桐原 洋	山梨 愛	トヨタ自動車(株)A	78	68.64	100	105 x	105 x	105 x	125	125	120	120	125	120	225
9	平 黒江	島根 岩瀬	トヨタ自動車(株)A	81	68.74	95	100	100	100	100	100	100	100	100	100	232
10	黒川 駒	福井 福井	トヨタ自動車(株)A	85	66.26	80	90	90	90	100	100	100	100	100	100	232
11	鈴木 駒	福井 福井	トヨタ自動車(株)A	84	68.30	100 x	100 x	100 x	100 x	100	100	100	100	100	100	232
12	大矢 功二	奈良 垣	トヨタ自動車(株)A	77	68.50	86	95	95	95	115	120	125	125	125	125	220
13	桐原 洋	山梨 梨	アストリースポーツクラブ	73	68.92	100	105 x	105 x	105 x	115	120	123	123	123	123	220
14	杉野 勝	山梨 愛	アストリースポーツクラブ	88	64.80	100	105 x	105 x	105 x	115	120	125	125	125	125	215
15	保後 一郎	京都 梅	アストリースポーツクラブ	74	68.00	83	93	93	93	105	110	115	115	115	115	203
16	隆裕 一郎	京都 梅	アストリースポーツクラブ	75	64.42	85 x	85	85	85	95	100	105	105	105	105	195
17	鶴田 駒	東京 藤原	アストリースポーツクラブ	84	67.78	125	125	125	125	130	130	130	130	130	130	203
18	忠安 伸一	東京 梅	アストリースポーツクラブ	84	67.16	115	120	125	125	130	130	130	130	130	130	203
19	仲程 和則	東京 梅	アストリースポーツクラブ	84	76.58	110	115	117	117	145	150	154	154	154	154	203
20	齋藤 和	東京 梅	アストリースポーツクラブ	85	74.72	115	120	123	123	135	140	147	147	147	147	203
21	盛田 駒	東京 岩瀬	アストリースポーツクラブ	82	75.66	120	125 x	127	127	140	140	148	148	148	148	203
22	片岡 正憲	東京 岩瀬	アストリースポーツクラブ	81	76.10	110 x	110 x	110 x	110 x	120	120	146	146	146	146	203
23	加賀美孝	東京 岩瀬	アストリースポーツクラブ	73	75.94	110	115 x	115 x	115 x	115 x	135	140	143 x	143 x	143 x	143 x
24	小林 勇	東京 宮城	アストリースポーツクラブ	80	74.54	105	110	115	115	130	130	135 x	135 x	135 x	135 x	203
25	新井 和哉	富山 富山	アストリースポーツクラブ	81	75.18	105	110	112 x	125	130	130	133 x	133 x	133 x	133 x	203
26	田原 勝	東京 富山	アストリースポーツクラブ	80	70.44	95	105	110 x								

# 総合成績一覧表

順位	氏名	所属	年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーブ			ペストル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
1 吉岡 拓司	埼玉 自衛隊体育学校	84 84.64	147	156 ×	170	178	184 ×	147	1	178	1	325		
2 高橋 基	長崎 球蹴早翠クラブ	84 84.82	131 ×	133 ×	164	172 ×	172 ×	133	3	164	2	297		
3 大曾川 亮	山梨 かいじクラブ	79 84.90	125	132	136	150	160	165 ×	136	2	160	4	296	
4 畠山 章	京都 都民みやこクラブ	70 84.38	116	121	125 ×	151	156	161 ×	121	4	156	5	277	
5 知念 良(財)奈良県体育協会	89 84.22	110	115	120 ×	150	155	160	115	7	160	3	275		
6 水口 達也	石川 チーム石川	78 78.20	110	115	120 ×	140	145	150	115	6	150	6	265	
7 小畑 勉	東京警察庁	77 84.88	105	110 ×	110	130	133	135 ×	110	8	133	11	243	
8 鈴木 喜明	愛知 瑞芳クラブ	89 79.24	100	105	108 ×	130	130	134	105	9	134	9	239	
9 荒川 正博	栃木 小山クラブ	76 81.92	95	100	105 ×	130	136	140 ×	100	15	136	8	236	
10 千野 健一	石川 チーム石川	82 82.64	100	105	108 ×	125	130	131	105	10	131	12	236	
11 菊田 健一	石川 梨アスリースポーツクラブ	84 83.18	100	105 ×	105	131	134	—	100	16	134	10	234	
12 古屋 昇平	山梨 三豊自工車島	88 82.26	98	102 ×	102	125	128	130	102	11	130	14	232	
13 高松 義幸	北海道 北海道はまなすクラブ	69 81.66	95	100	105 ×	125	130	133 ×	100	14	130	13	230	
14 大留 早乙女	栃木 小山クラブ	81 81.18	95	101	107 ×	125	131 ×	—	101	12	125	15	226	
15 朝木北九生	北海道 北海道はまなすクラブ	89 83.88	95	101	106 ×	120	125 ×	125 ×	101	13	120	17	221	
16 朝木敦志	茨城 三豊自工車島	89 84.36	95	90	95 ×	115	120	125	95	21	125	16	220	
17 横野 勝展	山梨 トヨタ自動車(株)	73 82.50	95	100 ×	102	111	115	117	95	18	117	18	212	
18 稲葉 邦一	愛知 名古屋鉄道(株)	63 82.88	90	95 ×	95	110	115 ×	116	95	20	116	19	211	
19 鈴木北九生	東京警察庁	62 83.04	80	90	96 ×	105	115	120 ×	96	17	115	21	211	
20 佐々木敏彦	北海道 北海道はまなすクラブ	87 81.66	85 ×	85	90	105	110	112	90	22	112	22	202	
21 西脇 健二	岐阜 犬山イビデン	84 82.78	90	95	98 ×	105	110 ×	115 ×	95	19	105	24	200	
22 清辺 浩	新潟 新潟湯ヶ原	86 83.06	80	85	90 ×	110	120 ×	120 ×	85	23	110	23	195	
23 山谷 豊	新潟 岩村尾扶建	72 79.30	90 ×	90	90 ×	115	120 ×	120 ×	—	115	20	—	—	

順位	氏名	所属	年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーブ			ペストル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
1 小笠原伸吾	山梨 かいじクラブ	84 91.34	130	140	—	160	170 ×	—	140	1	160	1	300	
2 古谷 勇	山梨 かいじクラブ	77 89.38	120 ×	120	125	150 ×	150 ×	—	125	2	150	2	275	
3 弓山 翔	自衛隊体育学校	78 88.76	110	115	115	120	141	148	120	5	148	3	268	
4 猪野 菩	愛知 瑞芳クラブ	72 93.16	110	115	121	140	145 ×	147	121	3	140	5	261	
5 黒田 康裕	東京警察庁	86 92.52	105	110	113	135	140 ×	143	113	6	143	4	256	
6 太田 広之	山梨 アスリースポーツクラブ	80 87.18	120 ×	120	130	135 ×	135 ×	—	120	4	135	6	255	
7 青木 孝介	神奈川 入船	83 88.48	102	107 ×	107	125	130	135 ×	107	7	130	7	237	
8 小瀬 和哉	宮城 (株)ケービン	87 90.80	100	105 ×	105 ×	130 ×	130	138 ×	100	8	130	8	230	
9 佐々木 伸々	宮城 (株)ケービン	89 96.62	75 ×	75	80 ×	95	100 ×	105 ×	75	9	95	9	170	

## 105kg級

順位	氏名	所属	年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーブ			ペストル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
1 渡辺 勇人	山梨 かいじクラブ	84 102.72	130	135	140 ×	165	176	188 ×	135	1	176	1	311	
2 吉岡 史生	山梨 木戸清	78 104.54	130	135	140 ×	150	155	—	135	2	155	4	290	
3 岩谷 明	福井 岩谷	83 101.86	110	115	120 ×	123	147	163	115	5	165	2	280	
4 佐藤 章人	山形 若狭獅子堆	83 103.76	115	120	123	140 ×	147 ×	143	123	3	157	3	280	
5 満川 正也	長崎 瑞芳クラブ	85 95.30	110	115	120 ×	120	147 ×	147 ×	115	4	140	5	255	
6 佐藤 周樹	宮城 (株)ケービン	85 98.80	106 ×	106	111	136	140 ×	145 ×	111	6	140	6	251	
7 杉本 広祐	新潟 湯ヶ原	79 104.93	105	110	110	120	135	142 ×	110	9	140	7	250	
8 滝野 裕司	福島 福島明成高校(職)	64 104.52	110	120 ×	100	121	130	135	110	8	135	8	245	
9 滝野 裕司	新潟 湯ヶ原	74 124.60	105	110	115	140	145	150	115	6	150	7	265	
10 中村 克	愛知 トヨタ自動車(株)	67 98.74	75	80	85	95	100	103 ×	85	10	100	9	185	

## +105kg級

順位	氏名	所属	年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーブ			ペストル			
					1	2	3	1	2	3	S	C&J	順位	
1 清田 浩介	石川 チーム石川	70 116.05	156	160	165	170	185	190	165	1	190	1	355	
2 關谷 圭介	新潟 新潟湯ヶ原	82 129.60	140	145 ×	175	180	187	140	2	187	2	327		
3 天野 满	山梨 かいじクラブ	81 131.50	130 ×	130	140	176	181	186	140	3	186	3	326	
4 佐藤 英二	東京警察庁	72 105.20	125	130 ×	130	150 ×	155	160	125	4	160	4	285	
5 水野 慶一	静岡 岡田わかつクラブ	88 123.85	120	125 ×	150	155 ×	155	160 ×	120	5	155	5	275	
6 佐藤 哲	福井 木戸清	86 150.00	105	110	113	145	150	153	113	7	153	7	266	
7 佐藤 延明	木戸昭和電工(株)	74 124.60	105	110	115	140	145	150	115	6	150	7	265	
8 佐藤 正人	三重 四日市工業高校(職)	69 117.60	100	105 ×	105	135 ×	135	140	100	8	140	8	240	
9 倭原 三重	市川 聰智	81 126.60	95	100	110 ×	120	130 ×	130	100	9	130	9	230	

## 最優秀選手賞

56kg級 越智 一平 埼玉県 自衛隊体育学校

## 部門

1:地元スポーツクラブチーム 2:官公庁等チーム 3:企業チーム

## 最優秀選手賞

56kg級 越智 一平 埼玉県 自衛隊体育学校

## 部門

1:地元スポーツクラブチーム 2:官公庁等チーム 3:企業チーム

得点 1位:17点・2位:15点・3位:14点………16位1点

順位 1位:19点・2位:13点・3位:10点

## 最優秀選手賞

56kg級 越智 一平 埼玉県 自衛隊体育学校

## 部門

1:地元スポーツクラブチーム 2:官公庁等チーム 3:企業チーム

## 最優秀選手賞

56kg級 越智 一平 埼玉県 自衛隊体育学校

## 部門

1:地元スポーツクラブチーム 2:官公庁等チーム 3:企業チーム

トキめき新潟国体記念杯女子競技会

平成20年11月22日[48kg級～53kg級]・23日[58kg級～69kg級]・24日[75kg級～75kg級]  
新潟県上越市保善館や、タムヤビル・多目的ホール（三条市）

[一編の部]

53Kg級		都道府 県名	所属	生年	学年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ベント ス	最終 順位
順位	氏名						1	2	3	
1	金城 尚乃	埼玉	自衛隊体育学校	87	52.42	70 ×	70	73 ×	91	98 ×
2	松宮虹美恵	埼玉	自衛隊体育学校	79	51.44	54	58	63	88	93 ×
3	松宮虹美恵	埼玉	名古屋立命館大学	83	52.36	52	54	56 ×	63	68 ×
4	水野 隆佳	北海道	日本体育大学	88.2	52.22	50	53 ×	53 ×	65	68 ×

58Kg

63KE級		64KE級		65KE級		66KE級		67KE級		68KE級	
1 森本 茂樹	千葉	日本農林大學	86	57.78	75	78	80 ×	95	98	101	78
2 素川泰美子	京都	金沢文庫大学	87	3	57.86	68	71 ×	71	91	94	71
3 守 美穂子	福岡	日本体育大学	86	4	56.98	70	72	75 ×	88	91	72
4 吉田 香江	岐阜	可児市役所	80	54.90	57	62	65	70 ×	70	75 ×	65
滋賀県立農業大学		五個荘體育学校		83	61.58	83	87	90	105	110	113 ×
滋賀県立農業大学		五個荘體育学校		86	4	61.00	70	74	77	88	92 ×
滋賀県立農業大学		五個荘體育学校		86	4	61.00	70	74	77	88	92 ×
滋賀県立農業大学		五個荘體育学校		86	4	61.00	70	74	77	88	92 ×

60V 6A

1	森田	裕子	石川	明北國銀行	85	67.60	65	70	75	85	90	92	75	1	92	2	167	
2	原	京子	和歌山	日本体育大学	86	4	66.34	65	68	70	87	91	93	70	3	93	1	163
3	堂本	豈由	島根	金沢学院大学	86	4	63.90	72	74	76	83	87	90	74	2	87	3	161
4	児玉	優子	新潟	金沢学院大学	88	2	65.10	65	68	70	77	81	84	69	4	84	4	152
<b>75Kg級</b>																		
1	横木	博美	石川	金沢学院大学	89	1	73.26	71	74	77	93	98	103	77	1	103	1	180

卷之三

## 【高校の部】

53Kg級

1	堀内 隆	京都市立加悦谷高校	92.1	52.62	60	62	63	67	69 ×	69	63.1	69.2	132
2	渡辺美奈子	岡山市立倉敷工業高校	90.3	51.06	52	54	56 ×	68	71 ×	75 ×	54.4	71.1	125
3	宮城 繩	沖縄市立水産高校	90.3	52.60	55	57	58 ×	65	67 ×	68	57.2	68.3	125
4	牧野 菜摘	山梨県立山梨商業高校	90.3	52.00	52	52	54 ×	62	64	67	52.6	67.4	119
5	高橋理衣香	岐阜県立農業高校	90.3	52.54	50	52	55	62	64	66 ×	65.3	64.6	119
6	三浦明衣香	岐阜県立土岐商業高校	90.3	51.00	48	50 ×	50	63	65	69 ×	50.7	65.5	115
7	岡本 梢	岐阜県立農業高校	92.2	51.68	52	52	55 ×	60	62 ×	62	52.5	62.7	114
8	石丸 飛鳥	岐阜県立土岐商業高校	90.3	51.44	48	48	50	57	59	61 ×	50.8	59.8	109

58Kg級

1 谷口	七毛	富山	滑川高校	91 2	55.94	62	65	67	80	82	85	1	152
2 松本	瀬	葉	松戸戸国際高校	92 2	57.50	65	68	70	78	80	80	1	146
3 官野	千	島	福島県明成高校	91 3	56.28	60	63	65	70	74	76	3	139
4 寺岡	由佳	島	福島県磐梯石城西高校	90 3	56.90	58	60	62	74	77	79	2	139
5 高岸	百合子	兵	福島県磐梯高校	91 2	57.00	60	62	64	70	73	75	7	139
6 渡波	万洋	兵	福島県磐梯高校	90 3	55.62	57	60	63	73	76	76	4	136
7 足立	明日香	兵	福島県磐梯谷高校	91 2	55.60	60	62	62	75	79	79	6	135
8 宮川	夏絵	京	都加悦谷高校	91 2	55.60	55	58	60	75	75	79	6	135
9 和田	尚子	京	都加悦谷高校	91 3	56.96	58	60	62	68	71	73	5	133
10 下村	眞智子	熊	阜士坂商業高校	92 2	56.00	55	57	58	70	73	73	11	128
11 今津	理緒	京	本郷西高校	92 1	56.00	55	58	60	70	70	74	8	128
12 富城	里穂	京	馬利羽高高校	91 3	54.84	50	53	55	65	75	76	12	125
13 富城	里穂	沖	豊原城高校	91 2	54.84	50	53	55	65	68	71	13	121

# 文部科学大臣杯 第54回全日本大学対抗選手権大会

●一部校 平成20年11月30日[56Kg級~59Kg級]・12月1日[77Kg級~+105Kg級] ●懸賞スボーツセンター(横浜市) ●羽曳野総合スポーツセンター

## 【一部校】

56Kg級		
順位	氏名	大学名
年	生	学
年	年	年
体重	体重	体重
1 安永 和詩	法政大学	89 2 55.94
2 江本 麟伸	大阪商業大学	88 3 55.92
3 玉城 成一	日本大学	89 2 55.86
4 長谷川直也	中央大学	87 3 55.84
5 横木 路	名古屋産業大学	87 4 55.30
6 東門 翔将	法政大学	89 1 56.00
7 坂 真泰	名古屋産業大学	88 2 55.76
8 村松 敦大	金沢学院大学	89 1 55.82
9 永井 裕太	福岡大学	88 3 55.62
10 国本 友貴	福岡大学	87 3 55.54

62Kg級		
順位	氏名	大学名
年	生	学
年	年	年
体重	体重	体重
1 才田 言弘	日本大学	86 4 61.68
2 中山 謙介	法政大学	87 4 61.48
3 黒江 健治	福岡大学	88 3 61.28
4 中村 友生	九州国際大学	87 4 61.70
5 田中翔太郎	福岡大学	87 3 61.84
6 前田 栄平	金沢学院大学	89 2 61.46
7 得永 孝雄	大阪商業大学	88 3 61.52
8 山本 健勝	大阪商業大学	88 2 61.62
9 辛島 大輝	福岡大学	88 2 61.66
10 武市 航	明治大学	90 1 60.22

69Kg級		
順位	氏名	大学名
年	生	学
年	年	年
体重	体重	体重
1 武井謙一郎	早稲田大学	90 1 68.16
2 高木 悠介	早稲田大学	87 4 68.20
3 三谷 洋平	金沢学院大学	87 3 68.56
4 浜田 健太	中央大学	87 3 68.86
5 平塚 啓希	法政大学	88 2 64.14
6 加藤 啓希	明治大学	89 1 66.70
7 下原 玄大	大阪商業大学	89 1 68.80
8 森松 孝徳	大阪商業大学	87 3 68.92
9 古賀 翔太	名古屋産業大学	90 1 65.74
10 三田和真	中央大学	69 2 68.62
11 美島 純	明治大学	90 1 68.14
12 鳥羽 武司	福岡大学	87 4 67.52
13 柳原 大地	福岡大学	86 4 67.50

77Kg級		
順位	氏名	大学名
年	生	学
年	年	年
体重	体重	体重
1 久保山 堅	中央大学	86 4 74.88
2 久保山 堅	九州国際大学	86 4 75.68
3 桑原 健祐	名古屋産業大学	86 4 76.44
4 沖中 優樹	日本大学	87 3 76.30
5 谷崎 正尚	明治大学	87 3 76.50
6 杉 久志	日本大学	86 4 75.92
7 松本 光司	福岡大学	87 3 76.06
8 山岡 雄大	名古屋産業大学	87 3 76.26
9 丹崎 豊	大阪商業大学	87 4 75.08

## 85Kg級

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 菅野 和利	早稲田大学	86 4	84.95	123	126	130	125	125 ×
2 土谷 浩二	早稲田大学	87 3	83.05	126	129	131	126 ×	162
4 阿部 知則	明治大学	86 4	82.20	125	128	131	129 ×	156
6 橋本 鑑征	法政大学	86 4	83.90	118	118	121	121	155
11 山田 哲也	九州国際大学	86 4	82.82	125	125	130	125 ×	145
4 小山 修平	福岡大学	86 4	83.42	112	116	119	141 ×	143
5 小川 裕慈	名古屋産業大学	88 2	84.50	110	113	114	141 ×	144
9 金原 勇	九州国際大学	86 4	84.05	130	130	160	160 ×	130
8 川畠 義大	金沢学院大学	87 3	83.68	115	120	120	155 ×	155

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 河原 祐輔	金沢学院大学	89 2	92.98	138	138	139	165	169
2 里 真樹	九州国際大学	86 4	93.34	127	127	132	167	172
3 蓬田 智志	中央大学	86 4	92.88	131	134	138	162	173
4 衛藤 靖弘	日本大学	88 2	93.70	130	133	133	160	163
5 平原 孝人	早稲田大学	89 2	87.30	125	130	133	156	161
6 遠藤 裕輝	九州国際大学	87 3	86.06	126	126	126	160	162
7 大山 主一	早稲田大学	87 4	89.90	115	120	124	162	164
8 大城 裕之	日本大学	86 4	93.24	120	124	126	160	160
9 安森 浩二	法政大学	87 3	88.34	125	127	127	156	156
10 坂 真幸	名古屋産業大学	86 4	93.38	115	118	121	146	151
11 松原 寛佳	大阪商業大学	88 2	93.34	115	115	115	145	153

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 福嶺 佑輔	九州国際大学	86 3	104.46	135	140	141	180	183
2 小林 弘幸	中央大学	87 4	104.66	131	136	140	171	177
3 丹伊田裕真	明治大学	86 4	102.22	131	131	131	176	180
4 二羽 泰一	日本大学	88 3	104.80	132	137	141	166	166
5 山崎 直希	金沢学院大学	87 4	97.14	125	128	128	168	168
6 富平 雅士	教平	87 3	99.30	130	130	160	167	167
7 深沢健志郎	法政大学	89 1	108.45	120	125	129	165	165
8 木城 悠介	早稲田大学	89 2	104.16	115	121	126	165	165
9 川田裕起雄	福岡大学	86 4	102.08	125	129	131	156	156

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 太田 和臣	九州国際大学	66 4	146.10	160	165	192	200	205
2 小松 翔	金沢学院大学	86 4	120.00	135	135	145	180	190
3 吉条 啓二	明治大学	86 4	133.65	146	160	180	185	185
4 浦田 章弘	大阪商業大学	87 4	126.10	135	135	140	180	185
5 大西 教平	日本大学	87 3	139.65	135	139	141	170	176
6 佐々木 樹	明治大学	86 4	118.05	140	143	145	175	181
7 越後 肇太	中央大学	87 4	132.45	130	133	136	175	175
8 鈴木 大智	名古屋産業大学	88 3	136.15	125	131	134	165	171
9 高倉 雄大	中央大学	90 1	113.85	130	135	139	157	157

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 中川 大樹	立命館大学	87 3	55.58	100	103	118	123	123
2 村上 明	拓殖大学	90 1	55.64	90	95	97	110	117
3 深瀬 富明	平成国際大学	88 2	55.16	90	95	100	107	114
4 遠野 力也	慶應義塾大学	86 4	55.76	89	91	93	115	115
5 平野 嘉一	城西大学	87 3	55.36	73	75	77	88	93
6 小林 勉	城西大学	87 3	55.56	60	63	68	90	95
7 山下 佳祐	桃山学院大学	88 1	55.18	60	65	68	72	77
8 三浦 瑞人	名城大学	87 4	51.38	57	63	65	70	76
9 富山 真吾	関西学院大学	87 3	55.36	60	64	64	71	76

## 【二部校】

順位	氏名	大学名	年	生	学	年	年	体重
1 久保山 墓	九州国際大学	86 4	75.98	126	129	131	156	162
2 岸 俊樹	名古屋産業大学	87 3	76.44	121	123	123	156	162
3 桑原 勝	日本大学	87 3	76.30	118	120	122	156	162
4 冲中 優樹	明治大学	87 3	76.50	115	120	122	156	162
5 谷崎 正尚	明治大学	87 3	76.44	113	116	117	156	162
6 杉 久志	日本大学	86 4	75.92	115	120	120	156	162
7 松本 光司	福岡大学	87 3	76.06	110	112	113	144	145
8 山岡 雄大	名古屋産業大学	87 3	76.26	108	111	113	145	145
9 丹崎 豊	大阪商業大学	87 4	75.08	105	108	111	135	130

## 85kg級

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	順位	ベスト
1	関根 直	平成国際大学	87	4	61.72	93	96	100	128	131	134	100	5	134	1	234
2	廣野 完	京都産業大学	87	3	61.64	100	100	100	130	132	134	100	4	125	1	230
3	廣瀬 公治	立命館大学	89	1	61.66	99	101	104	125	130	134	100	4	125	2	226
4	奥田 隆哉	日本体育大学	86	4	61.62	97	100	102	123	123	130	100	3	123	4	223
5	紀州 賀二	中京大学	89	2	59.24	88	90	93	103	107	109	93	6	107	7	200
6	水野 佑哉	ノースアジア大学	88	2	61.24	85	88	89	100	104	109	89	7	104	8	193
7	菊地 亮介	城西大学	87	3	59.44	80	80	83	103	107	108	83	1	108	6	191
8	松下 大佑	慶應義塾大学	85	4	61.68	78	81	81	98	101	101	78	9	98	9	176
9	黒川 大二郎	防衛大学校	85	4	60.34	70	75	75	93	98	98	70	12	93	10	163
10	参川 雅弘	防衛大学校	87	3	61.40	67	77	77	85	90	90	72	11	85	11	157
11	宮下 新平	桜山学院大学	90	1	61.90	62	66	70	85	90	93	70	13	85	1	155
12	小林 大祐	慶應義塾大学	85	4	61.90	62	66	70	85	90	93	70	13	85	1	155
13	上脇 泰樹	関西学院大学	90	1	60.04	55	60	63	75	75	80	60	14	80	14	140
14	久池井 明別	防衛大学校	88	2	60.32	58	62	62	75	75	75	58	15	75	15	133
15	花野 豊三	國士館大学	90	1	60.72	62	62	62	77	81	81	0	81	13	0	0
16	大山 剛史	近畿大学	90	1	60.24	70	75	78	90	90	90	75	10	0	0	0

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	順位	ベスト		
1	加藤 還	平成国際大学	87	3	80.36	110	110	117	145	150	155	104	1	117	1	267		
2	藤井 遼	日本体育大学	87	4	82.90	104	106	110	137	145	150	106	3	145	2	251		
3	秋山太郎	日本体育大学	87	3	83.84	97	100	100	130	134	136	100	8	100	8	234		
4	角田 征英	國士館大学	87	3	81.24	103	105	106	127	130	132	103	5	130	4	233		
5	片平 悠介	城西大学	87	3	83.06	105	110	111	127	132	132	111	1	105	4	232		
6	田中 大智	京都産業大学	87	3	83.72	95	98	100	120	125	126	100	7	100	7	226		
7	桐生 智志	慶應義塾大学	87	3	81.90	90	95	120	130	130	126	98	10	126	6	224		
8	平野 拓	ノースアジア大学	86	4	83.92	98	103	107	120	125	125	103	6	120	9	223		
9	飯田 優貴	國士館大学	89	2	77.44	95	95	98	118	123	123	98	9	118	10	216		
10	秋原 悠	関西大学	88	2	77.68	80	90	90	—	—	—	120	120	8	200	0	0	
11	櫻井 雅弘	慶應義塾大学	87	4	84.00	85	88	88	—	—	—	115	115	115	11	200	0	0
12	今任 一彰	佛教大学	90	1	79.04	75	80	80	106	110	110	80	14	106	12	186		
13	加藤 拓己	桜山学院大学	89	2	81.80	80	85	85	100	100	100	80	16	100	13	180		
14	島内 友裕	防衛大学校	86	4	84.30	75	80	80	90	95	95	100	17	75	17	175		
15	山根 祐崇	近畿大学	86	4	77.26	70	70	70	75	90	95	95	105	7	95	15	170	
16	上野 智士	防衛大学校	88	2	78.26	75	80	85	90	95	95	95	13	90	16	170		
17	大山 剛史	立命館大学	86	4	84.92	105	110	113	135	135	135	113	2	113	2	0		
18	吉川 卓哉	関西学院大学	86	4	79.30	75	80	95	95	95	95	95	0	0	0	0		

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	順位	ベスト	
1	加藤 温森	日本体育大学	89	1	91.30	117	120	123	123	123	155	155	155	1	123	1	273
2	後藤 栄也	平成国際大学	89	1	93.30	115	118	118	148	151	152	151	151	2	152	1	270
3	丹羽 清文	立命館大学	87	3	90.00	110	115	115	148	148	151	110	3	151	2	261	
4	杉本 智広	桜山学院大学	86	4	89.92	102	107	112	142	142	151	107	4	107	4	249	
5	大辻 格樹	慶應義塾大学	85	4	92.56	102	107	110	130	130	135	105	5	105	5	237	
6	近藤 浩磨	姫路獨協大学	86	4	87.88	75	80	83	95	95	100	105	6	80	6	185	
7	西田 有輝	近畿大学	86	4	93.30	90	90	90	115	120	125	120	120	6	120	6	255
8	黒玉 韶	ノースアジア大学	86	4	94.00	75	77	77	—	—	95	95	95	7	75	0	0

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	順位	ベスト	
1	村越 良輔	卓	ノースアジア大学	87	3	97.18	120	123	123	150	154	156	123	2	156	1	279
2	宮下 貴志	日本体育大学	87	4	104.66	118	122	125	148	152	154	125	1	154	2	279	
3	利根川 優	平成国際大学	86	4	103.96	110	113	116	145	150	153	116	4	153	2	269	
4	三澤 翔貴	関西大学	87	3	99.52	120	122	124	140	145	146	146	3	146	4	268	
5	菅野 幸治	拓殖大学	87	3	101.36	110	117	117	140	146	146	110	6	146	5	256	
6	金澤 勝安	立命館大学	89	2	94.22	110	113	116	135	140	142	113	5	142	6	255	
7	木下 天祐	京都産業大学	88	2	101.66	110	110	117	142	146	146	117	7	117	7	252	
8	藤原 太朗	日本体育大学	89	1	96.92	100	105	105	117	125	131	125	1	107	8	241	
9	中須 還	慶應義塾大学	85	3	104.84	100	105	105	118	125	131	106	9	131	9	237	
10	閑根 広大	國士館大学	89	1	96.84	100	105	109	120	125	127	105	10	127	10	232	
11	仲島 大助	佛教大学	88	2	94.06	83	88	90	104	109	114	109	11	88	13	197	
12	陰山 隆司	京都産業大学	87	3	94.06	83	90	90	100	105	105	105	11	105	12	195	
13	住吉 陽聖	立命館大学	87	3	76.50	103	106	108	125	128	131	106	4	125	5	195	
14	萬橋 和也	國士館大学	87	3	70.84	97	101	102	125	125	125	102	6	125	7	227	
15	西村 寿豊	近畿大学	86	2	69.26	96	100	105	125	125	128	100	8	125	5	225	
16	米原 和文	防衛大学校	85	4	76.78	90	95	100	123	126	130	95	12	124	5	225	
17	高嶋 淳平	姫路獨協大学	86	4	73.18	92	97	102	120	125	122	102	7	121	4	282	
18	山内 龍浩	中京大学	90	1	75.76	100	100	115	121	126	126	100	10	120	5	280	
19	相川 勝巧	ノースアジア大学	88	2	72.74	90	95	100	110	115	120	111	215	120	6	154	
20	古橋 和也	名城大学	89	1	74.86	85	90	93	105	110	110	90	13	105	14	274	
21	小泉 駿太	日本体育大学	88	2	73.28	105	110	114	135	140	141	80	10	105	14	273	
22	白井 三志郎	関西学院大学	86	3	68.36	105	111	120	125	125	128	100	3	123	3	195	
23	住吉 和也	國士館大学	87	3	68.54	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	1	2	3	クリーン&ジャーク	1	2	3	S	順位	ベスト
1	山田 甘紀</td															

# 大学対抗得点表

## 【一部校】

順位	大学名	56kg	62kg	69kg	77kg	85kg	94kg	105kg	+105kg	合計得点
1	九州国際大学	14 / 1		20 / 1	19 / 2	29 / 2	24 / 1	24 / 1	130 / 8	
2	早稲田大学	17 / 1	45 / 2	44 / 2	19 / 2	2 / 1			127 / 8	
3	日本大学	17 / 1	23 / 1	26 / 2	16 / 2	16 / 1	11 / 1	109 / 8		
4	中央大学	18 / 1	16 / 2	23 / 1	—	19 / 1	19 / 1	6 / 2	101 / 8	
5	法政大学	30 / 2	22 / 1	11 / 1	13 / 1	2 / 1	18 / 2		96 / 8	
6	金沢学院大学	4 / 1	10 / 1	16 / 1	6 / 1	1 / 1	23 / 1	10 / 1	19 / 1	89 / 8
7	明治大学	4 / 1	8 / 2	11 / 1	17 / 1	17 / 1	17 / 1	30 / 2	87 / 8	
8	大阪商業大学	20 / 1	7 / 2	11 / 2	0 / 1	0 / 1		15 / 1	53 / 8	
9	名古屋産業大学	19 / 2	—	1 / 1	22 / 2	5 / 1	0 / 1	3 / 1	50 / 8	
10	福岡大学	0 / 2	11 / 2	0 / 2	—	7 / 1	—	2 / 1	20 / 8	
合計入数		10	10	13	9	9	11	9	9	80

## 【二部校】

順位	大学名	56kg	62kg	69kg	77kg	85kg	94kg	105kg	+105kg	合計得点
1	平成国際大学	16 / 1	20 / 1	—	20 / 1	24 / 1	22 / 1	17 / 1	14 / 2	160 / 8
2	日本体育大学	15 / 1	21 / 1	15 / 1	13 / 1	22 / 1	25 / 2	21 / 1	132 / 8	
3	立命館大学	44 / 2	36 / 2	9 / 1	7 / 1	19 / 1	10 / 1	—	125 / 8	
4	関西大学	—	—	24 / 2	24 / 2	1 / 1	—	16 / 1	3 / 1	68 / 7
5	京都産業大学	19 / 1	17 / 1	0 / 1	7 / 1	—	—	6 / 2	17 / 2	66 / 8
6	ノースアジア大学	5 / 1	—	0 / 1	4 / 1	2 / 1	—	23 / 2	14 / 1	48 / 7
6	国士館大学	0 / 1	20 / 2	14 / 2	0 / 1	—	—	0 / 1	48 / 8	
8	近畿大学	0 / 1	18 / 2	2 / 2	0 / 1	3 / 1	—	12 / 1	35 / 8	
9	拓殖大学	18 / 1	—	0 / 1	2 / 2	—	—	11 / 1	31 / 5	
10	中京大学	—	8 / 1	—	0 / 2	20 / 1	—	—	28 / 4	
10	城西大学	10 / 1	5 / 1	—	—	13 / 1	—	—	28 / 3	
10	慶應義塾大学	11 / 1	0 / 2	0 / 1	—	5 / 2	12 / 1	0 / 1	28 / 8	
13	関西学院大学	0 / 1	0 / 1	2 / 2	18 / 2	0 / 1	—	—	20 / 7	
13	桃山学院大学	5 / 1	0 / 1	0 / 2	0 / 1	0 / 1	15 / 1	—	20 / 7	
15	姫路獨協大学	—	—	6 / 1	—	0 / 1	8 / 1	—	14 / 3	
16	防衛大学校	—	—	0 / 2	0 / 2	4 / 2	0 / 2	—	4 / 8	
16	名城大学	4 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	—	—	—	4 / 4	
合計入数		9	17	18	21	19	8	13	8	113

## 第9回全日本大学対抗女子選手権大会

●平成20年11月30日

●横子スポーツセンター(横浜市)

順位	氏名	大学名	生年	年	体重	スナッチ	クリーン&ジャーク	ス	順位	C&J順	ベスト
<b>48kg級</b>											
1 中部 有理	金沢学院大学	87 / 3	47.55	64	67	68	82	88	68	1	88 / 1
2 前田咲野子	早稲田大学	87 / 3	46.50	64	67	80	84	84	67	2	84 / 2
3 桃井麻実子	桃山学院大学	87 / 3	46.00	42	45	57	60	62	42	3	102 / 3
<b>53kg級</b>											
1 竹下 桑緒	金沢学院大学	88 / 3	50.30	70	73	75	86	89	90	2	89 / 2
2 綾谷 繼子	立命館大学	88 / 2	52.95	70	73	75	85	87	75	1	87 / 3
3 賀喜志沙織	平成国際大学	89 / 1	52.35	65	67	67	85	87	90	3	157 / 3
4 中井 美保	関西大学	89 / 1	52.95	65	69	83	85	85	67	4	85 / 4
5 大山 恵理	早稲田大学	86 / 4	52.50	63	65	78	80	82	63	5	80 / 5
6 長谷川 慶	九州国際大学	89 / 2	52.45	50	53	56	64	67	53	6	64 / 6
<b>58kg級</b>											
1 福谷 春菜	平成国際大学	89 / 2	57.14	75	77	80	93	96	98	1	98 / 1
2 綾谷 垣純	立命館大学	87 / 3	53.88	68	71	73	88	91	73	2	91 / 2
3 守 美穂子	日本体育大学	86 / 4	56.74	70	72	72	85	88	70	3	88 / 3
4 奥山 友紀	早稲田大学	87 / 3	57.76	62	64	64	82	85	64	5	85 / 5
5 今永 幸乃	関西大学	89 / 1	57.72	62	64	66	80	83	84	4	84 / 4
6 太田 朝子	九州国際大学	89 / 1	56.74	55	58	62	72	75	78	7	75 / 7
6 本城早紀子	関西大学	89 / 1	57.76	61	63	63	78	78	78	6	0 / 0
<b>63kg級</b>											
1 園子絵里菜	平成国際大学	88 / 3	62.74	75	77	77	95	97	98	1	95 / 1
2 木下ちひろ	立命館大学	89 / 1	59.28	73	76	78	87	90	93	2	90 / 3
3 矢野 晴佳	関西大学	88 / 2	58.02	66	66	70	83	87	90	3	86 / 3
4 山崎英美	九州国際大学	88 / 2	62.18	53	55	58	65	68	70	58	4 / 4
<b>69kg級</b>											
1 横田 麻由	金沢学院大学	86 / 4	64.44	88	91	93	113	115	118	1	118 / 1
2 浅田 祐未	平成国際大学	88 / 2	65.76	75	77	79	95	97	100	2	100 / 2
3 大杉 星子	立命館大学	87 / 3	66.50	72	75	78	92	96	78	3	96 / 3
4 原 京子	日本体育大学	86 / 4	67.58	65	70	70	87	90	93	4	90 / 4
5 棚本 千紗	九州国際大学	89 / 1	65.92	58	61	64	75	77	78	61	78 / 5
<b>75kg級</b>											
1 制野 真理	金沢学院大学	87 / 3	69.46	85	90	95	110	115	119	1	110 / 1
2 高田 絵理	平成国際大学	87 / 3	70.64	80	82	85	95	97	105	2	100 / 2
3 前原 よしの	九州国際大学	88 / 2	69.52	65	67	71	85	88	90	3	90 / 3
4 芳賀 仁美	早稲田大学	88 / 2	69.14	68	70	71	88	88	90	4	88 / 4
5 玉村 亮生	日本体育大学	87 / 4	74.42	65	68	70	83	87	90	5	87 / 5

大 学 対 抗 得 点 表

順位	大学名	48kg	53kg	58kg	63kg	69kg	75kg	+75kg	合計得点
1	金沢学院大学	9 / 1	7 / 1			9 / 1	9 / 1	9 / 1	43 / 5
2	平成国際大学		5 / 1	9 / 1	9 / 1	6 / 1	6 / 1		35 / 5
5	立命館大学		6 / 1	6 / 1	5 / 1	3 / 1			20 / 4
3	早稲田大学	6 / 1	0 / 1	0 / 1			1 / 1	3 / 1	10 / 5
4	日本体育大学			3 / 1		0 / 1	0 / 1	6 / 1	9 / 4
5	關西大学		0 / 1	0 / 2	4 / 1				4 / 4
7	東山学院大学	3 / 1							3 / 1
7	九州国際大学		0 / 1	0 / 1	0 / 1	0 / 1	2 / 1	2 / 5	
	合計人數	3	6	7	4	5	5	3	33

# 平成21年度（社）日本ウェイトリフティング協会 贊助会員の募集について

平素より当協会の事業に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本協会は、諸事業を推進するために弛まない努力をしておりますが、競技力向上にあつては、世界のスポーツ競技水準は目覚ましいものがあり、オリンピック大会等での国際大会で優秀な成績を収めることは、極めて難しくなってきている状況です。

2002年に、一貫指導システムであるナショナルトレーニングシステムを構築し、初心者からトップリフターに至る指導の方針・方法を策定し、それに基づく強化を展開しております。

つきましては、財源基盤として広告で協賛金を募集し、支援を賜りたいと存じます。趣旨御賢察のうえ、下記により格段の御協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

- 1 賛助会員 (本協会の事業を援助する個人又は法人)

2 賛助会費 1口 10,000円以上  
特典として会報(年4回発行)を送らさせていただきます。

3 申込み方法 (1) 郵便振替払取扱票にて、最寄りの郵便局で払い込み下さい。  
(2) 直接加入申込みする場合や質問がありましたら下記へお願いします。  
〒150-8050 東京渋谷区神南1-1-1  
(社)日本ウェイトリフティング協会 宛  
TEL 03-3481-2359 FAX 03-3481-2394

00		払込取扱票																					
口座番号		百	十	万	:	千	百	十	番	金	千	百	十	万	:	千	百	十	円				
0	0	1	4	0	4		1	2	9	5	7	6											
加入者名	日本ウェイトリフティング協会 賛助会員係												料金							特種取扱			
通 信 欄	家																						
ご依頼人	おところ(郵便番号 家) ) おなまえ												様							受付局日附印			
(電話番号 - - - )																							
裏面の注意事項をお読みください。(郵政省) これより下部には何も記入しないでください。																							

払込金受領証										
口座番号	0	0	1	4	0	-	4			
	百	十	万	千	百	十	百	十	千	
加入者名	1	2	9	5	7	6				
	日本ウエイトリフティング協会賛助会員係									
金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	
ご依頼人	おなまえ 様									
料金	(請書記込み) 受付局日附印									
	円									
特殊取扱										

## 平成21年度（社）日本ウエイトリフティング協会 会報の広告募集について

平素より、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本協会は、諸事業を推進するために弛まない努力をしておりますが、競技力向上にあつては、世界のスポーツ競技水準は目覚ましいものがあり、オリンピック大会等での国際大会で優秀な成績を収めることは、極めて難しくなってきている状況です。

そこで、各企業からの広告協賛金を募り、財源基盤として有効活用し合宿費や強化の補助費として、広告で協賛金を募集して支援を賜りたいと存じます。

趣旨御賢察のうえ、下記により格段の御協力を賜りたくお願い申し上げます。

### 記

- 1 掲載誌 平成21年度（社）日本ウエイトリフティング協会会報  
(8月号、1月号、3月号、年鑑号の計4回発行)
- 2 体裁部数 会報機関誌での広告としてA4版 白黒色 600部～800部発行
- 3 契約の種類
  - ◎ 年間契約（年4回発行の掲載） A、1ページ広告 (10万円)  
" B、半ページ広告 (5万円)
  - ◎ 1回契約（指定の月号） C、1ページ広告 (3万円)  
" D、半ページ広告 (1.5万円)
- 4 申込先 〒150-8050 東京渋谷区神南1-1-1  
(社)日本ウエイトリフティング協会 宛  
TEL 03-3481-2359  
FAX 03-3481-2394  
Eメール weightlifting @ japan-sports.or.jp

## WEIGHT LIFTING

会報1月号 「リフターの声」

このページを切り取って、FAXしていただくか郵送してください

FAX番号 日本ウェイト協会 03-3481-2394

\* 「ウエイトリフティング会報」に関するご意見・ご希望・取り上げてほしい話題・身近な良い話題などの意見もお寄せ下さい。

切  
り  
取  
り  
線

\*今月号で興味深かった記事をあげて下さい。

「」「」「」

\*取り上げてほしい人（ウエイト部内・部外は問いません）

- ・人名又は団体名  
・どんなテーマで取り上げてほしいか

「」  
「」

۸

住所・電話	〒	TEL	FAX
氏名	( ) 歳		
職業			

伊豆奥下田 飲泉・自家源泉かけ流しの宿



# 観音温泉

強アルカリ(pH9.5)  
で超軟水、極上の泉質

大自然の麓で汗を流し、  
温泉で疲労回復、飲泉で体内リフレッシュ！



爽やかな汗をかき極上の湯につかると、筋肉疲労を和らげ、練習効果を高めます。ウェイトリフティングはもちろん、武道、各種スポーツ、エアロビクスなど、さまざまな令宿にご利用いただける充実した体育施設をご用意しております。



武道館(1階:120畳)  
体育館(2階:22m×44m×7m)



体育館



## 《ご宿泊》

人數、メンバー構成に合わせて快適にご利用いただけるよう、個室から令宿用客室までご用意致しております。

フリーダイヤル 0120-01-9994  
〒413-0712 静岡県下田市横川1092-1  
TEL:0558-28-1234/FAX:0558-28-1235

**ニュー・グリーンピア津南**

**アスリートとともに**

**最高の施設と環境が提供できます！  
体育館併設・天然温泉・屋内外プール・天然芝グラウンド**



**ニュー・グリーンピア津南**

合宿担当：上村

〒949-8313 新潟県中魚沼郡津南町秋成 12300

TEL025-765-4944 FAX025-765-4620

hp <http://www.green-pia.com/tunan>

## 記号説明

### 新記録

WR : 世界新記録 (new World Record)

J WR : ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)

AR : アジア新記録 (new Asian Record)

J AR : ジュニアアジア新記録 (new Junior Asian Record)

NR : 日本新記録 (new Japan National Record)

J NR : ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)

UR : 大学新記録 (new University Record)

HR : 高校新記録 (new senior Highschool Record)

MR : 中学新記録 (new Middle school Record)

CR : 大会新記録 (new Competition Record)

### タイ記録

WS : 世界タイ記録 (World Record Same)

J WS : ジュニア世界タイ記録 (Junior World Record Same)

AS : アジアタイ記録 (Asian Record Same)

J AS : ジュニアアジアタイ記録 (Junior Asian Record Same)

NS : 日本タイ記録 (Japan National Record Same)

J NS : ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National Record Same)

US : 大学タイ記録 (University Record Same)

HS : 高校タイ記録 (senior Highschool Record Same)

MS : 中学タイ記録 (Middle school Record Same)

CS : 大会タイ記録 (Competition Record Same)

# ウェイトリフティング No.102

## (社) 日本ウェイトリフティング協会会報

発行日 平成21年1月

発行者 (社) 日本ウェイトリフティング協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育館内

TEL 03-3481-2359

FAX 03-3481-2394

Eメール weightlifting@japan-sports.or.jp

編集責任者 篠宮 稔

記録 笠原 達夫

編集長 松尾 謙資

副編集長 野呂記代志

関東地区 宮田 秀樹

関西地区 上田 貢

九州地区 福田登美男

—メモ—

# UESAKA OFFICIAL BARBELL.



公認



国際ウエイトリフティング連盟認定工場  
日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売

日本アマチュアボクシング連盟  
日本体操協会器械器具  
日本バスケットボール協会施設  
日本バドミントン協会  
日本ハンドボール協会  
日本陸上競技連盟検定品製作

製造元



上坂鉄工所

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号  
電話 (03) 3622-8171(代表)

販売元



(株)ウエサカ ティー・イー

代表取締役 鈴木 義夫

〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号

T E L (03) 3622-8171 F A X (03) 3622-8175

振込銀行 さくら銀行 本所(当) 57201



北島康介(日本コカ・コーラ)



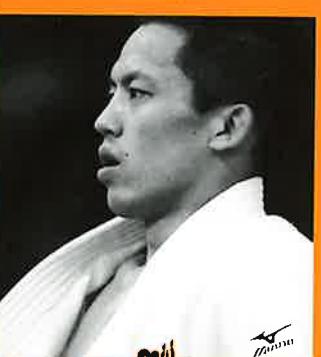
室伏広治(ミズノ)



福原 愛(ANA)



松井秀喜(ニューヨークヤンキース)



野村忠宏(ミキハウス)



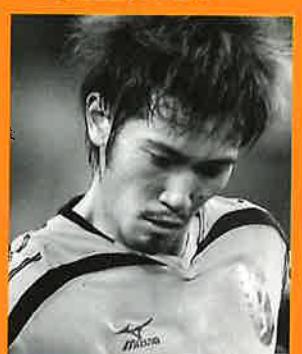
飯島 茜(TOTO)



末續慎吾(ミズノ)



越川 優(サントリーサンバーズ)



阿部勇樹(浦和レッドダイヤモンズ)

## 無限の進化とともに

トップアスリートの進化とともに、ミズノの技術力は磨かれています。勝利への果てなき挑戦を、確かな技術で支えるために、ミズノもまた「最先端テクノロジーの追求」という挑戦にこだわり続けています。

より速く、より強く、より快適に。——無限に進化する技術力で、ミズノはこれからもスポーツを愛するすべての人々をサポートしていきます。

